

中央果実協会調査資料 No.228

平成26年度
果樹産地発展要因解析調査報告書

平成27年1月

公益財団法人 中央果実協会

はしがき

果樹栽培面積は、過去10年間でみかんでは38%減、りんごでは25%減と大幅な減少になっています。その結果、収穫量もみかんでは過去3年連続80～90万トン水準、りんごでは過去3年連続80万トン以下となり、消費者ニーズに応えた果実の国内生産の維持が大きな危機となっています。(また、24年度構造調査の単純トレンド予測では、何らかの対応策をとらない場合には、果樹の栽培面積は10年後に約2割減と予測しています。)

このような果樹生産の大幅な減少は、果樹産地における担い手の減少と高齢化、傾斜地等の不利な立地条件、基盤整備の遅れ、消費者ニーズに即した品種の導入の遅れ、販売価格の低迷など、産地毎に多くの原因が考えられます。各産地においては、これらの不利な条件を克服するための様々な努力が行われていますが、今後、果樹対策事業の適確な実施等のためには、各産地の置かれている条件を明確に把握し、それに見合った適切な対応策を検討していくことが不可欠となっています。

そこで果樹産地の発展を図り、果実生産の維持拡大を図るため、果樹産地毎の生産減少とその要因を解析し、必要な対応策を検討するとともに、今後の国、県等の施策展開の参考に資することとして果樹産地発展要因解析調査を、一般財団法人農林統計協会に委託して実施しました。本調査にご尽力いただきました方々に、深く感謝申し上げます。

本調査結果が、様々な場面で活用され、今後我が国果樹産業の国際化対策の推進等において少しでもお役にたてれば幸いです。

公益財団法人 中央果実協会
理事長 弦間 洋

調査の概要

1. 目的

果樹栽培面積は、過去10年間でみかんでは38%減、りんごでは25%減と大幅な減少になっている。その結果、収穫量もみかんでは過去3年連続80～90万トン水準、りんごでは過去3年連続80万トン以下となり、消費者ニーズに応えた果実の国内生産の維持が大きな危機となっている。

このような果樹生産の大幅な減少は、果樹産地における担い手の減少と高齢化、傾斜地等の不利な立地条件、基盤整備の遅れ、消費者ニーズに即した品種の導入の遅れ、販売価格の低迷など、各産地毎に多くの原因が考えられる。今後、果樹対策事業の適確な実施等のためには、各産地の置かれている条件、課題等を的確に把握し、それに見合った適切な対応策を検討していくことが不可欠である。

このため、各産地の置かれている条件、課題等を的確に把握するために「果樹生産力構造指標」を作成し、アウトカム（いわゆる成果指標）としての栽培面積、農家数（の増減率等）との関係解析を相関分析、多変量解析等の手法を用いて実施、果樹産地毎の生産減少とその要因を解析、必要な対応策を検討するとともに、今後の国、県等の施策展開の参考に資するものとする。

2. 内容

(1) 調査の設計、成果等の検討のため、学識経験者等で構成する調査事業推進委員会を設置。

1) 検討会の構成、運営

検討会は、次の委員により構成。

徳田 博美 三重大学大学院生物資源学研究科教授

長谷川 啓哉 東北農業研究センター 主任研究員

宮井 浩志 四国大学全学共通支援センター 准教授

2) 検討事項

- ・「果樹産地生産力構造指標」の作成・整備
- ・果樹生産力構造指標と栽培面積（の増減率等）との関係解析

3) 開催期日

第1回 平成26年7月10日

(調査・分析の進め方、)

第2回 平成26年11月18日

(果樹生産力構造指標等の検討)

第3回 平成27年1月27日

(調査報告書案の検討)

(2) 「果樹生産力構造指標 (26 指標)」の作成

1) 果樹生産力構造指標の作成のねらいは、

- ① 各産地の置かれている条件を的確に把握
- ② 各産地ごとの生産減少とその要因を解析 (発展 (減少) 要因解析など) を行うことによって必要な施策検討に資することを目的に作成。

2) 解析調査産地の設定

解析調査対象産地は、原則として「かんきつ類」、「りんご」及び「落葉果樹」の主産道県における代表的な産地、具体的には「果樹産地協議会 (果樹産地計画を作成する単位としての産地)」18 道県、59 産地協議会 (以下、「産地」という) を対象とした。

《調査対象県及び調査対象産地の設定》

以下のかんきつ類、りんご及び落葉果樹の 18 道県、59 産地とした。

| 区分 | 調査産地 (協議会) 数 | 品目別産地内訳 | | | 備考 |
|-----|--------------------|-------------|-------|------------|----|
| | | かんきつ類 産地 | りんご産地 | 落葉果樹 産地 | |
| 計 | 59 | 27 | 17 | 15 | |
| 北海道 | 3 | | 3 | | |
| 青森 | 6 | | 6 | | |
| 岩手 | 5 | | 4 | 1 | |
| 山形 | 4 | | | 4 | |
| 山梨 | 3 | | | 3 | |
| 長野 | 5 | | 4 | 1 | |
| 静岡 | 3 | 3 | | | |
| 愛知 | 1 | 1 | | | |
| 三重 | 2 | 2 | | | |
| 和歌山 | 4 | 1 | | 3 | |
| 広島 | 3 | 3 | | | |
| 愛媛 | 5 | 5 | | | |
| 福岡 | 3 | | | 3 | |
| 佐賀 | 2 | 2 | | | |
| 長崎 | 3 | 3 | | | |
| 熊本 | 4 | 4 | | | |
| 大分 | 2 | 2 | | | |
| 宮崎 | 1 | 1 | | | |

3) 「果樹産地生産力構造指標」の作成・整備

果樹産地の生産力に影響を与える 26 指標を、以下の 2 つの方法で作成・整備した。

① 農業センサスデータからの作成(18 指標)

2000 年及び 2010 年農業センサスデータを用いて、調査対象産地管内（具体的には、産地協議会の管内市町村・旧市町村等）毎に組替集計を行って作成した。

なお、販売農家等の定義・用語内容等は農業センサスを参照。

(別紙 1 「調査対象産地協議会の管内市町村・旧市町村等一覧表」参照)。

② 補完調査を実施して作成(8 指標)

果樹生産力構造指標として農業センサスの調査項目に無く、必要と思われる 8 指標について、(一財) 農林統計協会から直接郵送で各産地協議会等へ補完調査を実施した。

(別紙 2 「平成 26 年度果樹産地発展要因解析調査票」参照)

(3) 果樹生産力構造指標を用いた産地の発展要因解析の手順

果樹産地の発展要因を解析するため「果樹生産力構造指標」を作成し、以下のような手順で各種分析手法を用いて解析を実施し、果樹産地毎の発展要因を解析した。

(解析の手順)

1. 果樹産地生産力構造指標の作成

(59 産地ごとに 26 指標で作成)

解析調査産地として設定した 59 産地について、果樹産地の生産力に影響を与える 26 指標を、農業センサスデータの組替集計及び補完調査結果を用いて作成した。

2. 果樹産地発展要因解析シートの作成

(主要 11 県、主要 3 産地について、12 指標を用いて当該品目の産地平均と比較)

果樹の主要 11 県について、各県ごとに代表的な 3 産地を選定の上、主要 11 指標を用いて、当該品目産地の平均値（かんきつ類産地平均、りんご産地平均、落葉果樹平均）との比較を行い、各産地の「当該品目産地の平均」に対する位置付け・課題等を確認できた。

3. 樹園地面積及び農家数増減率の相関分析の作成

(59 産地について、樹園地面積及び農家数の増減率での相関分析を行い、産地を A B C D の 4 類型にグループ化、併せて規模拡大の進捗状況、担い手への集積の実態を解析)

果樹産地を樹園地面積及び農家数の減少率で相関分析を行い、全 59 産地について減少率の小さいグループから大きいグループまで A、B、C、D の 4 グループに分け、主要指標で比較分析を行って、樹園地面積増減率(2010 年/2000 年)に差が生じた要因、産地の課題等を解析した。

4. 果樹産地の発展要因解析（産地の将来性分析）の作成

(産地の発展要因に関連の大きい 6 指標を用いて、59 産地の発展要因を解析、順位付け)

産地の発展要因、将来性を規定すると思われる 6 指標を用いて基準化の上平均値を求め

順位付けを行った。併せて、前記 2. の相関分析における 4 グループ分け結果との照合・検証作業を行った。

(変数の基準化について)

用いるデータの単位が揃っていない場合、データ間の比較が正確にできない。このためデータの基準化を行って比較できるようにする必要がある。基準化は、個々のデータから平均値を引いたものを標準偏差で割ったもので、平均 0、標準偏差 1 となる。

《計算式 基準化 = (個々のデータ - 平均値) ÷ 標準偏差》

5. クラスタ分析・主成分分析

(クラスタ分析、8 指標を用いて 59 産地を類型化し、3, 4 での分析結果と類型を確認)
(主成分分析の手法を用い 8 指標を用いて、59 産地を分析。主成分得点で類型化を行って 3, 4, 5 の分析結果と類型を確認し、産地の分析結果を解釈。)

前記 3 で分類された A、B、C、D の 4 分類について、クラスタ分析で類型化され、主成分分析で解釈 (第 1 主成分は「個別経営基盤力」、第 2 主成分は「産地規模 (農家・樹園地)」など) を行うなど産地の実態、課題等の解析を行った。

(4) 調査報告書の作成

調査報告書の「VI まとめ 一果樹産地の発展要因解析と今後の課題一」については、長谷川啓哉主任研究員が取りまとめた。

3 事業実施期間

平成 26 年 6 月から平成 27 年 1 月

「果樹産地生産力構造指標」の全指標及び各分析使用指標一覧

| 区分 | 番号 | 指標名 | 単位 | 各分析における使用指標 | | | | | |
|----------------|----|----------------------|-----|------------------|---------------|----------------|-------------|---------|-------|
| | | | | Ⅱの2 | Ⅱの3 | Ⅲ | Ⅳ | Vの1 | Vの2 |
| | | | | 果樹産地生産力構造指標として作成 | 果樹産地発展要因解析シート | 樹園地面積増減率等の相関分析 | 発展要因解析(将来性) | クラスター分析 | 主成分分析 |
| Ⅰ.産地の立地条件・農家概況 | 1 | 販売農家数 | 戸 | 1 | | | | | |
| | 2 | 主業農家数 | 戸 | 2 | | | | | |
| | 3 | 樹園地のある農家数 | 戸 | 3 | ⑩減少率 | ① | | | |
| | 4 | 樹園地面積3ha以上の農家数 | 戸 | 4 | | | | | |
| | 5 | 農産物販売金額1,000万円以上農家数 | 戸 | 5 | | | | | |
| | 6 | 後継者(同居)の居る農家数 | 戸 | 6 | | | | | |
| | 7 | 認定農業者のいる農家 ※ | 戸 | 7 | | | | | |
| | 8 | 樹園地面積 | ha | 8 | ⑪増減率 | ② | | | |
| Ⅱ.担い手等の状況 | 9 | 主業農家率 | % | 9 | | | | | |
| | 10 | 樹園地面積3ha以上の農家率 | % | 10 | | | | ① | ① |
| | 11 | 後継者(同居)の居る農家率 | % | 11 | ① | | ① | | |
| | 12 | 認定農業者のいる農家率 ※ | % | 12 | | | | | |
| Ⅲ.樹園地の生産条件等 | 13 | 樹園地の灌水設備等の整備状況 ※ | 5段階 | 13 | | | | | |
| | 14 | 1戸当たり樹園地栽培面積 | a | 14 | ② | | ② | ④ | ④ |
| | 15 | 改植事業の実績面積(19~25年度) ※ | ha | 15 | | | | | |
| | 16 | 改植事業の実績面積割合 ※ | % | 16 | ③ | | ③ | ② | ② |
| | 17 | 耕作放棄地面積割合 | % | 17 | ④ | | ④ | ③ | ③ |
| Ⅳ.労働力等 | 18 | 農業就業人口数 | 人 | 18 | | | | | |
| | 19 | 65歳未満の農業就業人口数 | 人 | 19 | | | | | |
| | 20 | 1戸当たり農業就業人口数 | 人 | 20 | ⑤ | | ⑤ | ⑤ | ⑤ |
| | 21 | 農業就業人口の65歳未満割合 | % | 21 | ⑥ | | ⑥ | ⑥ | ⑥ |
| | 22 | 産地における労働力調整の仕組 ※ | 3段階 | 22 | | | | | |
| Ⅴ.販売関係 | 23 | 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 万円 | 23 | ⑦ | | | ⑦ | ⑦ |
| | 24 | 果樹関係販売額(JA取扱高等) ※ | 百万円 | 24 | | | | | |
| | 25 | 果樹販売における農協系統共販率 ※ | % | 25 | ⑧ | | | ⑧ | ⑧ |
| | 25 | 産地のブランド力(販売価格の高低)※ | 3段階 | 26 | ⑨ | | | | |
| 作成・使用指標数 | | | | 26 | 9 | 2 | 6 | 8 | 8 |

注: ※印は、補完調査した指標。

別紙 1

産地協議会別の該当市町村・旧市町村一覧（4-1）

| 都道府県 番号 | 都道府県 名 | 協議 会通 し番 号 | 協議 会番 号 | 産地協議会名 | 該当市町村 |
|------------|-----------|---------------------|---------------|-------------------------|------------|
| 01 | 北海道 | 1 | 001 | 壮瞥町果樹振興協議会 | 壮瞥町 |
| 01 | 北海道 | 2 | 004 | 仁木町果樹産地振興協議会 | 仁木町 |
| 01 | 北海道 | 3 | 005 | 余市町果樹産地協議会 | 余市町 |
| 02 | 青森 | 4 | 012 | 青森市果樹産地協議会 | 青森市 |
| 02 | 青森 | 5 | 015 | 板柳町果樹産地推進協議会 | 板柳町 |
| 02 | 青森 | 6 | 016 | 鶴田町果樹産地協議会 | 鶴田町 |
| 02 | 青森 | 7 | 018 | J A つがる弘前地区果樹振興協議会 | 弘前市 |
| | | | | | 平川市のうち碓ヶ関村 |
| | | | | | 旧藤崎町 |
| | | | | | 西目屋村 |
| | | | | | 大鱈町 |
| 02 | 青森 | 8 | 020 | J A 津軽みらい黒石地区果樹産地協議会 | 黒石市 |
| 02 | 青森 | 9 | 021 | J A 津軽みらいみなみ地区果樹産地協議会 | 平川市 |
| | | | | | 田舎館村 |
| 03 | 岩手 | 10 | 029 | 新岩手果樹振興協議会 | 滝沢市 |
| | | | | | 八幡平市 |
| | | | | | 雫石町 |
| | | | | | 岩手町 |
| 03 | 岩手 | 11 | 031 | 岩手中央果樹振興協議会 | 盛岡市 |
| | | | | | 紫波町 |
| | | | | | 矢巾町 |
| 03 | 岩手 | 12 | 032 | 花巻市農業振興対策本部園芸振興部会 | 花巻市 |
| 03 | 岩手 | 13 | 033 | 北上地方農林業振興協議会 | 北上市 |
| | | | | | 西和賀町 |
| 03 | 岩手 | 14 | 034 | 江刺果樹産地協議会 | 奥州市 |
| 06 | 山形 | 15 | 046 | 天童市果樹産地協議会 | 天童市 |
| 06 | 山形 | 16 | 047 | 東根市果樹産地協議会 | 東根市 |
| 06 | 山形 | 17 | 050 | さがえ西村山果樹産地協議会 | 寒河江市 |
| | | | | | 河北町 |
| | | | | | 西川町 |
| | | | | | 朝日町 |
| | | | | | 大江町 |
| 06 | 山形 | 18 | 051 | J A やまがた果樹産地協議会 | 山形市 |
| | | | | | 上市市 |
| | | | | | 中山町 |
| | | | | | 山辺町 |
| 19 | 山梨 | 19 | 067 | フルーツ山梨農協果樹産地構造改革計画産地協議会 | 甲州市 |
| | | | | | 山梨市 |
| 19 | 山梨 | 20 | 068 | J A こま野果樹産地協議会 | 南アルプス市 |
| 19 | 山梨 | 21 | 070 | J A ふえふき果樹産地協議会 | 笛吹市 |
| | | | | | 中央市の旧豊富村 |
| | | | | | 甲府市の旧中道町 |

産地協議会別の該当市町村・旧市町村一覧（4-2）

| 都道府県 番号 | 都道府県 名 | 協議 会通 し番 号 | 協議 会番 号 | 産地協議会名 | 該当市町村 |
|------------|-----------|---------------------|---------------|--------------------|--|
| 20 | 長野 | 22 | 075 | JAみなみ信州果樹産地協議会 | 飯田市 松川町 高森町 阿南町 阿智町 平谷村 根羽村 下条村 売木村 天龍村 泰阜村 喬木村 豊丘村 大鹿村 |
| 20 | 長野 | 23 | 080 | JAグリーン長野果樹産地協議会 | 長野市の犀川より南の地区 |
| 20 | 長野 | 24 | 083 | JA須高果樹産地構造改革協議会 | 須坂市 高山村 小布施町 |
| 20 | 長野 | 25 | 084 | J Aながの果樹産地構造改革協議会 | 長野市の犀川より北の地区 信濃町 小川村 飯綱町 |
| 20 | 長野 | 26 | 085 | J A中野市果樹産地構造改革協議会 | 中野市のうち、旧豊田村を除く |
| 22 | 静岡 | 27 | 091 | JAしみず柑橘産地構造改革協議会 | 静岡市清水区 |
| 22 | 静岡 | 28 | 095 | とびあ浜松農業協同組合果樹産地協議会 | 浜松市のうち、三ヶ日町、天竜区、丸浜柑橘連分除く 湖西市 |
| 22 | 静岡 | 29 | 096 | 三ヶ日町柑橘産地協議会 | 浜松市のうち、三ヶ日町 |
| 23 | 愛知 | 30 | 101 | 蒲郡かんきつ産地協議会 | 蒲郡市 豊川市 |
| 24 | 三重 | 31 | 104 | 南勢産地協議会 | 南伊勢町 |
| 24 | 三重 | 32 | 105 | 三重南紀みかん産地再構築委員会 | 熊野市 御浜町 紀宝町 |
| 30 | 和歌山 | 33 | 117 | J A紀の里産地協議会 | 紀の川市 岩出市 |
| 30 | 和歌山 | 34 | 119 | ブランドありだ果樹産地協議会 | 有田市 有田川町 広川町 湯浅町 |
| 30 | 和歌山 | 35 | 122 | JAみなべいなみ果樹産地協議会 | みなべ町 印南町 |
| 30 | 和歌山 | 36 | 123 | J A紀南果樹産地協議会 | 田辺市 上富田町 白浜町 すさみ町 串本町 |

産地協議会別の該当市町村・旧市町村一覧（4-3）

| 都道府県 番号 | 都道府県 名 | 協議 会通 し番 号 | 協議 会番 号 | 産地協議会名 | 該当市町村 |
|------------|-----------|---------------------|---------------|--------------------|---|
| 34 | 広 島 | 37 | 133 | 呉地域果樹振興対策会議 | 呉市のうち、蒲刈町 〃 下蒲刈町 〃 音戸町 〃 倉橋町 |
| 34 | 広 島 | 38 | 137 | 尾道市瀬戸田地域果樹振興対策会議 | 尾道市 旧瀬戸田町 |
| | | 39 | 138 | 三原果樹振興対策会議 | 三原市 |
| 38 | 愛 媛 | 40 | 162 | 松山市農協果樹産地協議会 | 松山市（えひめ分除く） |
| 38 | 愛 媛 | 41 | 163 | えひめ中央果樹産地協議会 | 松山市（松山市農協分除く） 伊予市 東温市 砥部町 |
| 38 | 愛 媛 | 42 | 165 | 八西地域農業振興協議会 | 八幡浜市 伊方町 西予市のうち三瓶町 |
| 38 | 愛 媛 | 43 | 167 | 宇和島支部産地協議会 | 宇和島市（うち、吉田町を除く） |
| 38 | 愛 媛 | 44 | 169 | 吉田町果樹産地協議会 | 宇和島市（うち、吉田町） |
| 40 | 福 岡 | 45 | 177 | J Aにじ地域果樹産地協議会 | うきは市 久留米市 田主丸町 |
| 40 | 福 岡 | 46 | 179 | 朝倉地域果樹産地協議会 | 朝倉市 筑前町 東峰村 |
| 40 | 福 岡 | 47 | 181 | 八女地域果樹産地協議会 | 八女市 筑後市 広川町 |
| 41 | 佐 賀 | 48 | 191 | 三神・佐賀地区果樹産地構造改革協議会 | 旧佐賀市 鳥栖市 神崎市 基山町 みやま町 上峰町 吉野ヶ里町 |
| 41 | 佐 賀 | 49 | 194 | J Aさがみどり地区果樹産地協議会 | 鹿島市 武雄市 嬉野市 太良町 |
| 42 | 長 崎 | 50 | 195 | 長崎西彼地域果樹産地協議会 | 長崎市 諫早市 西海市 長与町 時津町 |
| 42 | 長 崎 | 51 | 196 | 長崎県央地域果樹産地協議会 | 諫早市 大村市 東彼杵町 川棚町 波佐見町 |

産地協議会別の該当市町村・旧市町村一覧（4-4）

| 都道府県 番号 | 都道府県 名 | 協議 会通 し番 号 | 協議 会番 号 | 産地協議会名 | 該当市町村 |
|------------|-----------|---------------------|---------------|---------------------------|---------------------------------|
| 42 | 長 崎 | 52 | 197 | 島原地域果樹産地協議会 | 雲仙市 島原市 南島原市 |
| 43 | 熊 本 | 53 | 199 | 熊本市果樹産地推進協議会 | 熊本市 |
| 43 | 熊 本 | 54 | 200 | 玉名地域果樹産地協議会 | 荒尾市 玉東町 和水町 |
| 43 | 熊 本 | 55 | 201 | 鹿本地域果樹産地協議会 | 山鹿市 熊本市のうち、旧植木町 |
| 43 | 熊 本 | 56 | 203 | 宇城地域果樹産地協議会 | 宇城市 宇土市 |
| 44 | 大 分 | 57 | 213 | 東部果樹産地協議会 | 杵築市 国東市 |
| | | 58 | 214 | 県南果樹産地改革協議会 | 大分市 旧佐賀関町 臼杵市 津久見市 佐伯市 |
| 45 | 宮 崎 | 59 | 219 | 日南市『目指せ!!力強いかんきつ産地づくり』協議会 | 日南市 |

公益財団法人中央果実協会委託事業
平成26年度 果樹産地発展要因解析調査 調査票
 ≪産地協議会・農協・市役所・県果実関係協会用≫

| | | | |
|------------|-----|--|------|
| 道県名 | | | |
| 調査対象産地協議会名 | | | |
| 事務局担当者 | 氏名： | | TEL： |
| 農協名 | | | |
| 管内市町村名 | | | |

≪調査事項≫

| NO | 調査項目 | 単位等 | 調査値 | 出所 | 備考 |
|----|---|-----|-----|--------|------------------------|
| 1 | 管内の改植事業（果樹経営支援対策事業における優良品目・品種への転換）の実績面積(19～25年度の7年間累積面積) | ha | | 県果実協会等 | 果樹経営支援対策事業実績より管内分を聞き取る |
| 2 | 管内の認定農業者のいる戸数割合（管内の認定農業者のいる農家数/管内の農家数×100） | % | | 市役所 | 農政関係 |
| 3 | 管内の樹園地の灌水・防除設備等の整備状況（1.完備、2.樹園地面積の7.8割整備、3.半分程度整備、4.2,3割程度整備、5.未整備） | 5段階 | | 農協ほか | 管内のおおよその割合 |
| 4 | 当該農協における労働力調整の仕組み（農協による雇用の斡旋など）の有無（1.無い、2.計画中、3.有る） | 3段階 | | 農協 | 農繁期の雇用あつせんなど |
| 5 | 農協の果樹関係販売額（JA取扱高等） | 百万円 | | 農協 | 総会資料等より |
| 6 | 管内の果樹販売における農協系統共販率 | % | | 農協 | 管内のおおよその割合 |
| 7 | 当該農協等で果実での産地ブランドの有無（1.有り、2.無い） | 2段階 | | 農協 | 地域ブランド等の有無 |
| 8 | 当該産地のブランド力（1.果実の単価は県内では比較的高い、2.中位、3.比較的低い（当該県における当該産地の平均販売単価の高低で3区分）） | 3段階 | | 農協 | 総会資料等より聞き取り |

調査結果の要旨

- 1 主要果樹県における最近 10 年間の果樹園面積の減少率をみると、最も減少率の少ない県は、愛知県($\Delta 5.4\%$)、次いで和歌山県($\Delta 7.1\%$)、青森県($\Delta 10.4\%$)、山形県($\Delta 12.2\%$)、長野県($\Delta 13.3\%$)などとなっている。
一方、果樹園面積の減少率の大きかった県は、鳥取県、香川県、山口県、佐賀県などとなっている。
- 2 「果樹産地発展要因解析シート」で主要果樹県の代表的な産地を 12 指標で当該品目産地平均と比べると、りんご県においては青森県の代表的な産地は多くの指標でりんご産地平均を上回っている。またかんきつ類では静岡県の三ヶ日町や愛媛県の吉田町、熊本県の熊本市などは多くの指標でかんきつ類産地平均を上回っている。
- 3 「産地ごとの樹園地面積増減率と樹園地のある農家数減少率との相関分析」では、産地を減少率の低い A から減少率の高い D になるまで 4 つに類型化してみると、減少率の低い A、B 類型に入っている産地は、果樹に特化している大規模産地で、かつ担い手の規模が大きく、労働力を確保している産地が多かった。
- 4 比較的減少率の少ない A、B 類型における 1 戸当たり規模をみると、規模の大きい産地が占めていることが分かった。
また、大規模層への樹園地の集積状況を見ると 2ha 以上の大規模階層のうち、集積面積率の最も多い階層（いわゆる樹園地の受け手）は 2.0~3.0ha である産地が多い。しかし余市町、弘前市旧清水村、三ヶ日町のように 3.0~5.0ha が最も多く、受け手が 2.0~3.0ha から移行している産地が出現していることが分かった。
- 5 「果樹産地の発展要因解析（将来性分析）」では、将来用いることのできる資源をいかに確保されているかという観点から評価したものであるが、品目別ではりんご産地が最も高く、続いて落葉果樹産地、かんきつ類産地となっている。
りんご産地が高いのは規模、労働力で経営資源が確保されていることが評価され、かんきつ類産地では労働力が確保されていないことがマイナス評価に、また、落葉果樹産地は、規模が小さいこと、改植の動きがりんご、かんきつ類に比べて弱いことなどがマイナス点となった。
- 6 「主成分分析」では、第 1 主成分は、個別経営の規模、労働力保有など経営体力に関わる値は正で高いことから「担い手体力」軸と、また、第 2 主成分は、産地の活動の活発さに関わる値が正で高く、「耕作放棄地」の数値が低かったことから「産地活力」軸と名づけられた。
この 2 つの軸の座標の上に産地をプロットすると、基本的に左下から右上に向かって、D,C,B,A 類型という配置となった。つまり、「担い手体力」及び「産地活力」の高い産地において産地が維持されていることが分かった。

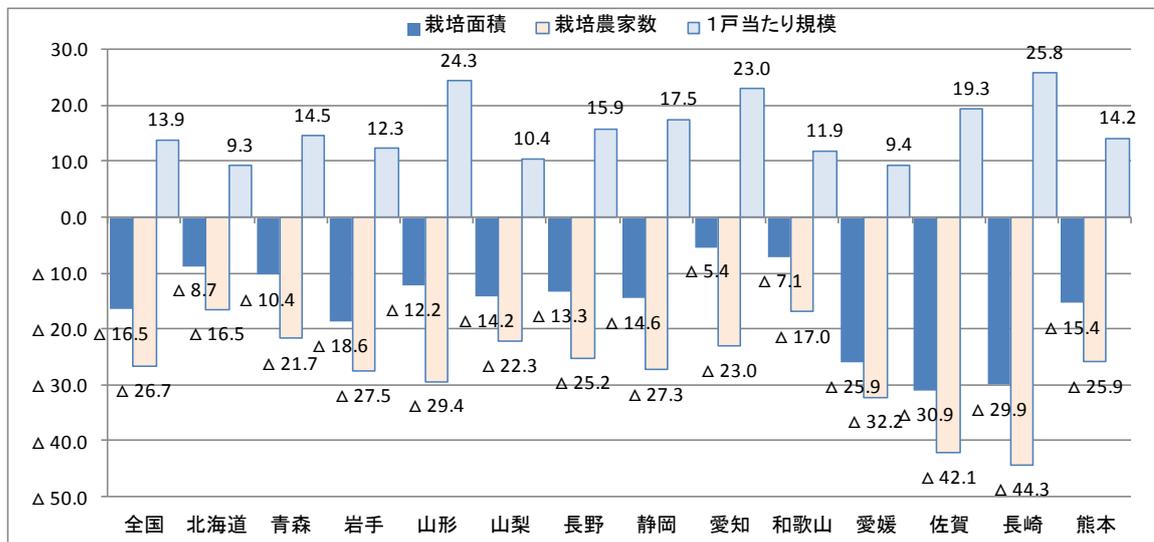
I 果樹主産県の主要指標の動向・実態（マクロ的把握）

「果樹栽培面積」、「栽培農家数」、「1戸当たり栽培面積」
 —最近10年間の増減率（2010年/2000年、センサス）—

1 主要果樹産地13県における最近10年間の3指標増減率の比較

本分析でアウトカムとした「栽培面積の減少率」をみると、最も減少率の少ないのは、「愛知県(△5.4%)」、次いで「和歌山県(△7.1%)」、「青森県(△10.4%)」などの順。逆に最も減少率の大きいのは、「佐賀県(△30.9%)」、次いで「長崎県(△29.9%)」、「愛媛県(△25.9%)」など九州、四国に多い。

図 I - 1 果樹主要県における果樹栽培面積、栽培農家数、1戸当たり規模（栽培面積）の動向(2010年/2000年)



(参考) 主要果樹品目別の結果樹面積の推移（平.20年産～25年産）

果樹生産出荷統計を用いて、最近5年間の主要果樹品目別に結果樹面積の減少率をみると、
 ・減少率の少ない順に、もも(△2.1%)、ぶどう(△5.4%)、くり(△5.4%)、りんご(△5.8%)、
 など

・減少率の多い順では、みかん(△9.5%)、日本なし(△9.1%)の順

産地の検討に当たっては、このような品目別の減少率の違いも念頭に検討する必要がある。

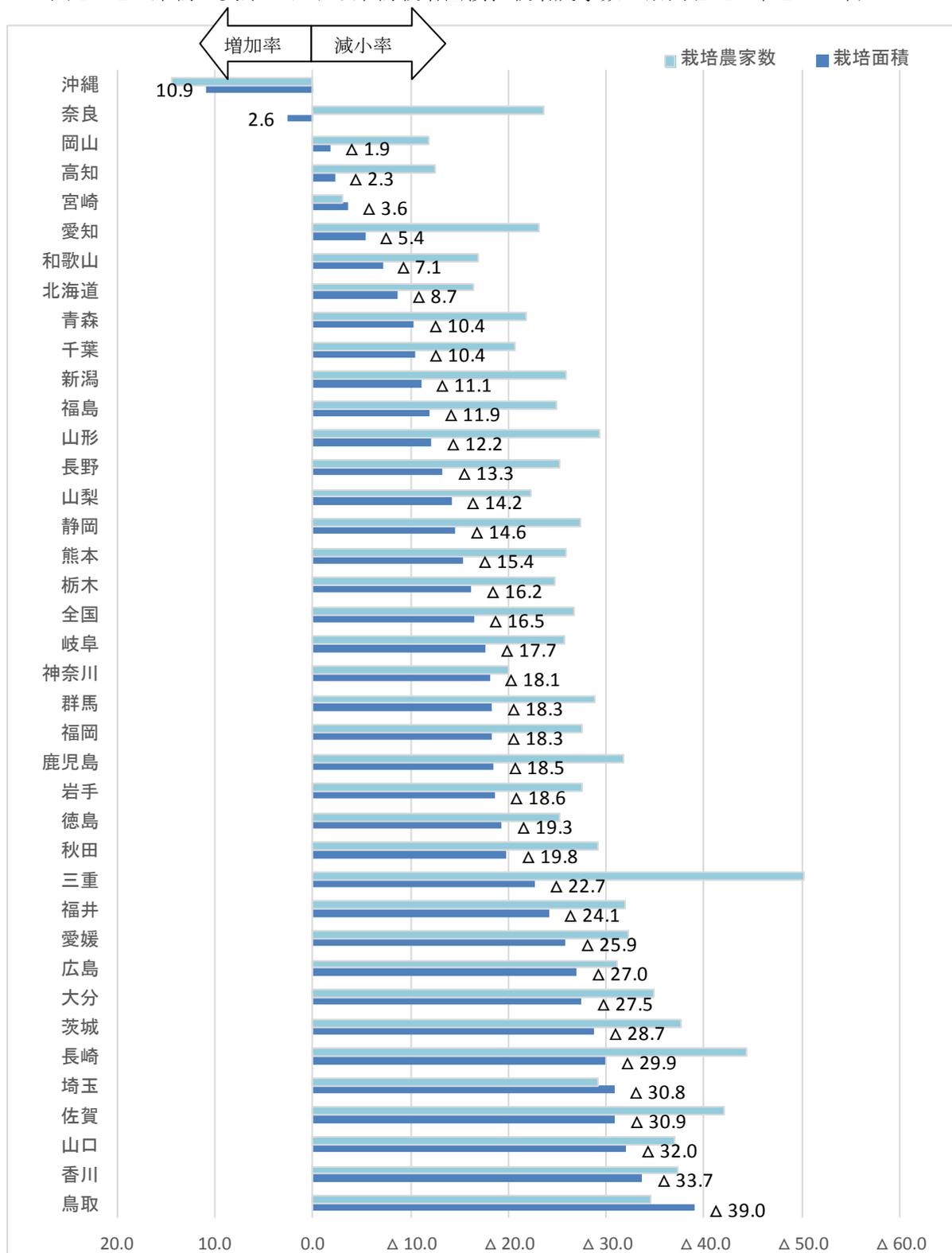
表 I - 1 主要果樹の結果樹面積の推移（平成20～25年産） 単位：ha

| 品目 | 20年産 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 増減率 (25/20) |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| みかん | 48,300 | 47,000 | 46,100 | 45,300 | 44,600 | 43,700 | △ 9.5 |
| りんご | 39,500 | 38,800 | 38,100 | 37,800 | 37,400 | 37,200 | △ 5.8 |
| 日本なし | 14,300 | 14,200 | 13,900 | 13,700 | 13,300 | 13,000 | △ 9.1 |
| かき | 23,000 | 22,700 | 22,400 | 22,100 | 21,900 | 21,600 | △ 6.1 |
| もも | 10,100 | 10,100 | 10,000 | 9,980 | 9,950 | 9,890 | △ 2.1 |
| うめ | 17,400 | 17,100 | 16,900 | 16,600 | 16,400 | 16,200 | △ 6.9 |
| ぶどう | 18,400 | 18,300 | 18,000 | 17,800 | 17,600 | 17,400 | △ 5.4 |
| くり | 18,400 | 18,300 | 18,000 | 17,800 | 17,600 | 17,400 | △ 5.4 |

2 都道府県別の果樹栽培農家数、栽培面積の最近10年間の増減率

全都道府県について、栽培面積の増減率をみると、沖縄県及び奈良県は増加、他県はいずれも減少となっている。減少率の小さい県は、順に奈良県、岡山県、高知県、宮崎県など。一方、減少率の大きい県は、鳥取県、香川県、山口県、佐賀県などとなっている。なお、農家数と栽培面積の増減率は、必ずしもパラレルでないことも特徴である。

図 I - 2 果樹主要県における果樹栽培面積、栽培農家数の動向(2010年/2000年)



3 相関分析「果樹栽培農家数、栽培面積の最近10年間の増減率」

都道府県別に、最近10年間の減少率の相関を図にしてみると、

(1) 減少率の大きいグループと、減少率が中位のグループ、さらに減少率が比較的少ない岡山県、和歌山県などに分けられる。

(2) 次に、農家数と面積の減少率が同一のラインに着目してみると、埼玉県、東京都、鳥取県は、ラインの右下に位置し、1戸当たり規模が縮小。一方、他の道府県は全て、ラインの左上に位置し、1戸当たり規模が拡大していることが分かる。

1戸当たり規模は、ラインより左上に離れている県ほど（すなわち、面積の減少率を農家数の減少率が上回ったほど）、規模拡大が進んだことを表しており、長崎県、山形県、愛知県の前で規模拡大進んでいる。

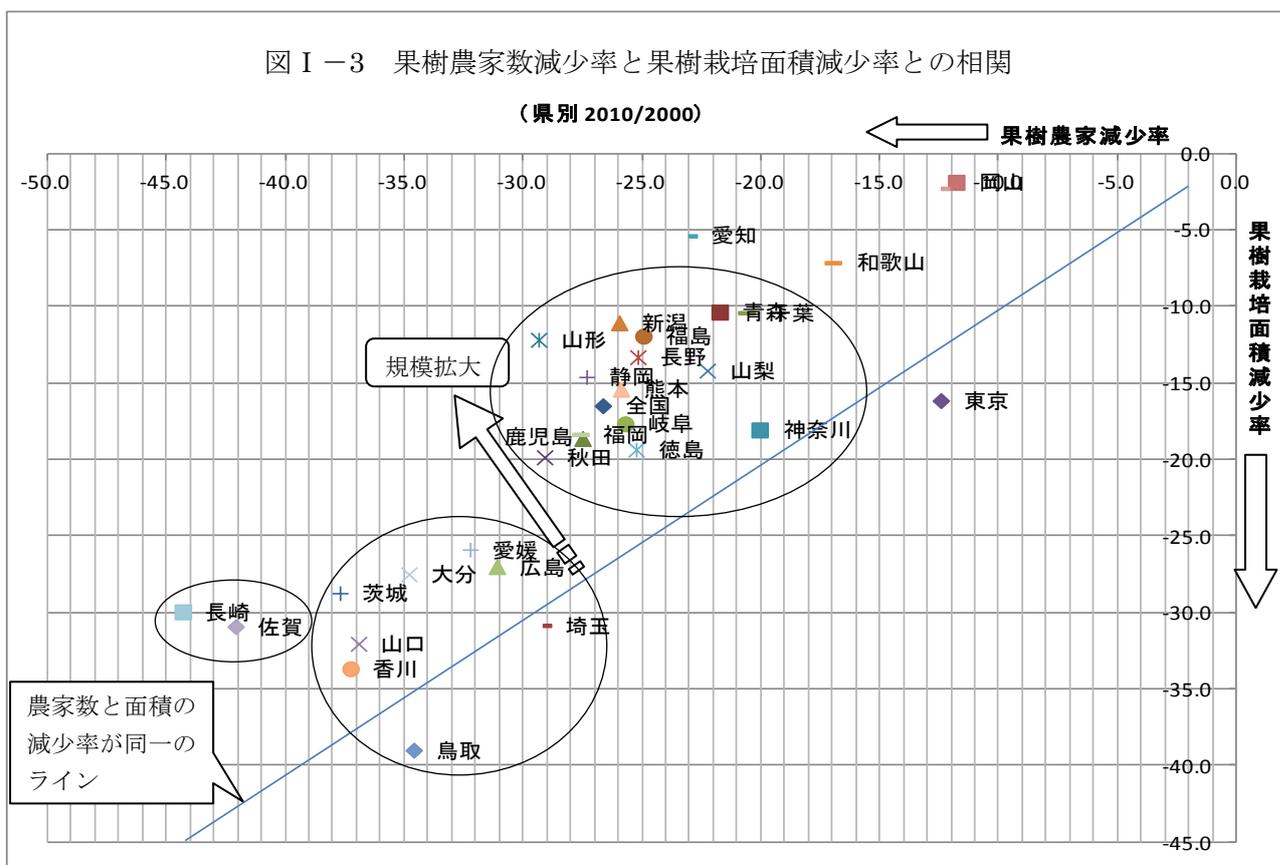


表 I-2 (参考) 主要果樹品目別の栽培農家数の推移

| 順位 (2010年) | 品目名 | 2000年 | | 2005年 | | 2010年 | | 2000年を100とする指数 |
|---------------|---------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|----------------|
| | | 栽培農家数 | 構成割合 | 栽培農家数 | 構成割合 | 栽培農家数 | 構成割合 | |
| 1 | 温州みかん | 83,570 | 25.3 | 65,992 | 23.9 | 57,254 | 23.6 | 68.5 |
| 2 | りんご | 60,811 | 18.4 | 51,640 | 18.7 | 44,887 | 18.5 | 73.8 |
| 3 | その他かんきつ | 57,638 | 17.4 | 50,897 | 18.4 | 43,319 | 17.9 | 75.2 |
| 4 | かき | 50,163 | 15.2 | 46,634 | 16.9 | 39,641 | 16.4 | 79.0 |
| 5 | ぶどう | 41,381 | 12.5 | 40,577 | 14.7 | 35,628 | 14.7 | 86.1 |
| 6 | もも | 33,500 | 10.1 | 31,674 | 11.5 | 27,760 | 11.5 | 82.9 |
| 7 | うめ | 32,964 | 10.0 | 32,400 | 11.7 | 25,506 | 10.5 | 77.4 |
| 8 | 日本なし | 32,648 | 9.9 | 27,793 | 10.0 | 22,185 | 9.2 | 68.0 |
| 9 | くり | 32,180 | 9.7 | 26,191 | 9.5 | 21,751 | 9.0 | 67.6 |
| | 果樹合計 | 330,397 | 100.0 | 276,548 | 100.0 | 242,344 | 100.0 | 73.3 |

表 I-3 センサスでみた都道府県別「果樹栽培面積」、「栽培農家数」及び「1戸当たり栽培面積」の最近10年間の増減率（2010年/2000年）

| 県・地域コード | 栽培面積 | | | 栽培農家数 | | | 農家1戸あたり栽培面積 | | |
|----------|---------|---------|-----------------|---------|---------|-----------------|-------------|-------|-----------------|
| | 2000年 | 2010年 | 2010年/ 2000年 | 2000年 | 2010年 | 2010年/ 2000年 | 2000年 | 2010年 | 2010年/ 2000年 |
| | ha | ha | % | 戸 | 戸 | % | a | a | % |
| 0 全 国 | 187,821 | 156,874 | △ 16.5 | 330,397 | 242,344 | △ 26.7 | 56.8 | 64.7 | 13.9 |
| 1 北 海 道 | 2,365 | 2,159 | △ 8.7 | 1,610 | 1,345 | △ 16.5 | 146.9 | 160.5 | 9.3 |
| 2 青 森 | 19,307 | 17,308 | △ 10.4 | 20,614 | 16,133 | △ 21.7 | 93.7 | 107.3 | 14.5 |
| 3 岩 手 | 2,949 | 2,400 | △ 18.6 | 5,490 | 3,980 | △ 27.5 | 53.7 | 60.3 | 12.3 |
| 4 宮 城 | 649 | 535 | △ 17.6 | 1,618 | 1,107 | △ 31.6 | 40.1 | 48.3 | 20.5 |
| 5 秋 田 | 2,342 | 1,877 | △ 19.8 | 4,340 | 3,077 | △ 29.1 | 54.0 | 61.0 | 13.1 |
| 6 山 形 | 8,890 | 7,809 | △ 12.2 | 19,628 | 13,867 | △ 29.4 | 45.3 | 56.3 | 24.3 |
| 7 福 島 | 5,823 | 5,128 | △ 11.9 | 10,367 | 7,781 | △ 24.9 | 56.2 | 65.9 | 17.3 |
| 8 茨 城 | 5,439 | 3,876 | △ 28.7 | 9,742 | 6,069 | △ 37.7 | 55.8 | 63.9 | 14.4 |
| 9 栃 木 | 1,715 | 1,437 | △ 16.2 | 2,749 | 2,067 | △ 24.8 | 62.4 | 69.5 | 11.4 |
| 10 群 馬 | 1,827 | 1,492 | △ 18.3 | 4,071 | 2,895 | △ 28.9 | 44.9 | 51.5 | 14.8 |
| 11 埼 玉 | 1,622 | 1,122 | △ 30.8 | 4,659 | 3,300 | △ 29.2 | 34.8 | 34.0 | △ 2.3 |
| 12 千 葉 | 2,388 | 2,140 | △ 10.4 | 4,263 | 3,384 | △ 20.6 | 56.0 | 63.2 | 12.9 |
| 13 東 京 | 706 | 592 | △ 16.1 | 2,484 | 2,175 | △ 12.4 | 28.4 | 27.2 | △ 4.2 |
| 14 神 奈 川 | 2,487 | 2,038 | △ 18.1 | 6,177 | 4,938 | △ 20.1 | 40.3 | 41.3 | 2.5 |
| 15 新 潟 | 1,968 | 1,750 | △ 11.1 | 4,888 | 3,619 | △ 26.0 | 40.3 | 48.4 | 20.1 |
| 16 富 山 | 462 | 438 | △ 5.1 | 1,135 | 899 | △ 20.8 | 40.7 | 48.7 | 19.8 |
| 17 石 川 | 577 | 506 | △ 12.2 | 1,181 | 935 | △ 20.8 | 48.9 | 54.2 | 10.9 |
| 18 福 井 | 461 | 350 | △ 24.1 | 1,204 | 820 | △ 31.9 | 38.3 | 42.6 | 11.4 |
| 19 山 梨 | 8,923 | 7,658 | △ 14.2 | 16,401 | 12,750 | △ 22.3 | 54.4 | 60.1 | 10.4 |
| 20 長 野 | 12,697 | 11,008 | △ 13.3 | 28,400 | 21,249 | △ 25.2 | 44.7 | 51.8 | 15.9 |
| 21 岐 阜 | 1,787 | 1,471 | △ 17.7 | 5,465 | 4,060 | △ 25.7 | 32.7 | 36.2 | 10.8 |
| 22 静 岡 | 6,661 | 5,689 | △ 14.6 | 12,019 | 8,734 | △ 27.3 | 55.4 | 65.1 | 17.5 |
| 23 愛 知 | 3,358 | 3,178 | △ 5.4 | 8,485 | 6,530 | △ 23.0 | 39.6 | 48.7 | 23.0 |
| 24 三 重 | 1,797 | 1,389 | △ 22.7 | 5,315 | 2,643 | △ 50.3 | 33.8 | 52.6 | 55.5 |
| 25 滋 賀 | 149 | 145 | △ 2.4 | 564 | 617 | 9.4 | 26.4 | 23.6 | △ 10.8 |
| 26 京 都 | 423 | 361 | △ 14.8 | 1,717 | 1,387 | △ 19.2 | 24.6 | 26.0 | 5.5 |
| 27 大 阪 | 674 | 614 | △ 8.8 | 1,989 | 1,607 | △ 19.2 | 33.9 | 38.2 | 12.8 |
| 28 兵 庫 | 733 | 594 | △ 19.0 | 2,781 | 2,297 | △ 17.4 | 26.4 | 25.8 | △ 2.0 |
| 29 奈 良 | 1,604 | 1,645 | 2.6 | 2,105 | 1,609 | △ 23.6 | 76.2 | 102.2 | 34.2 |
| 30 和 歌 山 | 16,379 | 15,213 | △ 7.1 | 19,042 | 15,809 | △ 17.0 | 86.0 | 96.2 | 11.9 |
| 31 鳥 取 | 2,250 | 1,373 | △ 39.0 | 5,416 | 3,542 | △ 34.6 | 41.5 | 38.8 | △ 6.7 |
| 32 島 根 | 766 | 695 | △ 9.3 | 2,710 | 2,111 | △ 22.1 | 28.3 | 32.9 | 16.5 |
| 33 岡 山 | 1,673 | 1,642 | △ 1.9 | 6,919 | 6,103 | △ 11.8 | 24.2 | 26.9 | 11.3 |
| 34 広 島 | 3,327 | 2,429 | △ 27.0 | 6,462 | 4,452 | △ 31.1 | 51.5 | 54.6 | 6.0 |
| 35 山 口 | 2,057 | 1,398 | △ 32.0 | 4,921 | 3,104 | △ 36.9 | 41.8 | 45.0 | 7.7 |
| 36 徳 島 | 2,202 | 1,776 | △ 19.3 | 6,071 | 4,538 | △ 25.3 | 36.3 | 39.1 | 7.9 |
| 37 香 川 | 2,420 | 1,605 | △ 33.7 | 5,553 | 3,484 | △ 37.3 | 43.6 | 46.1 | 5.7 |
| 38 愛 媛 | 18,840 | 13,964 | △ 25.9 | 22,548 | 15,280 | △ 32.2 | 83.6 | 91.4 | 9.4 |
| 39 高 知 | 1,573 | 1,537 | △ 2.3 | 4,265 | 3,735 | △ 12.4 | 36.9 | 41.2 | 11.6 |
| 40 福 岡 | 6,389 | 5,217 | △ 18.3 | 9,130 | 6,611 | △ 27.6 | 70.0 | 78.9 | 12.8 |
| 41 佐 賀 | 4,889 | 3,378 | △ 30.9 | 7,059 | 4,088 | △ 42.1 | 69.3 | 82.6 | 19.3 |
| 42 長 崎 | 4,993 | 3,498 | △ 29.9 | 8,905 | 4,959 | △ 44.3 | 56.1 | 70.5 | 25.8 |
| 43 熊 本 | 10,250 | 8,672 | △ 15.4 | 13,575 | 10,061 | △ 25.9 | 75.5 | 86.2 | 14.2 |
| 44 大 分 | 2,954 | 2,142 | △ 27.5 | 6,140 | 4,003 | △ 34.8 | 48.1 | 53.5 | 11.2 |
| 45 宮 崎 | 2,180 | 2,101 | △ 3.6 | 3,021 | 2,931 | △ 3.0 | 72.2 | 71.7 | △ 0.7 |
| 46 鹿 児 島 | 2,704 | 2,204 | △ 18.5 | 5,583 | 3,809 | △ 31.8 | 48.4 | 57.9 | 19.5 |
| 47 沖 縄 | 1,193 | 1,324 | 10.9 | 1,616 | 1,850 | 14.5 | 73.8 | 71.5 | △ 3.1 |

II 果樹産地生産力構造指標の作成・分析

1 解析調査産地の設定

解析調査対象産地は、原則として「かんきつ類」、「りんご」及び「落葉果樹」の主産道県における代表的な産地、具体的には「果樹産地協議会（果樹産地計画を作成する単位としての産地）」18道県、59産地協議会（以下、「産地」という）を対象とした。

《調査対象県及び調査対象産地の設定》

かんきつ類、りんご及び落葉果樹の18道県、59産地とした（各県（ ）は産地数）。

- ① かんきつ類（11県） … 静岡(3)、愛知(1)、三重(2)、和歌山(1)、広島(3)、愛媛(5)、佐賀(2)、長崎(3)、熊本(4)、大分(2)、宮崎(1)
- ② りんご（4道県） … 北海道(3)、青森(6)、岩手(4)、長野(4)
- ③ 落葉果樹（6県） … 岩手(1)、山形(4)、山梨(3)、長野(1)、和歌山(3)、福岡(3)

2 果樹産地生産力構造指標の作成・整備

果樹の生産力に影響を与える26指標を、以下の2つの方法で作成・整備した。

① 農業センサスデータの整理(18指標)

2000年及び2010年農業センサスデータを用いて、調査対象産地管内（具体的には、産地協議会の管内市町村・旧市町村等）毎に組替集計を行って作成した。

（別紙1「調査対象産地協議会の管内市町村・旧市町村等一覧表」参照）。

② 補完調査を実施(8指標)

果樹生産力構造指標として農業センサスの調査項目に無く、必要と思われる8指標について、（一財）農林統計協会から直接郵送で各産地協議会等へ補完調査を実施した。

（別紙2「平成26年度果樹産地発展要因解析調査票」参照）

3 果樹産地発展要因解析シートの作成

果樹の主要11県について、代表的な3産地を選定の上、主要11指標を用いて、当該品目産地の平均値（かんきつ類産地平均、りんご産地平均、落葉果樹平均）との比較を行い、各産地の「当該品目産地の平均」に対する位置付けの確認を行うとともに、今後の発展要因を解析した。

（主要11県）1. 青森県、2. 岩手県、3. 山形県、4. 山梨県、5. 長野県、6. 静岡県、7. 和歌山県、8. 愛媛県、9. 福岡県、10. 長崎県、11. 熊本県

表Ⅱ-1 果樹産地生産力構造指標一覧

| 区分 | 番号 | 指標名 | 単位 | 備考 |
|----------------|----|----------------------|-----|--------------------------|
| Ⅰ.産地の立地条件・農家概況 | 1 | 販売農家数 | 戸 | 注：果樹作以外の水稲作、野菜作、畜産経営等含む。 |
| | 2 | 主業農家数 | 戸 | 〃 |
| | 3 | 樹園地のある農家数 | 戸 | |
| | 4 | 樹園地面積3ha以上の農家数 | 戸 | |
| | 5 | 農産物販売金額1,000万円以上農家数 | 戸 | 注：果樹作以外の水稲作、野菜作、畜産経営等含む。 |
| | 6 | 後継者(同居)の居る農家数 | 戸 | 〃 |
| | 7 | 認定農業者のいる農家 ※ | 戸 | 〃 |
| | 8 | 樹園地面積 | ha | |
| Ⅱ.担い手等の状況 | 9 | 主業農家率 | % | |
| | 10 | 樹園地面積3ha以上の農家率 | % | |
| | 11 | 後継者(同居)の居る農家率 | % | |
| | 12 | 認定農業者のいる農家率 ※ | % | |
| Ⅲ.樹園地の生産条件等 | 13 | 樹園地の灌水設備等の整備状況 ※ | 5段階 | 注：5段階の内容は別紙1調査票参照。 |
| | 14 | 1戸当たり樹園地栽培面積 | a | |
| | 15 | 改植事業の実績面積(19～25年度) ※ | ha | |
| | 16 | 改植事業の実績面積割合 ※ | % | |
| | 17 | 耕作放棄地面積割合 | % | |
| Ⅳ.労働力等 | 18 | 農業就業人口数 | 人 | 注：果樹作以外の水稲作、野菜作、畜産経営等含む。 |
| | 19 | 65歳未満の農業就業人口数 | 人 | 〃 |
| | 20 | 1戸当たり農業就業人口数 | 人 | 〃 |
| | 21 | 農業就業人口の65歳未満割合 | % | 〃 |
| | 22 | 産地における労働力調整の仕組 ※ | 3段階 | 注：3段階の内容は別紙1調査票参照。 |
| Ⅴ.販売関係 | 23 | 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 万円 | |
| | 24 | 果樹関係販売額(JA取扱高等) ※ | 百万円 | |
| | 25 | 果樹販売における農協系統共販率 ※ | % | |
| | 25 | 産地のブランド力(販売価格の高低)※ | 3段階 | 注：3段階の内容は別紙1調査票参照。 |

注：※印は、補完調査した指標。

果樹産地発展要因解析シート 1. 青森県 (りんご産地)

《産地の特徴と発展要因解析》

・青森県の産地の特徴は、りんご産地平均と比べて、1戸当たり樹園地面積はやや大きく、改植事業面積割合もやや高く、農業就業人口65歳未満割合はやや高く、産地のブランド力も高い点である。

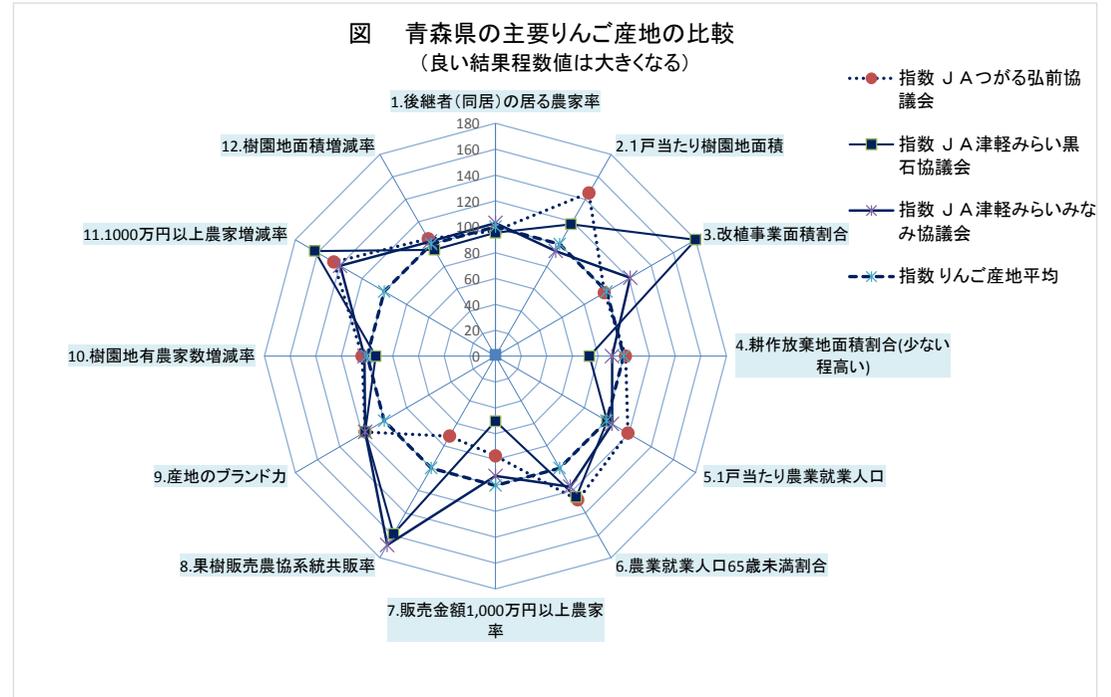
・主要3産地について主要指標を比較してみると、

1. JAつがる弘前は、樹園地面積の減少率、及び耕作放棄地面積割合は最も少なく、1戸当たり樹園地面積及び農業就業人口は多く、また、農業就業人口65歳未満割合は高いなど、3産地の中では比較的發展可能性を有しているといえる。

2. JA津軽みらい黒石は、改植事業面積割合は3産地の中で最も高くなっている。一方、耕作放棄地面積割合は比較的高く1000万円以上農家率は最も低い。10年前に比べると4割増と大幅に増加している。

3. JA津軽みらいみなみは、樹園地面積減少率、耕作放棄地面積割合、改植事業面積割合など比較的前記2産地の中間的な結果となっている他、後継者(同居)のいる農家率、販売金額1000万円以上農家率、果樹販売農協系統共販率は最も高くなっている。

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|---------------|---------|-------|
| 青森県 | JAつがる弘前協議会 | 6,715 | 8,614 |
| | JA津軽みらい黒石協議会 | 988 | 1,025 |
| | JA津軽みらいみなみ協議会 | 1,787 | 1,477 |



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|---------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | JAつがる弘前協議会 | 96.9 | 145.6 | 98.0 | 101.3 | 119.2 | 128.3 | 77.1 | 71.4 | 117.2 | 103.8 | 145.4 | 104.7 |
| | JA津軽みらい黒石協議会 | 95.4 | 117.7 | 180.0 | 73.2 | 100.4 | 125.8 | 50.3 | 158.7 | 117.2 | 93.2 | 162.5 | 95.0 |
| | JA津軽みらいみなみ協議会 | 102.9 | 93.8 | 121.2 | 90.8 | 104.9 | 116.6 | 92.6 | 168.6 | 117.2 | 102.0 | 139.7 | 102.2 |
| | りんご産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | JAつがる弘前協議会 | 42.5 | 128.3 | 3.0 | 5.4 | 2.11 | 52.3 | 3.0 | 36.0 | 3.00 | 80.1 | 125.3 | 92.1 |
| | JA津軽みらい黒石協議会 | 41.9 | 103.7 | 7.3 | 7.4 | 1.78 | 51.2 | 2.0 | 80.0 | 3.00 | 72.0 | 140.0 | 83.5 |
| | JA津軽みらいみなみ協議会 | 45.1 | 82.7 | 4.2 | 6.0 | 1.86 | 47.5 | 3.6 | 85.0 | 3.00 | 78.7 | 120.4 | 89.8 |
| | りんご産地平均 | 43.9 | 88.1 | 3.1 | 5.4 | 1.77 | 40.7 | 3.9 | 50.4 | 2.56 | 77.2 | 86.2 | 87.9 |

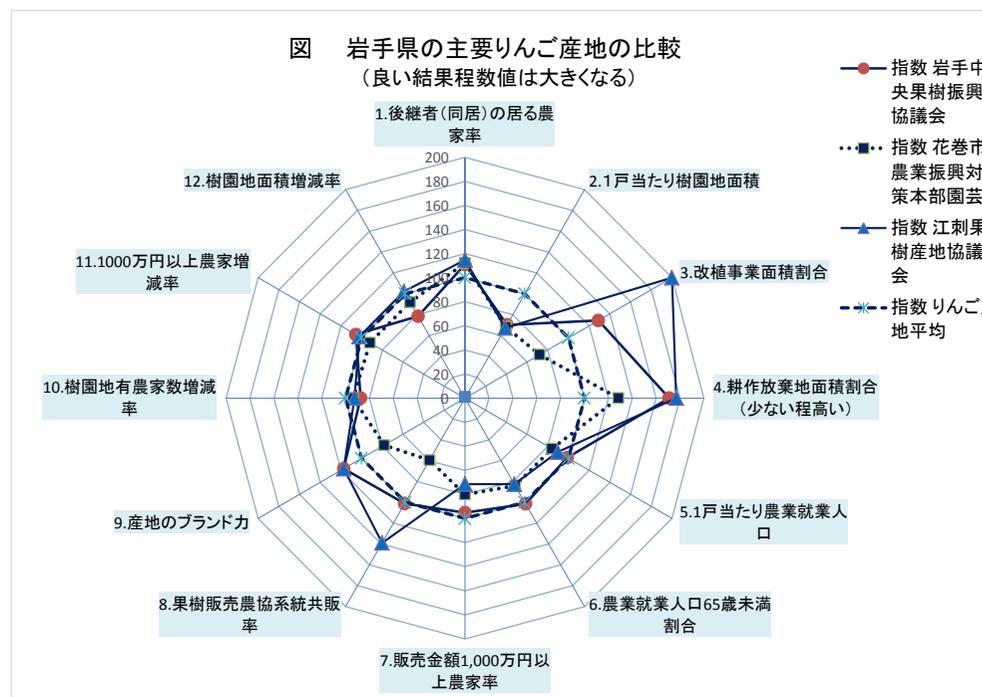
注:「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

果樹産地発展要因解析シート 2. 岩手県（りんご産地）

《産地の特徴と発展要因解析》

- 岩手県の産地の特徴は、りんご産地平均と比べて、後継者（同居）の居る農家率、改植事業面積割合は比較的高い一方、1戸当たり農業就業人口はやや少なく、農業就業人口65歳未満割合はやや少ない点などである。
- 主要3産地について主要指標を比較してみると、
 - 岩手中央は、耕作放棄地面積割合は比較的低く、1戸当たり農業就業人口は多く、また、農業就業人口65歳未満割合、販売金額1000万円以上農家率は比較的高いなど、3産地の中では比較的发展可能性を有しているといえる。
 - 花巻市は、耕作放棄地面積割合は比較的高く、改植事業面積割合、果樹販売農協系統共販率は3産地の中で最も低くなっている。
 - 江刺は、樹園地面積減少率、耕作放棄地面積割合、改植事業面積割合など比較的前記2産地の中間的な結果となっている他、農協共販率は最も高くなっている。

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|-----------------|---------|-------|
| 岩手県 | 岩手中央果樹振興協議会 | 1,290 | 799 |
| | 花巻市農業振興対策本部園芸部会 | 742 | 446 |
| | 江刺果樹産地協議会 | 444 | 263 |



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|---------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | 岩手中央果樹振興協議会 | 110.9 | 70.3 | 128.9 | 170.9 | 98.8 | 101.5 | 95.2 | 101.2 | 117.2 | 87.4 | 105.5 | 78.5 |
| | 花巻市農業振興対策本部園芸 | 112.1 | 68.2 | 72.2 | 128.4 | 84.0 | 83.9 | 80.1 | 59.5 | 78.1 | 93.7 | 91.9 | 91.9 |
| | 江刺果樹産地協議会 | 114.7 | 67.3 | 200.0 | 176.8 | 89.6 | 82.6 | 71.4 | 138.9 | 117.2 | 92.5 | 102.2 | 102.2 |
| | りんご産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | 岩手中央果樹振興協議会 | 48.7 | 61.9 | 6.0 | 3.2 | 1.75 | 41.3 | 3.7 | 51.0 | 3.00 | 67.5 | 91.0 | 80.0 |
| | 花巻市農業振興対策本部園芸 | 49.2 | 60.1 | 2.2 | 4.2 | 1.49 | 34.2 | 3.1 | 30.0 | 2.00 | 72.3 | 75.6 | 79.1 |
| | 江刺果樹産地協議会 | 50.3 | 59.3 | 12.7 | 3.1 | 1.59 | 33.6 | 2.8 | 70.0 | 3.00 | 71.4 | 89.8 | 97.1 |
| | りんご産地平均 | 43.9 | 88.1 | 3.1 | 5.4 | 1.77 | 40.7 | 3.9 | 50.4 | 2.56 | 77.2 | 86.2 | 87.9 |

注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

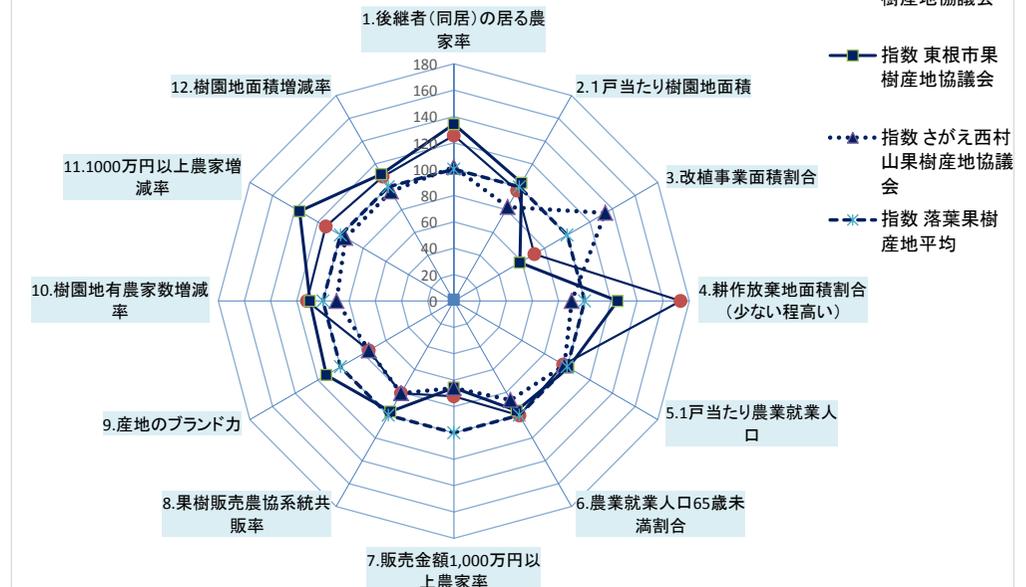
果樹産地発展要因解析シート 3. 山形（落葉果樹産地）

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|---------------|---------|-------|
| 山形県 | 天童市果樹産地協議会 | 1,981 | 1,391 |
| | 東根市果樹産地協議会 | 1,943 | 1,457 |
| | さがえ西村山果樹産地協議会 | 2,654 | 1,586 |

《産地の特徴と発展要因解析》

- 山形県の産地の特徴は、落葉果樹産地平均と比べて、後継者（同居）の居る農家率は高いものの、他の多くの指標は落葉果樹産地平均並み或いはそれ以下の結果となっている。
- 主要3産地について主要指標を比較してみると、
 - 天童市は、耕作放棄地面積割合は最も少なく、農業就業人口65歳未満割合及び販売金額1000万円以上農家率は高いなど、3産地の中では比較的発展可能性を有しているといえる。
 - また、東根市は、後継者（同居）の居る農家率、1戸当たり樹園地面積、1戸当たり農業就業人口、果樹販売農協共販率、販売金額1000万円以上農家数増加率などで他の2産地を上回っている。なかでも樹園地面積減少率は10年間でわずか2.9%の減少に留まって産地を維持している。
 - 一方、さがえ西村山は、多くの指標で前記2産地を下回っているが、改植事業面積割合では2産地を上回って今後の発展を目指している。

図 山形県の主要果樹産地の比較
(良い結果程数値は大きくなる)



| 産地協議会 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|-------|---------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | 天童市果樹産地協議会 | 125.6 | 96.8 | 71.1 | 173.3 | 96.6 | 100.4 | 72.3 | 80.7 | 75.0 | 112.2 | 113.0 | 108.9 |
| | 東根市果樹産地協議会 | 134.2 | 103.4 | 58.2 | 125.2 | 101.1 | 96.1 | 65.9 | 96.9 | 112.5 | 110.0 | 136.2 | 111.1 |
| | さがえ西村山果樹産地協議会 | 101.7 | 82.4 | 133.7 | 90.1 | 97.5 | 86.7 | 66.0 | 80.7 | 75.0 | 89.6 | 95.7 | 96.0 |
| | 落葉果樹産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | 天童市果樹産地協議会 | 48.4 | 70.2 | 1.0 | 3.4 | 1.75 | 42.0 | 7.5 | 50.0 | 2.00 | 85.9 | 86.3 | 95.2 |
| | 東根市果樹産地協議会 | 51.7 | 75.0 | 0.8 | 4.7 | 1.83 | 40.2 | 6.8 | 60.0 | 3.00 | 84.3 | 104.1 | 97.1 |
| | さがえ西村山果樹産地協議会 | 39.2 | 59.7 | 1.9 | 6.5 | 1.77 | 36.3 | 6.9 | 50.0 | 2.00 | 68.6 | 73.1 | 83.9 |
| | 落葉果樹産地平均 | 38.6 | 72.5 | 1.4 | 5.8 | 1.81 | 41.9 | 10.4 | 61.9 | 2.67 | 76.6 | 76.4 | 87.4 |

注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

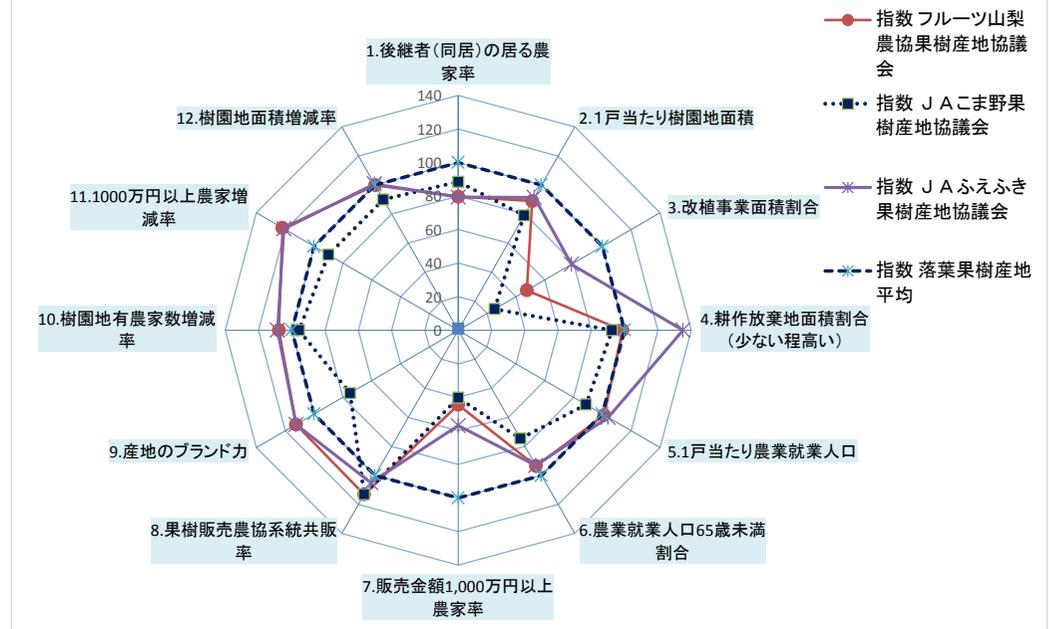
果樹産地発展要因解析シート 4. 山梨県（落葉果樹産地）

《産地の特徴と発展要因解析》

- 山梨県の産地の特徴は、落葉果樹産地平均と比べて、多くの指標で同程度か下回った結果となっており、現状維持型の産地となっている。
- 主要3産地について主要指標を比較してみると、
 - JA ふえふきは、1戸当たり樹園地面積及び改植事業面積割合は多く、耕作放棄地面積割合は比較的少なく、また、フルーツ山梨と共に、1戸当たり農業就業人口は多く、また、農業就業人口65歳未満割合、産地のブランド力、は高いなど、JAこま野に比べ比較的発展可能性を有しているといえる。
 - 一方、JAこま野は後継者（同居）の居る農家率で他の2産地上回っているものの、他の多くの指標では他の2産地を下回っている。

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|-----------------|---------|-------|
| 山梨県 | フルーツ山梨農協果樹産地協議会 | 4,371 | 2,820 |
| | JAこま野果樹産地協議会 | 2,443 | 1,401 |
| | JAふえふき果樹産地協議会 | 4,202 | 2,786 |

図 山梨県の主要果樹産地の比較
(良い結果程数値は大きくなる)



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|-----------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | フルーツ山梨農協果樹産地協議会 | 79.6 | 88.9 | 47.6 | 98.7 | 101.3 | 93.5 | 44.4 | 113.0 | 112.5 | 107.8 | 121.9 | 99.9 |
| | JAこま野果樹産地協議会 | 88.5 | 79.0 | 25.2 | 92.4 | 88.6 | 74.6 | 40.3 | 113.0 | 75.0 | 95.7 | 90.0 | 90.1 |
| | JAふえふき果樹産地協議会 | 79.4 | 91.4 | 78.6 | 135.0 | 104.0 | 93.2 | 56.8 | 105.0 | 112.5 | 108.6 | 120.9 | 100.7 |
| | 落葉果樹産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | フルーツ山梨農協果樹産地協議会 | 30.7 | 64.5 | 0.7 | 5.9 | 1.83 | 39.1 | 4.6 | 70.0 | 3.00 | 82.5 | 93.1 | 87.3 |
| | JAこま野果樹産地協議会 | 34.1 | 57.3 | 0.4 | 6.3 | 1.60 | 31.2 | 4.2 | 70.0 | 2.00 | 73.3 | 68.8 | 78.7 |
| | JAふえふき果樹産地協議会 | 30.6 | 66.3 | 1.1 | 4.3 | 1.88 | 39.0 | 5.9 | 65.0 | 3.00 | 83.2 | 92.4 | 88.1 |
| | 落葉果樹産地平均 | 38.6 | 72.5 | 1.4 | 5.8 | 1.81 | 41.9 | 10.4 | 61.9 | 2.67 | 76.6 | 76.4 | 87.4 |

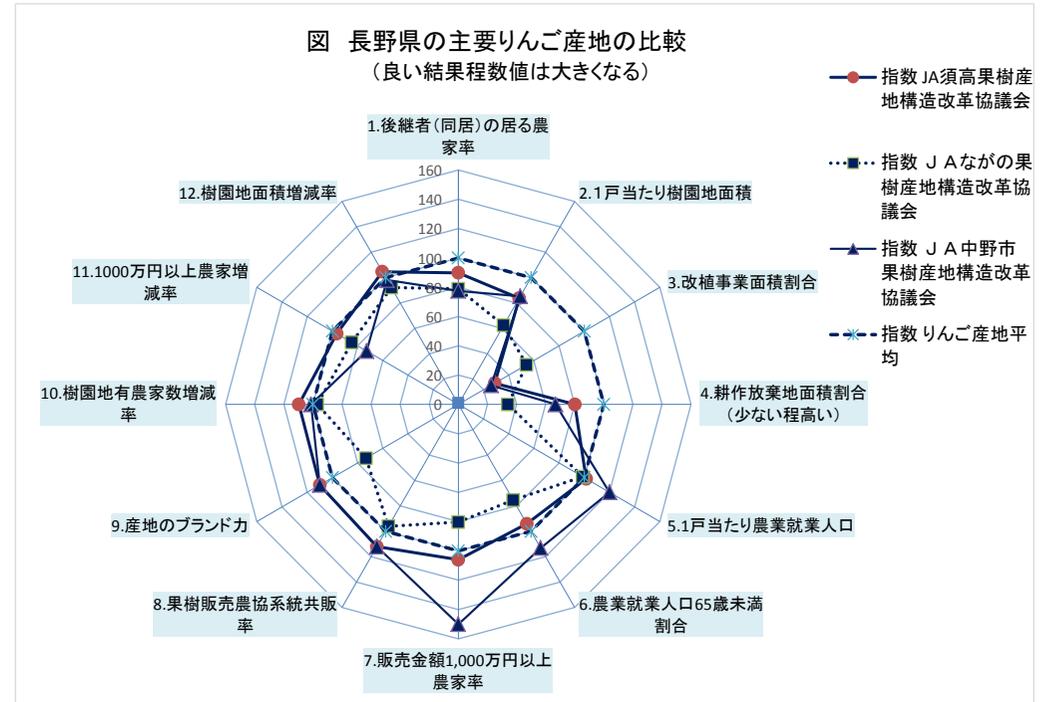
注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

果樹産地発展要因解析シート 5. 長野県（りんご産地）

《産地の特徴と発展要因解析》

- 長野県の産地の特徴は、りんご産地平均と比べて、1戸当たり農業就業人口がやや多い他は多くの指標で同程度か下回った結果となっている。
- 主要3産地について主要指標を比較してみると、
 - JA須高は、後継者（同居）の居る農家割合が高い他、樹園地面積及び樹園地有農家数割合の減少率(2010年/2000年),及び耕作放棄地面積割合は最も少ないなど、3産地の中では比較的發展可能性を有しているといえる。
 - JA中野市は、1戸当たり樹園地面積、1戸当たり農業就業人口、農業就業人口65歳未満割合及び販売金額1000万円以上農家率は3産地の中で最も高くなっている。
 - JAながのは、多くの指標で前記2産地を下回っているが、改植事業面積割合は前記2産地を上回っている。

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|------------------|---------|-------|
| 長野県 | JA須高果樹産地構造改革協議会 | 2,411 | 1,681 |
| | JAながの果樹産地構造改革協議会 | 2,639 | 1,370 |
| | JA中野市果樹産地構造改革協議会 | 1,397 | 992 |



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|------------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | JA須高果樹産地構造改革協議会 | 89.9 | 83.7 | 29.0 | 80.2 | 101.5 | 94.1 | 106.0 | 112.1 | 110.0 | 109.7 | 96.6 | 104.6 |
| | JAながの果樹産地構造改革協議会 | 78.9 | 62.3 | 54.1 | 34.1 | 98.7 | 75.4 | 80.3 | 96.1 | 73.3 | 97.0 | 84.6 | 92.1 |
| | JA中野市果樹産地構造改革協議会 | 77.5 | 85.3 | 26.0 | 66.8 | 120.0 | 113.1 | 150.0 | 112.1 | 110.0 | 101.3 | 72.9 | 98.1 |
| | りんご産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | JA須高果樹産地構造改革協議会 | 40.2 | 69.7 | 0.9 | 6.4 | 1.77 | 37.2 | 6.8 | 70.0 | 3.00 | 84.2 | 79.8 | 92.6 |
| | JAながの果樹産地構造改革協議会 | 35.3 | 51.9 | 1.7 | 15.1 | 1.72 | 29.8 | 3.5 | 60.0 | 2.00 | 74.4 | 69.9 | 81.5 |
| | JA中野市果樹産地構造改革協議会 | 34.6 | 71.0 | 0.8 | 7.7 | 2.10 | 44.7 | 29.0 | 70.0 | 3.00 | 77.7 | 60.2 | 86.8 |
| | りんご産地平均 | 44.7 | 83.3 | 3.1 | 5.1 | 1.75 | 39.5 | 4.3 | 62.5 | 2.73 | 76.7 | 82.6 | 88.5 |

注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

果樹産地発展要因解析シート 6. 静岡県（かんきつ類産地）

《産地の特徴と発展要因解析》

・静岡県の産地の特徴は、かんきつ類産地と比べて、三ヶ日は全ての指標で上回っている。

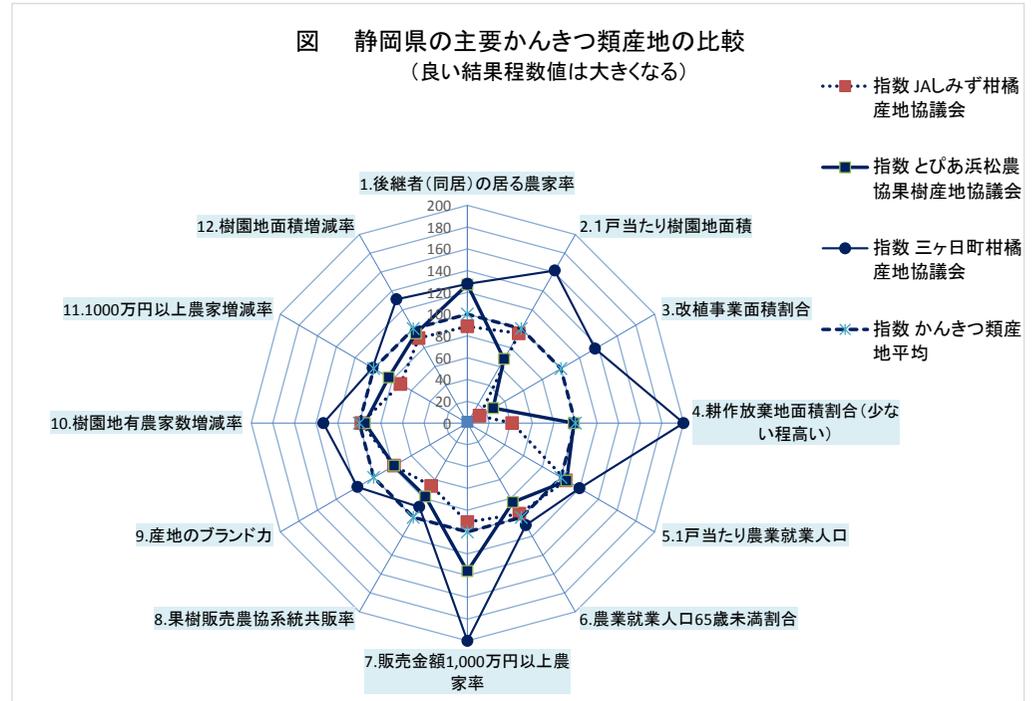
他の2産地は、1戸当たり農業就業人口で上回っているものの、他の多くの指標ではかんきつ類産地と同程度、或いは下回っている。

・主要3産地について主要指標を比較してみると、

1. 三ヶ日町は、樹園地面積の増減率(2010年/2000年)がプラス3.4%となっている他、耕作放棄地面積割合は最も少なく、販売金額1000万円以上農家率も30.3%と国内産地でもトップクラスの結果となっている。さらに1戸当たり農業就業人口は多く、また、農業就業人口65歳未満割合は高いなど、3産地の中では(というより全国レベルで比較しても)大いに発展可能性を有しているといえる。
2. 一方、トピア浜松、JAしみずは、樹園地減少率、樹園地有農家数減少率などが高くなっているなど、三ヶ日町に比べて多くの指標で下回っている結果となっている。

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|--------------------|---------|-------|
| 静岡県 | JALしみず柑橘産地構造改革協議会 | 1,510 | 1,339 |
| | とぴあ浜松農業協同組合果樹産地協議会 | 2,626 | 1,661 |
| | 三ヶ日町柑橘産地協議会 | 1,190 | 1,793 |

図 静岡県の主要かんきつ類産地の比較
(良い結果程数値は大きくなる)



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|----------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | JALしみず柑橘産地協議会 | 88.7 | 95.2 | 13.1 | 41.5 | 105.4 | 96.2 | 91.0 | 66.7 | 78.3 | 98.1 | 71.5 | 90.1 |
| | とぴあ浜松農協果樹産地協議会 | 127.1 | 67.9 | 27.5 | 98.5 | 106.0 | 84.0 | 136.0 | 77.9 | 78.3 | 94.8 | 84.0 | 95.1 |
| | 三ヶ日町柑橘産地協議会 | 127.9 | 161.7 | 136.5 | 200.0 | 119.8 | 108.2 | 200.0 | 89.0 | 117.4 | 133.3 | 101.3 | 131.2 |
| | かんきつ類産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | JALしみず柑橘産地協議会 | 29.1 | 88.7 | 0.8 | 22.1 | 1.92 | 41.2 | 11.5 | 60.0 | 2.00 | 66.5 | 53.8 | 71.0 |
| | とぴあ浜松農協果樹産地協議会 | 41.6 | 63.3 | 1.7 | 9.3 | 1.93 | 35.9 | 17.2 | 70.0 | 2.00 | 64.3 | 63.2 | 75.0 |
| | 三ヶ日町柑橘産地協議会 | 41.9 | 150.7 | 8.3 | 2.5 | 2.18 | 46.3 | 30.3 | 80.0 | 3.00 | 90.3 | 76.2 | 103.4 |
| | かんきつ類産地平均 | 32.8 | 93.2 | 6.1 | 9.2 | 1.82 | 42.8 | 12.7 | 89.9 | 2.56 | 67.8 | 75.2 | 78.8 |

注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

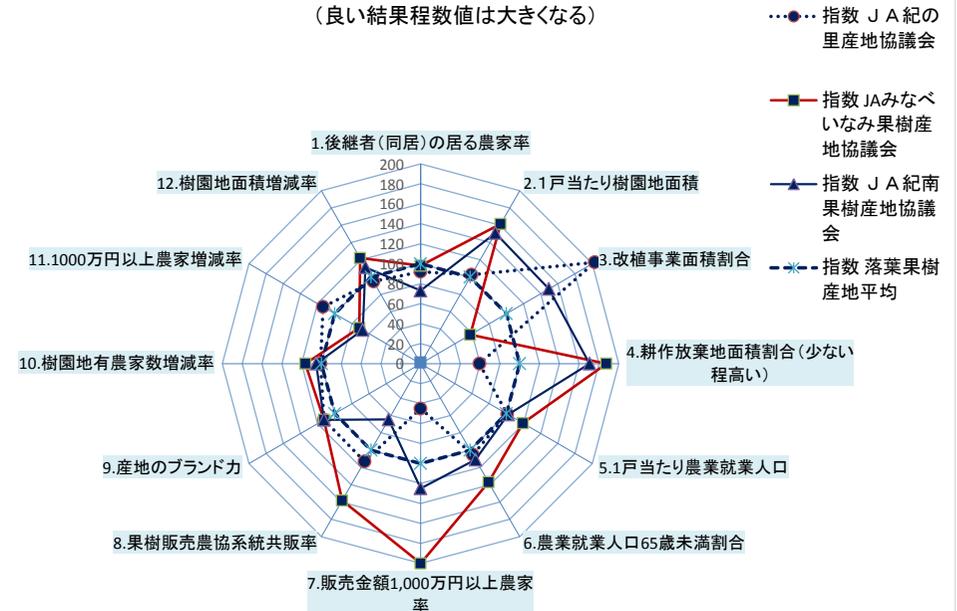
果樹産地発展要因解析シート 7. 和歌山県（落葉果樹産地）

《産地の特徴と発展要因解析》

- 和歌山県は、我が国を代表する果樹産地として、かんきつ類からかき、もも、うめなどの落葉果樹まで様々な果樹が栽培されている。
- 主要3産地について主要指標を比較してみると、
 - JA紀の里は、改植事業面積割合や販売金額1000万円以上農家増加率などが高くなっている。
 - JAみなべいなみは、前記JA紀の里が高かった2指標以外の10指標で他の2産地を上回っている。特に販売金額1000万円以上農家率、1戸当たり農業就業人口、同65歳未満割合、果樹販売農協系統共販率などで、他の2産地を大きく上回っている。中でも樹園地面積増減率では、10年前より増加(+6.7%)している点は特筆すべき事項である。
このようにJAみなべいなみは、今後の産地の発展可能性を秘めた産地といえる。
 - JA紀南は、後継者（同居）の居る農家率及び果樹販売農協共販率は最も低く、多くの指標で他の2産地の中間的な結果となっている。なお、樹園地面積の減少率は10年前に比べて2.7%減に止まっている点は特筆すべき事項である。

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|-----------------|---------|-------|
| 和歌山 | JA紀の里産地協議会 | 2,804 | 2,090 |
| | JAみなべいなみ果樹産地協議会 | 1,960 | 2,295 |
| | JA紀南果樹産地協議会 | 2,599 | 2,847 |

図 和歌山県の主要落葉果樹産地の比較
(良い結果程数値は大きくなる)



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|-----------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | JA紀の里産地協議会 | 92.0 | 102.7 | 202.9 | 59.4 | 100.9 | 105.4 | 45.0 | 113.0 | 112.5 | 100.9 | 113.6 | 95.0 |
| | JAみなべいなみ果樹産地協議会 | 98.0 | 161.4 | 57.9 | 187.4 | 119.2 | 137.2 | 200.0 | 158.2 | 112.5 | 116.2 | 71.4 | 122.1 |
| | JA紀南果樹産地協議会 | 73.1 | 151.0 | 149.4 | 170.5 | 101.9 | 111.0 | 124.9 | 64.6 | 112.5 | 105.2 | 67.4 | 111.3 |
| | 落葉果樹産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | JA紀の里産地協議会 | 35.5 | 74.5 | 2.9 | 9.8 | 1.83 | 44.1 | 4.7 | 70.0 | 3.0 | 77.3 | 86.7 | 83.1 |
| | JAみなべいなみ果樹産地協議会 | 37.8 | 117.1 | 0.8 | 3.1 | 2.16 | 57.4 | 27.7 | 98.0 | 3.0 | 89.0 | 54.5 | 106.7 |
| | JA紀南果樹産地協議会 | 28.2 | 109.5 | 2.1 | 3.4 | 1.84 | 46.5 | 13.0 | 40.0 | 3.0 | 80.6 | 51.5 | 97.3 |
| | 落葉果樹産地平均 | 38.6 | 72.5 | 1.4 | 5.8 | 1.81 | 41.9 | 10.4 | 61.9 | 2.7 | 76.6 | 76.4 | 87.4 |

注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

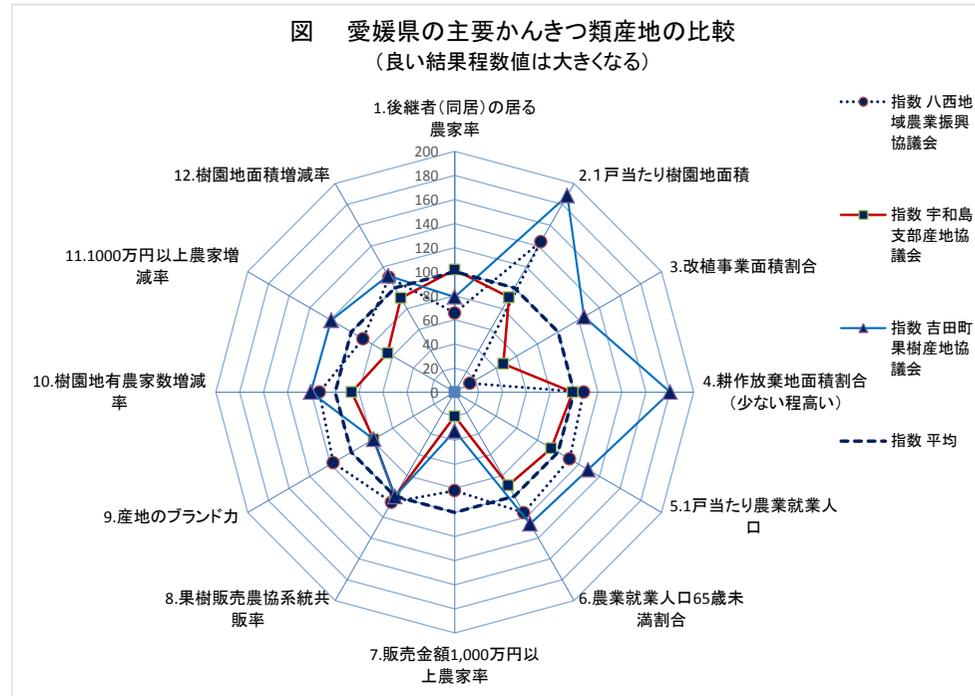
果樹産地発展要因解析シート 8. 愛媛県（かんきつ類産地）

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|-------------|---------|-------|
| 愛媛県 | 八西地域農業振興協議会 | 2,893 | 3,888 |
| | 宇和島支部産地協議会 | 787 | 667 |
| | 吉田町果樹産地協議会 | 953 | 1,674 |

〈産地の特徴と発展要因解析〉

- 愛媛県の産地の特徴は、他のかんきつ類産地平均と比べて、宇和島を除き、1戸当たり樹園地面積、1戸当たり農業就業人口、農業就業人口65歳未満割合などで上回っている点である。
- 主要3産地について主要指標比較してみると、
 - 八西地域は、産地のブランド力、販売金額1000万円以上農家率、果樹販売農協系統共販率が他の2産地に比べて高い。
 - 宇和島支部は、後継者（同居）の居る農家率が他の2産地に比べて高いものの、他の指標ほとんどが他の2産地を下回っている。
 - 吉田町は、1戸当たり樹園地面積、改植事業面積割合、1戸当たり農業就業人口、同65歳未満割合などで他の2産地を上回るなど総合的にみて今後の発展可能性を秘めている産地といえる。

図 愛媛県の主要かんきつ類産地の比較
(良い結果程数値は大きくなる)



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|-------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | 八西地域農業振興協議会 | 65.7 | 144.2 | 14.6 | 108.0 | 111.0 | 115.6 | 81.8 | 105.7 | 117.4 | 113.2 | 88.6 | 110.1 |
| | 宇和島支部産地協議会 | 101.7 | 90.9 | 47.0 | 98.8 | 93.4 | 89.4 | 20.0 | 100.1 | 78.3 | 86.3 | 64.9 | 90.2 |
| | 吉田町果樹産地協議会 | 79.0 | 188.5 | 125.1 | 180.3 | 128.9 | 126.3 | 32.3 | 100.1 | 78.3 | 120.5 | 119.3 | 111.6 |
| | 平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | 八西地域農業振興協議会 | 21.5 | 134.4 | 0.9 | 8.5 | 2.02 | 49.5 | 10.4 | 95.0 | 3.00 | 76.7 | 66.7 | 86.7 |
| | 宇和島支部産地協議会 | 33.3 | 84.7 | 2.8 | 9.3 | 1.70 | 38.3 | 2.5 | 90.0 | 2.00 | 58.5 | 48.8 | 71.1 |
| | 吉田町果樹産地協議会 | 25.9 | 175.6 | 7.6 | 5.1 | 2.34 | 54.1 | 4.1 | 90.0 | 2.00 | 81.7 | 89.7 | 88.0 |
| | 平均 | 32.8 | 93.2 | 6.1 | 9.2 | 1.82 | 42.8 | 12.7 | 89.9 | 2.56 | 67.8 | 75.2 | 78.8 |

注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

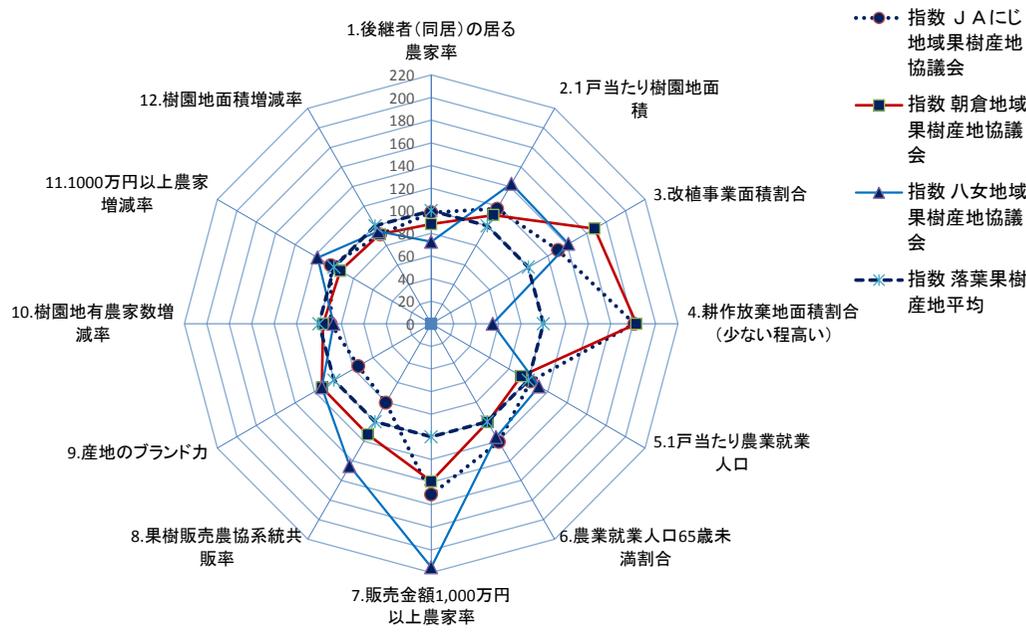
果樹産地発展要因解析シート 9. 福岡県（落葉果樹産地）

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|---------------|---------|-------|
| 福岡県 | JＡにじ地域果樹産地協議会 | 1,589 | 1,354 |
| | 朝倉地域果樹産地協議会 | 1,049 | 844 |
| | 八女地域果樹産地協議会 | 3,185 | 3,302 |

《産地の特徴と発展要因解析》

- 福岡県の産地の特徴は、落葉果樹産地の平均に比べて、1戸当たり樹園地面積、改植事業面積割合、販売金額1000万円以上農家率などで上回っている。
- 主要3産地について主要指標比較してみると、
 - JＡにじは、後継者（同居）の居る農家率、耕作放棄地面積割合、農業就業人口65歳未満割合などが他の2産地より高い。
 - 朝倉地域は、改植事業面積割合が高く、一方、耕作放棄地面積割合は低い。
 - 八女地域は、1戸当たり樹園地面積、1戸当たり農業就業人口、販売金額1000万円以上農家率、果樹販売農協共販率などが他の2産地に比べ多い。

図 福岡県の主要かんきつ類産地の比較
(良い結果程数値は大きくなる)



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|---------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | JＡにじ地域果樹産地協議会 | 98.4 | 117.4 | 130.5 | 181.0 | 102.1 | 120.7 | 151.0 | 80.7 | 75.0 | 89.5 | 103.1 | 91.1 |
| | 朝倉地域果樹産地協議会 | 88.1 | 111.0 | 168.2 | 182.9 | 92.6 | 100.3 | 139.3 | 113.0 | 112.5 | 96.4 | 93.5 | 91.4 |
| | 八女地域果樹産地協議会 | 72.5 | 142.9 | 141.3 | 54.8 | 110.9 | 115.8 | 215.4 | 145.3 | 112.5 | 86.9 | 116.9 | 94.3 |
| | 落葉果樹産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | JＡにじ地域果樹産地協議会 | 37.9 | 85.2 | 1.8 | 3.2 | 1.85 | 50.5 | 15.7 | 50.0 | 2.00 | 68.6 | 78.8 | 79.6 |
| | 朝倉地域果樹産地協議会 | 34.0 | 80.5 | 2.4 | 3.2 | 1.68 | 42.0 | 14.5 | 70.0 | 3.00 | 73.8 | 71.4 | 79.9 |
| | 八女地域果樹産地協議会 | 27.9 | 103.7 | 2.0 | 10.6 | 2.01 | 48.5 | 22.4 | 90.0 | 3.00 | 66.6 | 89.3 | 82.4 |
| | 落葉果樹産地平均 | 38.6 | 72.5 | 1.4 | 5.8 | 1.81 | 41.9 | 10.4 | 61.9 | 2.67 | 76.6 | 76.4 | 87.4 |

注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

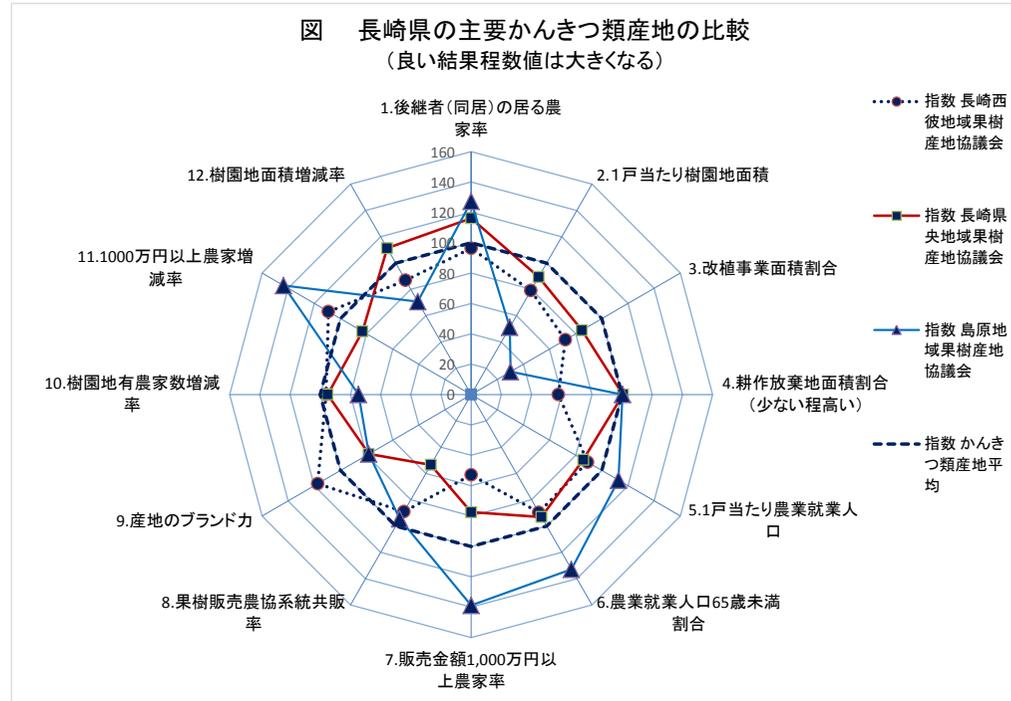
果樹産地発展要因解析シート 10. 長崎県（かんきつ類産地）

《産地の特徴と発展要因解析》

- 長崎県の産地の特徴は、2産地で10年前に比べて樹園地面積を3~4割減らしている点である。この減少幅は全国の果樹産地において最も多く樹園地面積を減らしたグループに含まれている。
- 主要3産地について主要指標を比較してみると、
 - 長崎西彼は、後継者（同居）の居る農家率、農業就業人口65歳未満割合、販売金額1000万円以上農家率などで他の2産地を下回っている。
 - 長崎県央は、県内では1戸当たり樹園地面積、改植事業面積割合が比較的高い。
 - 島原地域は、後継者（同居）農家率、1戸当たり農業就業人口、農業就業人口65歳未満割合、販売金額1000万円以上農家率、果樹販売農協系統共販率などが他の2産地に比べて比較的多い結果となっている。

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|---------------|---------|-------|
| 長崎県 | 長崎西彼地域果樹産地協議会 | 3,172 | 2,338 |
| | 長崎県央地域果樹産地協議会 | 843 | 703 |
| | 島原地域果樹産地協議会 | 906 | 432 |

図 長崎県の主要かんきつ類産地の比較
(良い結果程数値は大きくなる)



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|---------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | 長崎西彼地域果樹産地協議会 | 96.3 | 79.1 | 72.1 | 57.8 | 89.0 | 89.6 | 52.9 | 89.0 | 117.4 | 96.2 | 109.2 | 86.9 |
| | 長崎県央地域果樹産地協議会 | 116.2 | 89.5 | 84.7 | 100.6 | 85.8 | 93.1 | 77.5 | 53.4 | 78.3 | 95.1 | 83.2 | 111.3 |
| | 島原地域果樹産地協議会 | 127.2 | 51.2 | 30.2 | 100.3 | 112.8 | 132.9 | 138.8 | 94.6 | 78.3 | 74.6 | 143.6 | 70.7 |
| | かんきつ類産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | 長崎西彼地域果樹産地協議会 | 31.6 | 73.7 | 4.4 | 15.9 | 1.62 | 38.3 | 6.7 | 80.0 | 3.00 | 65.2 | 82.1 | 68.5 |
| | 長崎県央地域果樹産地協議会 | 38.1 | 83.4 | 5.1 | 9.1 | 1.56 | 39.8 | 9.8 | 48.0 | 2.00 | 64.4 | 62.6 | 87.7 |
| | 島原地域果樹産地協議会 | 41.7 | 47.7 | 1.8 | 9.1 | 2.05 | 56.9 | 17.6 | 85.0 | 2.00 | 50.6 | 108.0 | 55.7 |
| | かんきつ類産地平均 | 32.8 | 93.2 | 6.1 | 9.2 | 1.82 | 42.8 | 12.7 | 89.9 | 2.56 | 67.8 | 75.2 | 78.8 |

注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

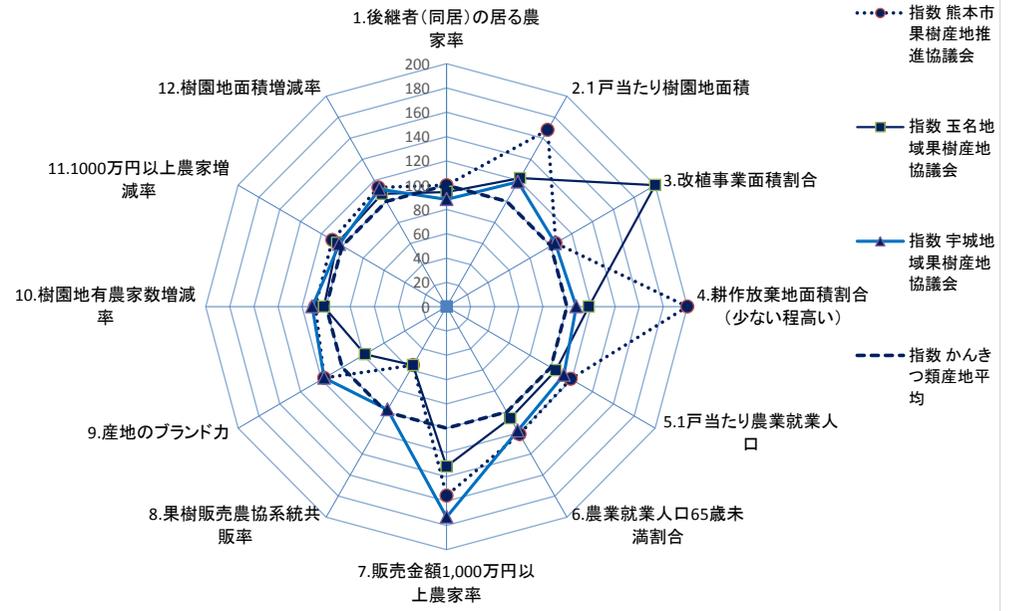
果樹産地発展要因解析シート 11. 熊本県（かんきつ類産地）

《産地の特徴と発展要因解析》

- 熊本県の産地の特徴は、かんきつ類産地の平均と比べて、1戸当たり樹園地面積、改植事業面積割合、1戸当たり農業就業人口、同65歳未満割合、販売金額1000万円以上農家率などが上回っている点である。
- 主要3産地について主要指標比較してみると、
 - 熊本市は、1戸当たり樹園地面積、1戸当たり農業就業人口、同65歳未満割合、販売金額1000万円以上農家率などは他の2産地を上回っている。
 - 玉名は、改植事業面積割合が他の2産地より高い他は同程度或いは下回っている。
 - 宇城は、販売金額1000万円以上農家率、果樹販売農協系統共販率などで上回っているが、他の指標では同程度、或いは下回っている。

| 県名 | 協議会名 | 樹園地有農家数 | 樹園地面積 |
|-----|--------------|---------|-------|
| 熊本県 | 熊本市果樹産地推進協議会 | 967 | 1,514 |
| | 玉名地域果樹産地協議会 | 1,828 | 2,081 |
| | 宇城地域果樹産地協議会 | 1,361 | 1,503 |

図 熊本県の主要かんきつ類産地の比較
(良い結果程数値は大きくなる)



| 産地協議会名 | | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.1戸当たり樹園地面積 | 3.改植事業面積割合 | 4.耕作放棄地面積割合(少ない程高い) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口65歳未満割合 | 7.販売金額1,000万円以上農家率 | 8.果樹販売農協系統共販率 | 9.産地のブランド力 | 10.樹園地有農家数増減率 | 11.1000万円以上農家増減率 | 12.樹園地面積増減率 |
|--------|--------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|---------------|-----------------|--------------------|---------------|------------|---------------|------------------|-------------|
| 指数 | 熊本市果樹産地推進協議会 | 99.9 | 168.0 | 104.6 | 200.0 | 119.1 | 121.2 | 155.6 | 55.6 | 117.4 | 109.0 | 109.6 | 113.3 |
| | 玉名地域果樹産地協議会 | 94.4 | 122.2 | 200.0 | 118.1 | 104.7 | 106.0 | 131.6 | 55.6 | 78.3 | 101.8 | 104.9 | 107.2 |
| | 宇城地域果樹産地協議会 | 88.3 | 118.5 | 104.2 | 107.7 | 112.5 | 118.0 | 173.2 | 97.9 | 117.4 | 111.7 | 102.9 | 111.7 |
| | かんきつ類産地平均 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 実数 | 熊本市果樹産地推進協議会 | 32.7 | 156.5 | 6.3 | 2.3 | 2.16 | 51.9 | 19.7 | 50.0 | 3.00 | 73.9 | 82.4 | 89.2 |
| | 玉名地域果樹産地協議会 | 30.9 | 113.9 | 12.3 | 7.8 | 1.90 | 45.4 | 16.7 | 50.0 | 2.00 | 69.0 | 78.9 | 84.5 |
| | 宇城地域果樹産地協議会 | 28.9 | 110.4 | 6.3 | 8.5 | 2.05 | 50.5 | 21.9 | 88.0 | 3.00 | 75.7 | 77.4 | 88.0 |
| | かんきつ類産地平均 | 32.8 | 93.2 | 6.1 | 9.2 | 1.82 | 42.8 | 12.7 | 89.9 | 2.56 | 67.8 | 75.2 | 78.8 |

注：「耕作放棄地面積割合」は、数値が小さい程望ましいので逆数で指数化した。

Ⅲ 樹園地面積増減率と樹園地のある農家数減少率との相関分析

1 相関分析の方法

本分析においてアウトカムとして設定した「樹園地面積増減率（2010年/2000年）」及びその減少の主因となる「樹園地のある販売農家数減少率（2010年/2000年）」（以下、「農家数減少率」という。）との相関分析を行い、産地の変動要因、発展要因の解析を行った。

(1) この結果、産地の変動要因、発展要因を解析できた。

さらに相関図を基に、大きくグループ分けを行って産地の性格分けを行い発展要因の解析等を行った。

(2) 次に各産地において、担い手層の規模拡大はどうか、具体的には、1戸当たり樹園地面積の増減の実態解析を行った。

(3) また、担い手層等大規模果樹経営への樹園地の集積は進んでいるのか。具体的には3ha以上階層及び5ha以上階層へ樹園地の集積状況はどうか、樹園地の受け手はどの階層なのかなどについて、主要産地ごとに2000年、2010年の実態、比較等解析を行った。

2 相関分析結果

《全産地》

樹園地のある農家数増減率と樹園地面積増減率（2010年/2000年）を相関図でみると、

まず、樹園地面積が増加しているのは、2産地（JAみなべいなみ、三ヶ日）で、農家数の減少も10%程度と最も少ない。

一方、他の産地は全て樹園地面積がマイナスとなっており、なかでもかんきつ類産地の一部が最も減少率は大きくなっている。

図における斜めの線は、農家数及び樹園地面積の減少率が同一の線で、この線より左上は1戸当たり規模拡大が進んでいる産地となっている。

注：樹園地面積の減少要因としては、農家数の減少の他、樹園地の他作物への転換、改廃などが考えられる。

次頁の図（全59産地）について、減少率の小さい順に大きくA,B,C,Dの4グループに分けてみると、

(1) Aグループは2産地（JAみなべいなみ、三ヶ日町）であるが、農家数は10%程度減少しているものの、樹園地面積は3~7%程度増加しているのが特徴である。

(2) Bグループ（21産地）は、樹園地面積の減少が比較的少なかった（15%未満）グループで、りんご産地、かんきつ類、落葉果樹産地のそれぞれ上位グループの産地が入っている。

(3) Cグループ（19産地）は、りんご産地、落葉果樹産地の下位グループの産地が入っている。特徴的な点は、りんご産地及び落葉果樹産地は、農家数の減少率は18%程度から40%程度まで幅があるのに対して、樹園地の減少率は23%程度以内に留まっていることである4

(4) Dグループ（12産地）は、かんきつ類の産地で、農家数の減少率で50%強、樹園地の減少率で40%近くまで減少するなど、一部の産地においては産地の維持がかなり困難になっているのではないかと推察される。

図 III-1 樹園地のある農家数増減率と樹園地面積増減率（2010年/2000年）相関図

— 全調査産地 —

(凡例：○かんきつ類産地、□りんご産地、△落葉果樹産地)



注：減少率の大きかったかんきつ類 3 産地（「三神・佐賀（農家数減少率：△70.8%、樹園地減少率：△55.7%）」
 「島原（農家数減少率：△23.1%、樹園地減少率：△44.3%）」「県南（農家数減少率：△30.8%、樹園地減少率：
 △62.9%）」は、図から省略した。

(グループ分けした産地について、樹園地面積減少率の格差要因、課題等の解析)

次にA B C Dの4グループ分けした産地について、主要指標で比較分析を行って、樹園地面積増減率(2010年/2000年)に差が生じた要因、産地の課題等を解析した。

その結果、差が大きかったのは、産地の規模指標である「樹園地面積」、産地が果樹等に特化していることを表す「樹園地率」、さらに「後継者(同居)の居る農家率」、「耕作放棄地面積割合」、「果樹栽培農家1戸当たり果樹栽培面積」、「1戸当たり農業就業人口」、「農業就業人口の65歳未満割合」などほとんどの指標で有意差が認められた。

今後、産地の維持・発展のためには、産地規模(樹園地面積)をある程度大きく、できるだけ果樹に特化するなどのほか、農業就業人口、後継者の確保、1戸当たり樹園地面積規模の拡大等が課題となっている。

表 グループ分け産地の主要指標の比較(全産地)

| 実数・割合 | 樹園地面積増減率 (2010年/2000年) グループ | 産地協 議会数 | 樹園地面積 増減率 (2010年 /2000年) | 産地の基本指標 | | | 産地の主要指標 | | | | |
|-------|-----------------------------------|------------|-----------------------------------|---------------|-------|--------------------------------|-------------------------|-----------------------------------|---|-----------------------|--------------------------|
| | | | | 樹園地のあ る農家数 | 樹園地面積 | 樹園地率 (樹園地面 積/経営耕 地面積) | 1.後継者 (同居)の居 る農家率 | 2.耕作放棄 地面積割合 (販売農家) (逆数) | 3.果樹栽培 農家1戸当 たり果樹栽 培面積(販 売農家) | 4.1戸当たり 農業就業人 口 | 5.農業就業 人口の65歳 未満割合 |
| | | 協議会 | % | 戸 | ha | % | % | % | a | 人 | % |
| 実数 | Aグループ | 2 | 5.1 | 1,575 | 2,044 | 84.7 | 39.8 | 36.3 | 133.7 | 2.17 | 51.9 |
| | Bグループ | 23 | △ 9.5 | 1,892 | 1,826 | 52.0 | 35.7 | 22.0 | 99.6 | 1.94 | 45.6 |
| | Cグループ | 19 | △ 19.0 | 1,763 | 1,240 | 35.7 | 36.2 | 16.2 | 86.8 | 1.78 | 40.8 |
| | Dグループ | 15 | △ 34.9 | 1,352 | 987 | 33.1 | 31.7 | 10.6 | 66.4 | 1.67 | 36.2 |
| | 平均 | 59 | △ 18.5 | 1,703 | 1,432 | 43.1 | 35.0 | 17.7 | 88.2 | 1.83 | 41.8 |
| 割合 | Aグループ | 2 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.00 | 100.0 |
| | Bグループ | 23 | 86.1 | 120.2 | 89.3 | 61.4 | 89.8 | 60.6 | 74.5 | 89.3 | 87.8 |
| | Cグループ | 19 | 77.0 | 112.0 | 60.7 | 42.2 | 90.9 | 44.5 | 64.9 | 81.9 | 78.5 |
| | Dグループ | 15 | 61.9 | 85.8 | 48.3 | 39.1 | 79.6 | 29.2 | 49.6 | 76.9 | 69.7 |
| | 平均 | 59 | 77.5 | 108.1 | 70.0 | 50.8 | 87.9 | 48.8 | 66.0 | 84.1 | 80.6 |

表 グループ分けした産地の主要指標の比較（全産地）

| グループ | 都道府県名 | 品目コード | 産地協議会名 | 産地の基本指標 | | | | 1.産地の将来性指標(実数) | | | | |
|------|-------|-------|---------------------------|-----------|-------|-----------------------|--------------------|-----------------|-----------------------|---------------------------|---------------|------------------|
| | | | | 樹園地のある農家数 | 樹園地面積 | 樹園地面積増減率(2010年/2000年) | 樹園地率(樹園地面積/経営耕地面積) | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.耕作放棄地面積割合(販売農家)(逆数) | 3.果樹栽培農家1戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 4.1戸当たり農業就業人口 | 5.農業就業人口の65歳未満割合 |
| | | | | 戸 | ha | % | % | % | a | 人 | % | |
| A | 和歌山 | 3 | JAみなべいなみ果樹産地協議会 | 1,960 | 2,295 | 6.7 | 77.7 | 37.8 | 32.2 | 117.2 | 2.16 | 57.4 |
| A | 静岡 | 1 | 三ヶ日町柑橘産地協議会 | 1,190 | 1,793 | 3.4 | 91.7 | 41.9 | 40.4 | 150.1 | 2.18 | 46.3 |
| B | 和歌山 | 3 | JA紀南果樹産地協議会 | 2,599 | 2,847 | -2.7 | 75.8 | 28.2 | 29.3 | 113.7 | 1.84 | 46.5 |
| B | 岩手 | 2 | 江刺果樹産地協議会 | 444 | 263 | -2.9 | 1.7 | 50.3 | 32.5 | 70.7 | 1.59 | 33.6 |
| B | 山形 | 3 | 東根市果樹産地協議会 | 1,943 | 1,457 | -2.9 | 51.5 | 51.7 | 21.5 | 72.5 | 1.83 | 40.2 |
| B | 山形 | 3 | 天童市果樹産地協議会 | 1,981 | 1,391 | -4.8 | 46.1 | 48.4 | 29.8 | 69.0 | 1.75 | 42.0 |
| B | 青森 | 2 | 鶴田町果樹産地協議会 | 995 | 937 | -5.6 | 37.0 | 44.1 | 46.6 | 94.4 | 2.09 | 53.1 |
| B | 和歌山 | 1 | ブランドありだ果樹産地協議会 | 3,533 | 3,947 | -6.5 | 88.7 | 34.1 | 25.6 | 111.1 | 2.12 | 52.3 |
| B | 長野 | 2 | JA須高果樹産地構造改革協議会 | 2,411 | 1,681 | -7.4 | 71.6 | 40.2 | 15.6 | 67.7 | 1.77 | 37.2 |
| B | 青森 | 2 | 板柳町果樹産地推進協議会 | 1,341 | 1,257 | -7.6 | 53.2 | 39.0 | 43.6 | 93.5 | 2.03 | 52.1 |
| B | 青森 | 2 | JAつがる弘前地区果樹振興協議会 | 6,715 | 8,614 | -7.9 | 64.4 | 42.5 | 18.6 | 129.4 | 2.11 | 52.3 |
| B | 宮崎 | 1 | 日南市『目指せ!!力強いかんきつ産地づくり』協議会 | 564 | 586 | -9.7 | 31.3 | 23.1 | 12.9 | 106.4 | 1.73 | 39.8 |
| B | 岩手 | 3 | 新岩手果樹振興協議会 | 317 | 156 | -9.9 | 0.9 | 46.7 | 21.2 | 56.7 | 1.70 | 42.7 |
| B | 青森 | 2 | JA津軽みらいのみなみ地区果樹産地協議会 | 1,787 | 1,477 | -10.2 | 30.8 | 45.1 | 16.7 | 83.8 | 1.86 | 47.5 |
| B | 熊本 | 1 | 熊本市果樹産地推進協議会 | 967 | 1,514 | -10.8 | 21.7 | 32.7 | 43.7 | 159.8 | 2.16 | 51.9 |
| B | 山梨 | 3 | JAふえふき果樹産地協議会 | 4,202 | 2,786 | -11.9 | 85.2 | 30.6 | 23.2 | 64.0 | 1.88 | 39.0 |
| B | 熊本 | 1 | 宇城地域果樹産地協議会 | 1,361 | 1,503 | -12.0 | 27.6 | 28.9 | 11.7 | 109.8 | 2.05 | 50.5 |
| B | 愛媛 | 1 | 吉田町果樹産地協議会 | 953 | 1,674 | -12.0 | 96.5 | 25.9 | 19.7 | 174.2 | 2.34 | 54.1 |
| B | 長崎 | 1 | 長崎県中央地域果樹産地協議会 | 843 | 703 | -12.3 | 25.9 | 38.1 | 11.0 | 52.5 | 1.56 | 39.8 |
| B | 山梨 | 3 | フルーツ山梨農協果樹産地構造改革産地協議会 | 4,371 | 2,820 | -12.7 | 95.8 | 30.7 | 17.0 | 61.8 | 1.83 | 39.1 |
| B | 長野 | 2 | JA中野市果樹産地構造改革協議会 | 1,397 | 992 | -13.2 | 57.8 | 34.6 | 13.0 | 70.0 | 2.10 | 44.7 |
| B | 愛媛 | 1 | 八西地域農業振興協議会 | 2,893 | 3,888 | -13.3 | 97.5 | 21.5 | 11.8 | 134.8 | 2.02 | 49.5 |
| B | 愛知 | 1 | 蒲郡かんきつ産地協議会 | 1,255 | 687 | -13.4 | 24.3 | 48.9 | 15.9 | 54.6 | 2.00 | 45.4 |
| B | 広島 | 1 | 尾道市瀬戸田地域果樹振興対策会議 | 613 | 725 | -13.7 | 99.9 | 22.0 | 9.7 | 117.1 | 1.90 | 38.9 |
| B | 北海道 | 2 | 杜管町果樹振興協議会 | 42 | 95 | -14.0 | 10.1 | 14.3 | 15.3 | 224.0 | 2.29 | 55.7 |
| C | 山形 | 3 | JAやまがた果樹産地協議会 | 2,655 | 1,344 | -15.0 | 19.2 | 47.6 | 13.5 | 49.6 | 1.73 | 36.0 |
| C | 熊本 | 1 | 玉名地域果樹産地協議会 | 1,828 | 2,081 | -15.5 | 29.0 | 30.9 | 12.9 | 123.9 | 1.90 | 45.4 |
| C | 山形 | 3 | さがえ西村山果樹産地協議会 | 2,654 | 1,586 | -16.1 | 53.5 | 39.2 | 15.5 | 57.7 | 1.77 | 36.3 |
| C | 青森 | 2 | JA津軽みらい黒石地区果樹産地協議会 | 988 | 1,025 | -16.5 | 38.8 | 41.9 | 13.5 | 104.6 | 1.78 | 51.2 |
| C | 和歌山 | 3 | JA紀の里産地協議会 | 2,804 | 2,090 | -16.9 | 57.9 | 35.5 | 10.2 | 75.1 | 1.83 | 44.1 |
| C | 福岡 | 3 | 八女地域果樹産地協議会 | 3,185 | 3,302 | -17.6 | 51.8 | 27.9 | 9.4 | 88.8 | 2.01 | 48.5 |
| C | 三重 | 1 | 三重南紀みかん産地再構築委員会 | 883 | 726 | -18.3 | 57.5 | 14.3 | 10.0 | 83.5 | 1.38 | 34.8 |
| C | 長野 | 2 | JAながの果樹産地構造改革協議会 | 2,639 | 1,370 | -18.5 | 33.3 | 35.3 | 6.6 | 52.3 | 1.72 | 29.8 |
| C | 北海道 | 2 | 仁木町果樹産地振興協議会 | 239 | 477 | -18.9 | 38.0 | 16.3 | 10.4 | 217.8 | 2.22 | 57.4 |
| C | 岩手 | 2 | 岩手中央果樹振興協議会 | 1,290 | 799 | -20.0 | 8.8 | 48.7 | 31.4 | 64.9 | 1.75 | 41.3 |
| C | 福岡 | 3 | 朝倉地域果樹産地協議会 | 1,049 | 844 | -20.1 | 14.4 | 34.0 | 31.4 | 81.7 | 1.68 | 42.0 |
| C | 長野 | 2 | JAグリーン長野果樹産地協議会 | 2,637 | 953 | -20.3 | 41.4 | 37.4 | 9.1 | 36.1 | 1.74 | 28.7 |
| C | 福岡 | 3 | JAIこじ地域果樹産地協議会 | 1,589 | 1,354 | -20.4 | 17.9 | 37.9 | 31.1 | 83.1 | 1.85 | 50.5 |
| C | 長野 | 3 | JAみなみ信州果樹産地協議会 | 4,368 | 1,980 | -20.6 | 41.3 | 46.8 | 11.0 | 49.5 | 1.79 | 33.3 |
| C | 岩手 | 2 | 花巻市農業振興対策本部園芸振興部会 | 742 | 446 | -20.9 | 4.4 | 49.2 | 23.6 | 61.4 | 1.49 | 34.2 |
| C | 山梨 | 3 | JAこま野果樹産地協議会 | 2,443 | 1,401 | -21.3 | 75.3 | 34.1 | 15.9 | 56.4 | 1.60 | 31.2 |
| C | 北海道 | 2 | 余市町果樹産地協議会 | 325 | 752 | -21.3 | 75.8 | 20.8 | 5.1 | 219.8 | 2.25 | 56.0 |
| C | 青森 | 2 | 青森市果樹産地協議会 | 974 | 956 | -21.4 | 19.0 | 39.6 | 11.8 | 99.0 | 1.79 | 42.6 |
| C | 岩手 | 2 | 北上地方農林業振興協議会 | 210 | 85 | -22.2 | 1.0 | 50.2 | 34.6 | 43.2 | 1.48 | 31.0 |
| D | 佐賀 | 1 | JAさがみどり地区果樹産地協議会 | 1,983 | 2,100 | -22.4 | 49.3 | 39.5 | 10.3 | 110.6 | 1.75 | 42.3 |
| D | 静岡 | 1 | とびあ浜松農業協同組合果樹産地協議会 | 2,626 | 1,661 | -25.0 | 29.0 | 41.6 | 10.7 | 66.3 | 1.93 | 35.9 |
| D | 熊本 | 1 | 鹿本地域果樹産地協議会 | 1,449 | 796 | -26.1 | 12.9 | 26.8 | 18.9 | 52.9 | 1.88 | 42.8 |
| D | 広島 | 1 | 三原果樹振興対策会議 | 352 | 146 | -26.4 | 5.1 | 38.5 | 9.2 | 45.8 | 1.31 | 21.2 |
| D | 愛媛 | 1 | 宇和島支部産地協議会 | 787 | 667 | -28.9 | 39.5 | 33.3 | 10.8 | 96.6 | 1.70 | 38.3 |
| D | 静岡 | 1 | JALみず柑橘産地構造改革協議会 | 1,510 | 1,339 | -29.0 | 81.3 | 29.1 | 4.5 | 66.1 | 1.92 | 41.2 |
| D | 長崎 | 1 | 長崎西彼地域果樹産地協議会 | 3,172 | 2,338 | -31.5 | 32.9 | 31.6 | 6.3 | 77.2 | 1.62 | 38.3 |
| D | 三重 | 1 | 南勢産地協議会 | 148 | 97 | -32.3 | 45.0 | 27.7 | 4.1 | 73.9 | 1.39 | 30.7 |
| D | 広島 | 1 | 呉地域果樹振興対策会議 | 330 | 169 | -32.5 | 70.2 | 20.8 | 3.8 | 50.8 | 1.59 | 23.5 |
| D | 愛媛 | 1 | えひめ中央果樹産地協議会 | 2,213 | 1,449 | -32.6 | 41.4 | 28.1 | 8.2 | 69.8 | 1.56 | 30.7 |
| D | 愛媛 | 1 | 松山市農協果樹産地協議会 | 2,843 | 2,687 | -36.1 | 60.4 | 24.0 | 7.4 | 96.1 | 1.78 | 38.2 |
| D | 大分 | 1 | 東部果樹産地協議会 | 957 | 601 | -38.4 | 13.4 | 27.4 | 6.7 | 66.4 | 1.52 | 29.2 |
| D | 長崎 | 1 | 島原地域果樹産地協議会 | 906 | 432 | -44.3 | 5.1 | 41.7 | 10.9 | 49.9 | 2.05 | 56.9 |
| D | 佐賀 | 1 | 三神・佐賀地区果樹産地構造改革協議会 | 233 | 79 | -55.7 | 2.3 | 39.3 | 39.0 | 35.1 | 1.74 | 44.6 |
| D | 大分 | 1 | 県南果樹産地改革協議会 | 770 | 242 | -62.9 | 9.4 | 25.7 | 8.3 | 37.9 | 1.31 | 29.0 |
| 平均 | | | | 1,703 | 1,432 | -1,093 | 43.0578 | 34.99 | 17.70 | 88.18 | 1.83 | 41.84 |

○ 規模拡大（1戸当たり樹園地面積）の進展状況

1) 樹園地のある農家1戸当たり平均樹園地面積

1戸当たり平均樹園地面積をみると、2010年において最も大きいのは北海道の産地で3産地全てで2ha程度となっている。

次いで大きいのは、愛媛県の吉田町、熊本市、三ヶ日町などで1.5ha程度となっている。

以下、1.0～1.5ha11産地、0.5～1.0ha36産地、0.5ha未満6産地となっている。

2) 1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積(a)

1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積をみると、減少したのは5産地、増加は53産地、変動無1産地となっている。

増加面積の大きかったのは、九州のかんきつ類産地や北海道の一部の産地などとなっている。

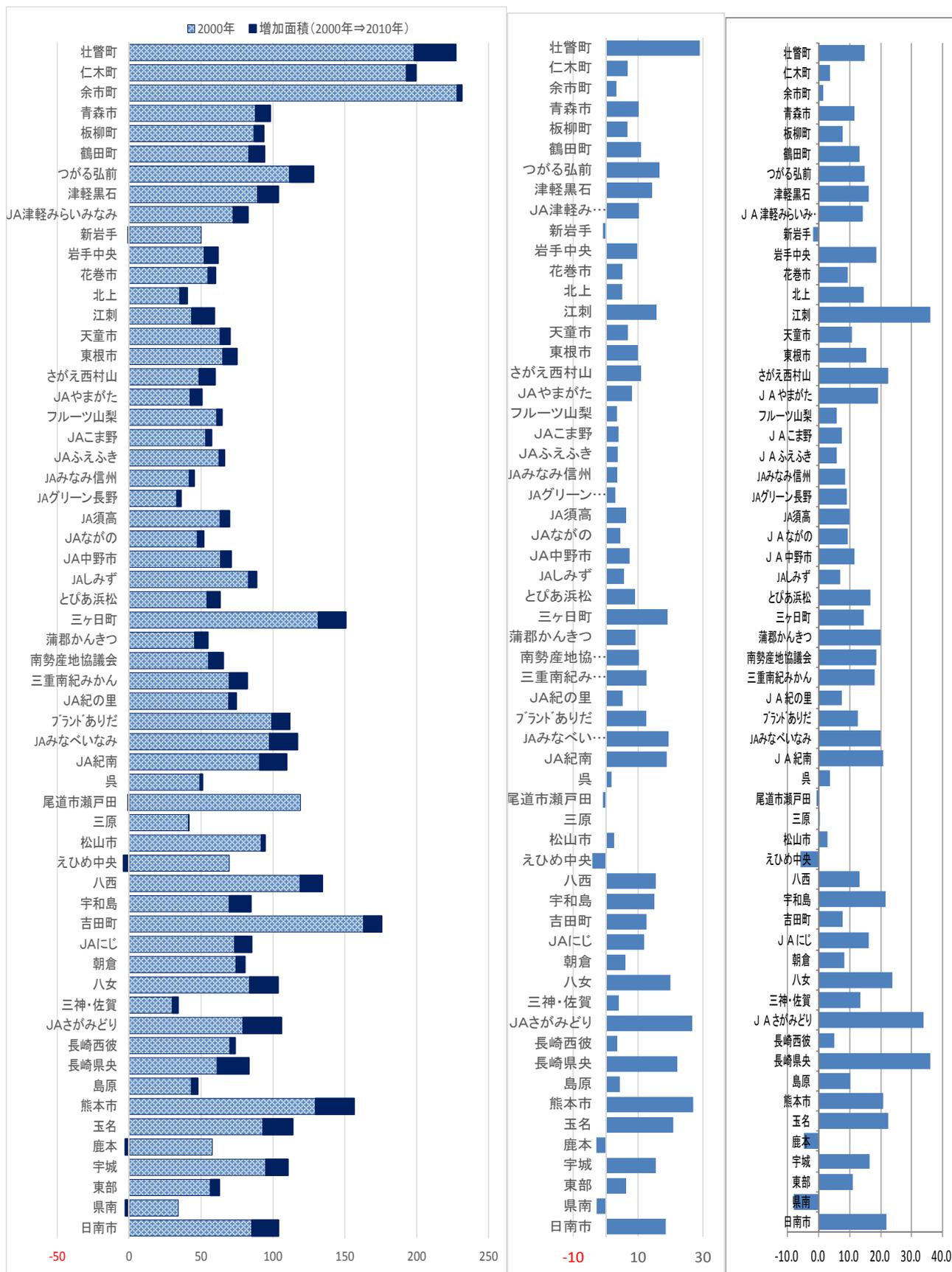
具体的には、20～30a増加したのは、壮瞥町(29a)、JAさがみどり(27a)、熊本市(27a)、長崎県央(22a)、玉名(21a)、八女(20a)などとなっている。

図Ⅲ-2 樹園地のある農家1戸当たり平均樹園地面積(a)及び過去10年間の増減(2000年⇒2010年)

(1) 1戸当たり平均樹園地面積(2010年,a)

(2) 過去10年間の増減面積(a)

(3) 過去10年間の面積増減率(%)



表Ⅲ-1 樹園地面積減少率等でみた産地の動向（2010年/2000年）

| 都道府県名 | 協議会番号 | 産地協議会名(略称) | 2000年→2010年増減率など(販売農家) | | 樹園地のある農家数(2010年) | 樹園地面積(2010年) | 1戸当たり樹園地面積(a) | | | |
|-------|-------|------------|------------------------|----------|------------------|--------------|---------------|-------|------------------|------------------|
| | | | 販売農家増減率 | 樹園地面積増減率 | | | 2010年 | 2000年 | 増減差(2010年-2000年) | 増減率(2010年/2000年) |
| | | 全国 | -26.7 | -16.5 | | | | | | |
| 北海道 | 1 | 壮瞥町 | -20.5 | -14.0 | 42 | 95 | 227 | 198 | 29 | 14.7 |
| 北海道 | 2 | 仁木町 | -21.4 | -18.9 | 239 | 477 | 200 | 193 | 7 | 3.5 |
| 北海道 | 3 | 余市町 | -19.4 | -21.3 | 325 | 752 | 231 | 228 | 3 | 1.4 |
| 青森 | 4 | 青森市 | -35.6 | -21.4 | 974 | 956 | 98 | 88 | 10 | 11.6 |
| 青森 | 5 | 板柳町 | -16.7 | -7.6 | 1,341 | 1,257 | 94 | 87 | 7 | 7.8 |
| 青森 | 6 | 鶴田町 | -20.3 | -5.6 | 995 | 937 | 94 | 83 | 11 | 13.1 |
| 青森 | 7 | つがる弘前 | -22.1 | -7.9 | 6,715 | 8,614 | 128 | 112 | 17 | 14.9 |
| 青森 | 8 | 津軽黒石 | -29.6 | -16.5 | 988 | 1,025 | 104 | 89 | 14 | 16.0 |
| 青森 | 9 | JA津軽みらいみなみ | -22.2 | -10.2 | 1,787 | 1,477 | 83 | 72 | 10 | 14.2 |
| 岩手 | 10 | 新岩手 | -20.7 | -9.9 | 317 | 156 | 49 | 50 | -1 | -1.7 |
| 岩手 | 11 | 岩手中央 | -39.4 | -20.0 | 1,290 | 799 | 62 | 52 | 10 | 18.6 |
| 岩手 | 12 | 花巻市 | -29.0 | -20.9 | 742 | 446 | 60 | 55 | 5 | 9.4 |
| 岩手 | 13 | 北上 | -30.6 | -22.2 | 210 | 85 | 40 | 35 | 5 | 14.4 |
| 岩手 | 14 | 江刺 | -21.1 | -2.9 | 444 | 263 | 59 | 44 | 16 | 36.0 |
| 山形 | 15 | 天童市 | -16.0 | -4.8 | 1,981 | 1,391 | 70 | 63 | 7 | 10.8 |
| 山形 | 16 | 東根市 | -17.6 | -2.9 | 1,943 | 1,457 | 75 | 65 | 10 | 15.2 |
| 山形 | 17 | さがえ西村山 | -39.6 | -16.1 | 2,654 | 1,586 | 60 | 49 | 11 | 22.4 |
| 山形 | 18 | JAやまがた | -29.5 | -15.0 | 2,655 | 1,344 | 51 | 42 | 8 | 19.2 |
| 山梨 | 19 | フルーツ山梨 | -17.4 | -12.7 | 4,371 | 2,820 | 65 | 61 | 4 | 5.8 |
| 山梨 | 20 | JAこま野 | -26.7 | -21.3 | 2,443 | 1,401 | 57 | 53 | 4 | 7.5 |
| 山梨 | 21 | JAふえふき | -15.5 | -11.9 | 4,202 | 2,786 | 66 | 63 | 4 | 5.9 |
| 長野 | 22 | JAみなみ信州 | -24.8 | -20.6 | 4,368 | 1,980 | 45 | 42 | 4 | 8.5 |
| 長野 | 23 | JAグリーン長野 | -27.1 | -20.3 | 2,637 | 953 | 36 | 33 | 3 | 9.0 |
| 長野 | 24 | JA須高 | -15.8 | -7.4 | 2,411 | 1,681 | 70 | 63 | 6 | 9.9 |
| 長野 | 25 | JAながの | -28.9 | -18.5 | 2,639 | 1,370 | 52 | 47 | 4 | 9.5 |
| 長野 | 26 | JA中野市 | -24.9 | -13.2 | 1,397 | 992 | 71 | 64 | 7 | 11.6 |
| 静岡 | 27 | JALみず | -29.9 | -29.0 | 1,510 | 1,339 | 89 | 83 | 6 | 6.8 |
| 静岡 | 28 | とびあ浜松 | -32.0 | -25.0 | 2,626 | 1,661 | 63 | 54 | 9 | 16.7 |
| 静岡 | 29 | 三ヶ日町 | -9.8 | 3.4 | 1,190 | 1,793 | 151 | 132 | 19 | 14.5 |
| 愛知 | 30 | 蒲郡かんきつ | -23.6 | -13.4 | 1,255 | 687 | 55 | 46 | 9 | 20.1 |
| 三重 | 31 | 南勢 | -43.8 | -32.3 | 148 | 97 | 65 | 55 | 10 | 18.6 |
| 三重 | 32 | 三重南紀みかん | -29.4 | -18.3 | 883 | 726 | 82 | 70 | 13 | 18.1 |
| 和歌山 | 33 | JA紀の里 | -20.4 | -16.9 | 2,804 | 2,090 | 75 | 69 | 5 | 7.5 |
| 和歌山 | 34 | ブランドありだ | -13.4 | -6.5 | 3,533 | 3,947 | 112 | 99 | 13 | 12.6 |
| 和歌山 | 35 | JAみなべいなみ | -11.7 | 6.7 | 1,960 | 2,295 | 117 | 98 | 19 | 19.9 |
| 和歌山 | 36 | JA紀南 | -22.0 | -2.7 | 2,599 | 2,847 | 110 | 91 | 19 | 20.7 |
| 広島 | 37 | 呉 | -35.4 | -32.5 | 330 | 169 | 51 | 49 | 2 | 3.7 |
| 広島 | 38 | 尾道市瀬戸田 | -13.2 | -13.7 | 613 | 725 | 118 | 119 | -1 | -0.7 |
| 広島 | 39 | 三原 | -35.4 | -26.4 | 352 | 146 | 41 | 41 | 0 | 0.2 |
| 愛媛 | 40 | 松山市 | -33.2 | -36.1 | 2,843 | 2,687 | 95 | 92 | 3 | 2.9 |
| 愛媛 | 41 | えひめ中央 | -23.8 | -32.6 | 2,213 | 1,449 | 65 | 70 | -4 | -5.9 |
| 愛媛 | 42 | 八西 | -23.4 | -13.3 | 2,893 | 3,888 | 134 | 119 | 15 | 13.0 |
| 愛媛 | 43 | 宇和島 | -30.3 | -28.9 | 787 | 667 | 85 | 70 | 15 | 21.6 |
| 愛媛 | 44 | 吉田町 | -18.3 | -12.0 | 953 | 1,674 | 176 | 163 | 13 | 7.7 |
| 福岡 | 45 | JAにし | -39.8 | -20.4 | 1,589 | 1,354 | 85 | 73 | 12 | 16.2 |
| 福岡 | 46 | 朝倉 | -31.5 | -20.1 | 1,049 | 844 | 81 | 74 | 6 | 8.2 |
| 福岡 | 47 | 八女 | -31.2 | -17.6 | 3,185 | 3,302 | 104 | 84 | 20 | 23.8 |
| 佐賀 | 48 | 三神・佐賀 | -70.8 | -55.7 | 233 | 79 | 34 | 30 | 4 | 13.4 |
| 佐賀 | 49 | JAさがみどり | -51.4 | -22.4 | 1,983 | 2,100 | 106 | 79 | 27 | 33.7 |
| 長崎 | 50 | 長崎西彼 | -26.5 | -31.5 | 3,172 | 2,338 | 74 | 70 | 4 | 5.1 |
| 長崎 | 51 | 長崎県央 | -20.8 | -12.3 | 843 | 703 | 83 | 61 | 22 | 36.1 |
| 長崎 | 52 | 島原 | -23.1 | -44.3 | 906 | 432 | 48 | 43 | 4 | 10.1 |
| 熊本 | 53 | 熊本市 | -25.6 | -10.8 | 967 | 1,514 | 157 | 130 | 27 | 20.8 |
| 熊本 | 54 | 玉名 | -29.5 | -15.5 | 1,828 | 2,081 | 114 | 93 | 21 | 22.4 |
| 熊本 | 55 | 鹿本 | -24.1 | -26.1 | 1,449 | 796 | 55 | 58 | -3 | -4.9 |
| 熊本 | 56 | 宇城 | -24.8 | -12.0 | 1,361 | 1,503 | 110 | 95 | 16 | 16.3 |
| 大分 | 57 | 東部 | -32.7 | -38.4 | 957 | 601 | 63 | 57 | 6 | 11.1 |
| 大分 | 58 | 県南 | -30.8 | -62.9 | 770 | 242 | 31 | 34 | -3 | -8.0 |
| 宮崎 | 59 | 日南市 | -28.8 | -9.7 | 564 | 586 | 104 | 85 | 19 | 21.8 |

《樹園地面積減少率階層別にみた産地の特徴》

樹園地面積減少率を少ない順に1～10位、11～20位、21～30位など6グループに分けて、主要指標をみると、有意差が認められる指標は、「農業就業人口65歳未満の割合」、「主業農家率」、「樹園地率」、「果樹栽培面積3ha以上販売農家割合」などとなっている。

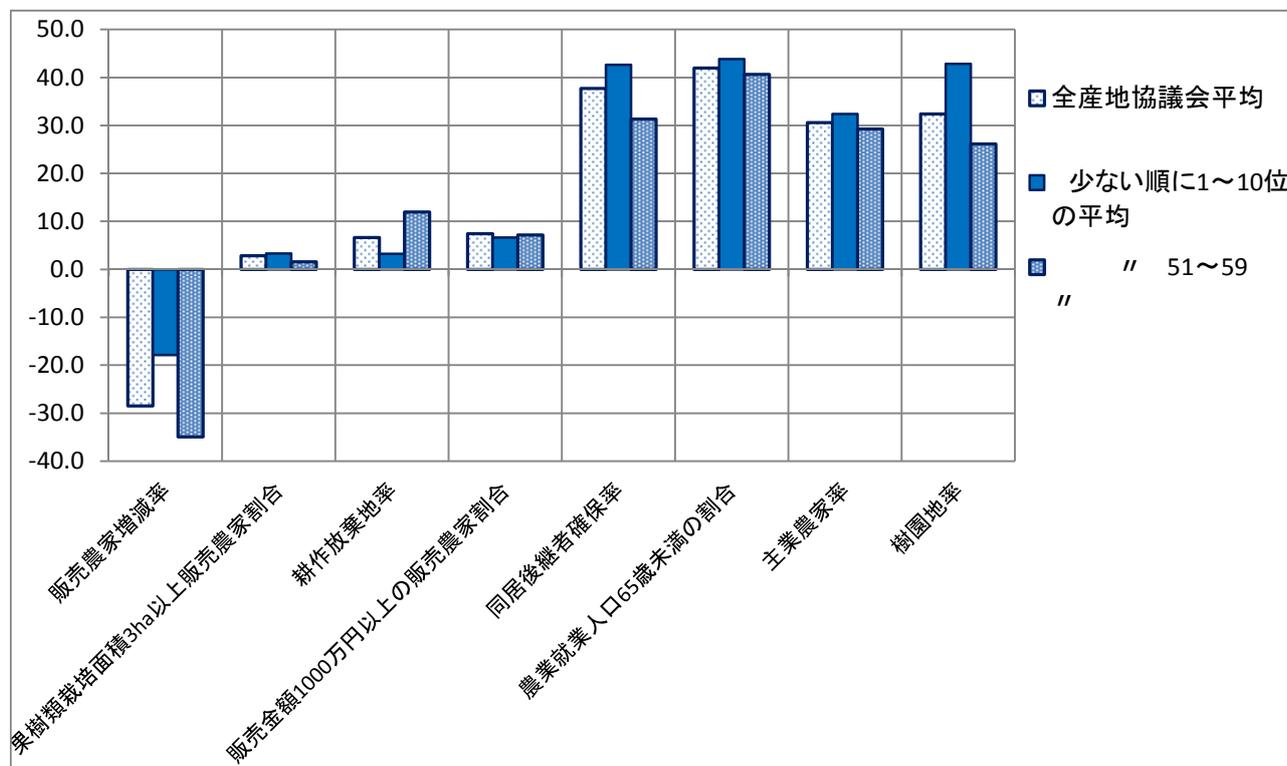
一方、「販売金額1000万円以上の販売農家割合」、「同居後継者確保率」は階層別に有意差が認められない。

また、「耕作放棄地率」は、樹園地面積減少率が大きい程、高くなっているのが特徴である。

表 III-2 樹園地面積減少率階層別にみた産地の特徴（(2010年/2000年）

| 樹園地面積減少率階層 (減少率の少ない順) | 樹園地面積増減率 | 販売農家増減率 | 果樹類栽培面積3ha以上販売農家割合 | 耕作放棄地率 | 販売金額1000万円以上の販売農家割合 | 同居後継者確保率 | 農業就業人口65歳未満の割合 | 主業農家率 | 樹園地率 | (参考) 果樹園面積割合＝果樹園/樹園地 |
|--------------------------|----------|---------|--------------------|--------|---------------------|----------|----------------|-------|------|----------------------|
| 全産地協議会平均 | -16.2 | -28.5 | 2.8 | 6.6 | 7.4 | 37.7 | 41.9 | 30.6 | 32.4 | 94.1 |
| 少ない順に1～10位の平均 | -3.1 | -17.9 | 3.3 | 3.3 | 6.6 | 42.6 | 43.9 | 32.4 | 42.8 | 98.1 |
| 〃 11～20位の平均 | -10.2 | -21.4 | 3.9 | 5.0 | 7.7 | 37.1 | 46.4 | 37.9 | 36.5 | 94.0 |
| 〃 21～30 〃 | -14.9 | -27.9 | 3.5 | 7.6 | 9.0 | 37.4 | 43.2 | 33.0 | 43.2 | 98.9 |
| 〃 31～40 〃 | -19.3 | -31.9 | 1.6 | 6.4 | 7.3 | 39.4 | 39.3 | 25.7 | 23.3 | 92.3 |
| 〃 41～50 〃 | -24.3 | -33.9 | 2.2 | 7.9 | 7.0 | 37.8 | 37.2 | 25.1 | 25.6 | 86.6 |
| 〃 51～59 〃 | -35.5 | -35.0 | 1.5 | 11.9 | 7.1 | 31.3 | 40.6 | 29.2 | 26.1 | 91.3 |

図 III-3 樹園地面積減少率階層別にみた産地の特徴（(2010年/2000年）



3 品目別にみた相関分析結果と規模拡大の状況

(1) かんきつ類産地

かんきつ類産地について、樹園地のある農家数増減率と樹園地面積増減率（2010年/2000年）を相関図でみると、樹園地面積が増加しているのは、三ヶ日町のみで、他のかんきつ類産地は全て減少となっている。

減少している産地も、ブランドありだ(△6.5%)、次いで日南市、熊本市、宇城、長崎中央、吉田町などが10～15%程度の減少、他の多くの産地は20%以上の大幅な減少となっている。

なお、かんきつ類産地の特徴は、図における斜めの線からみて、農家数及び樹園地面積の減少率が線の右下にも多く含まれている点（すなわち産地全体としてみると規模拡大が進んでいない産地も少なくない。規模拡大は一部の産地に留まっている。）である。

図Ⅲ-4 樹園地のある農家数増減率と樹園地面積増減率（2010年/2000年）相関図

— かんきつ類産地 —



○ 規模拡大（1戸当たり樹園地面積）の進展状況

1) 樹園地のある農家1戸当たり平均樹園地面積

1戸当たり平均樹園地面積をみると、2010年においてもっとも大きいのは、愛媛県の吉田町(1.76ha)、次いで熊本市、三ヶ日町などで1.5ha程度となっている。

他の多くの産地は、1.0ha程度ないしはそれ以下となっている。

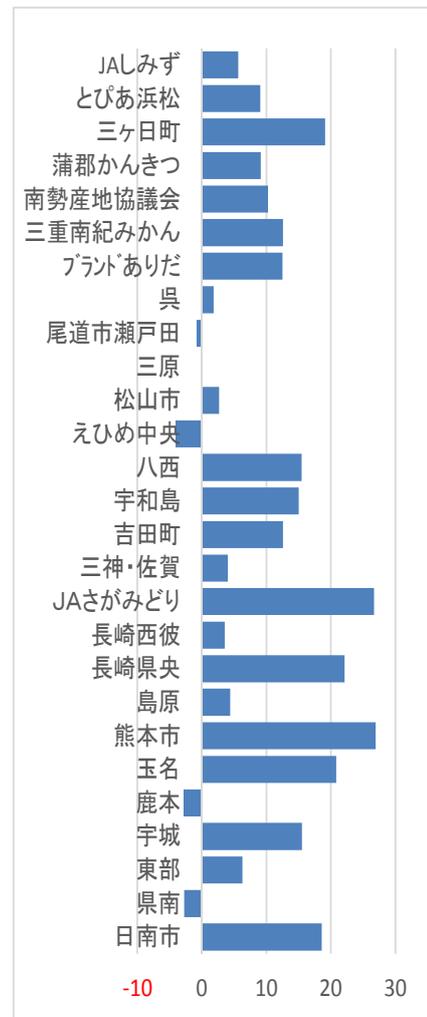
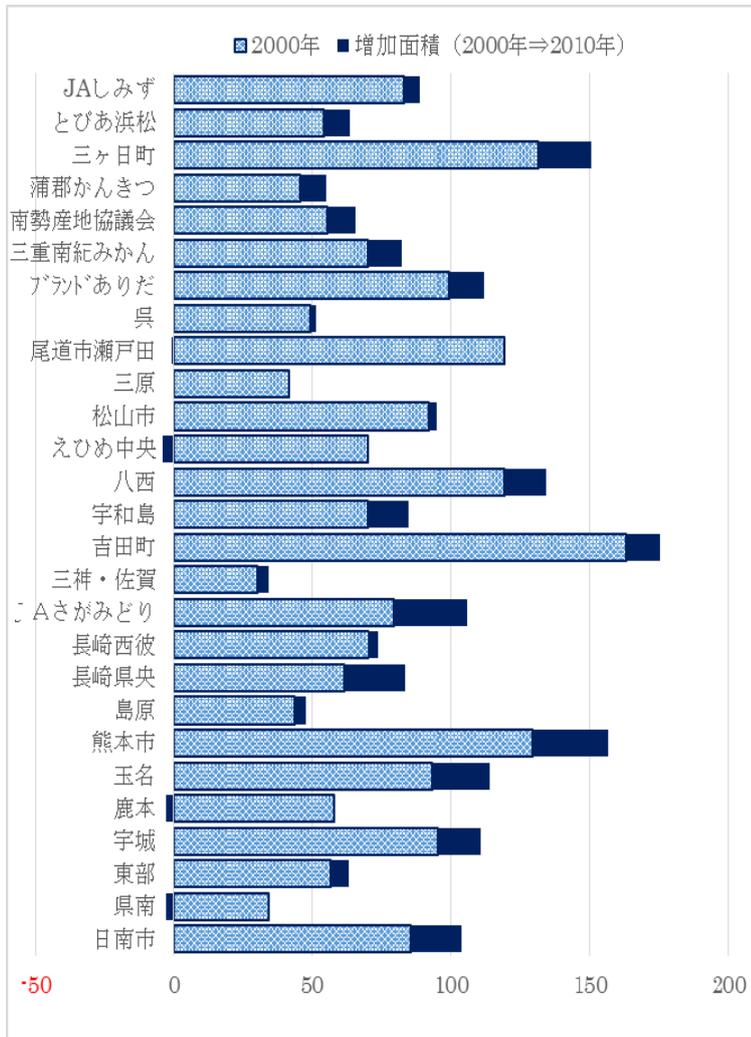
2) 1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積(2000年⇒2010年)

1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積をみると、減少したのは4産地、増加は22産地、変動無1産地となっている。

増加面積の大きかったのは、九州のかんきつ類産地のJAさがみどり、熊本市で、ついで三ヶ日町、日南市などとなっている。

図Ⅲ-5 樹園地のある農家1戸当たり平均樹園地面積(2010年)

図Ⅲ-6 1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積



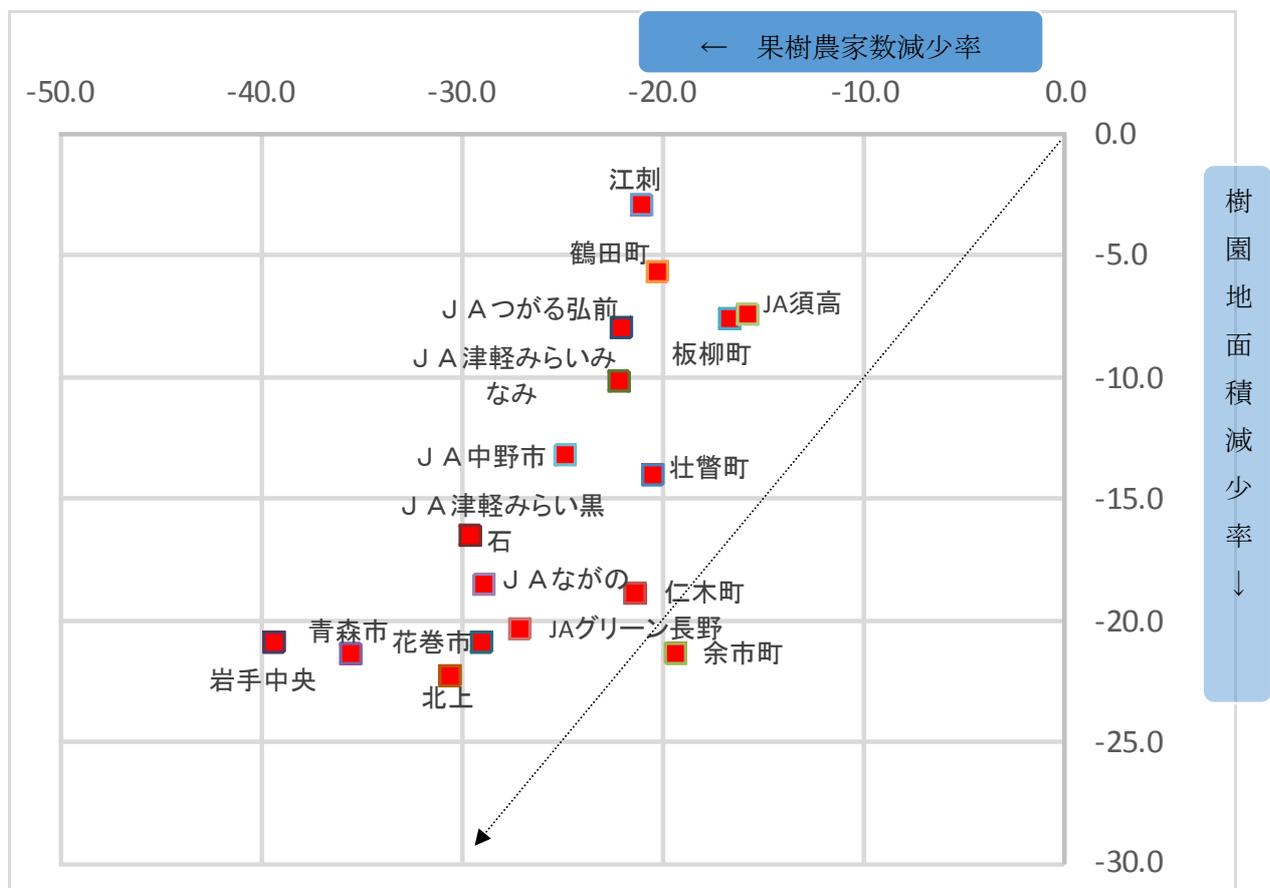
(2) りんご産地

りんご産地における樹園地のある農家数増減率と樹園地面積増減率（2010年/2000年）を相関図でみると、樹園地面積の減少率が10%以内に留まっているのは、青森県内の産地や岩手県、長野県の一部の5産地となっている。他の多くの産地は25%以内の減少率に留まっている。

また、余市町を除き他の全ての産地は、図における斜めの線からみて、左上（すなわち産地全体としてみると規模拡大が進んでいる）となっている点の特徴である。

図Ⅲ-7 樹園地のある農家数増減率と樹園地面積増減率（2010年/2000年）相関図

— りんご産地 —



○ 規模拡大は進んでいるのか

1. 樹園地のある農家1戸当たり平均樹園地面積

1戸当たり平均樹園地面積をみると、2010年において最も大きいのは北海道の産地で3産地全てで2.0~2.3ha程度となっている。

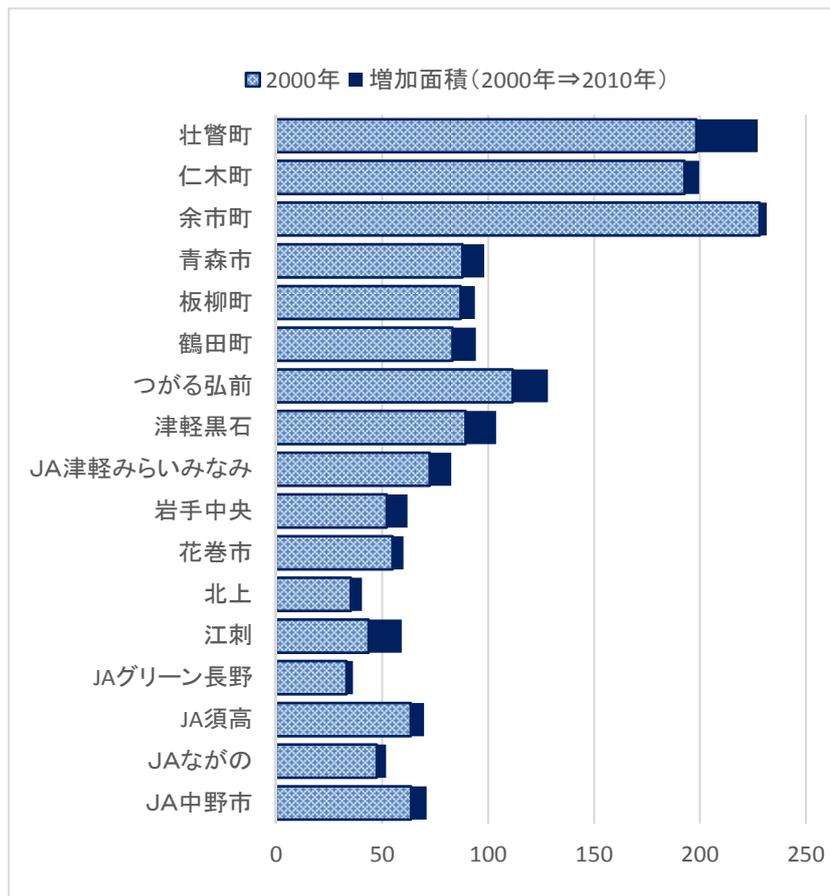
次いで大きいのは、つがる弘前で1.3ha程度となっている。

他の多くの産地は、1.0ha以下となっている。

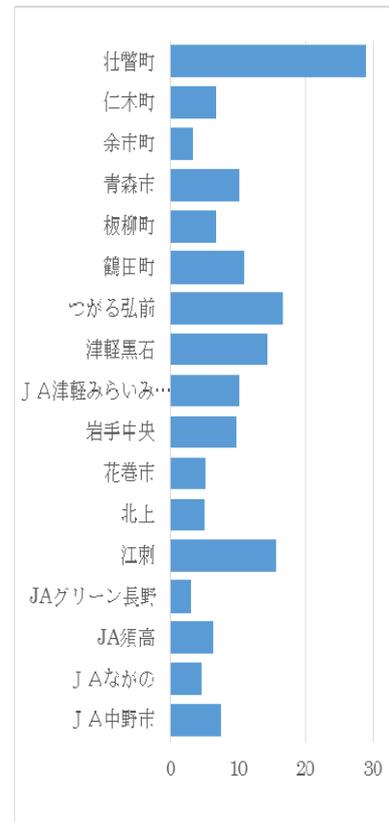
2. 1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積(a)

1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積をみると、最も大きいのは壮瞥町(29a)、次いでつがる弘前(17a)、江刺(16a)などとなっている。

図Ⅲ-8 樹園地のある農家1戸当たり平均樹園地面積(a)



図Ⅲ-9 1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積(a)

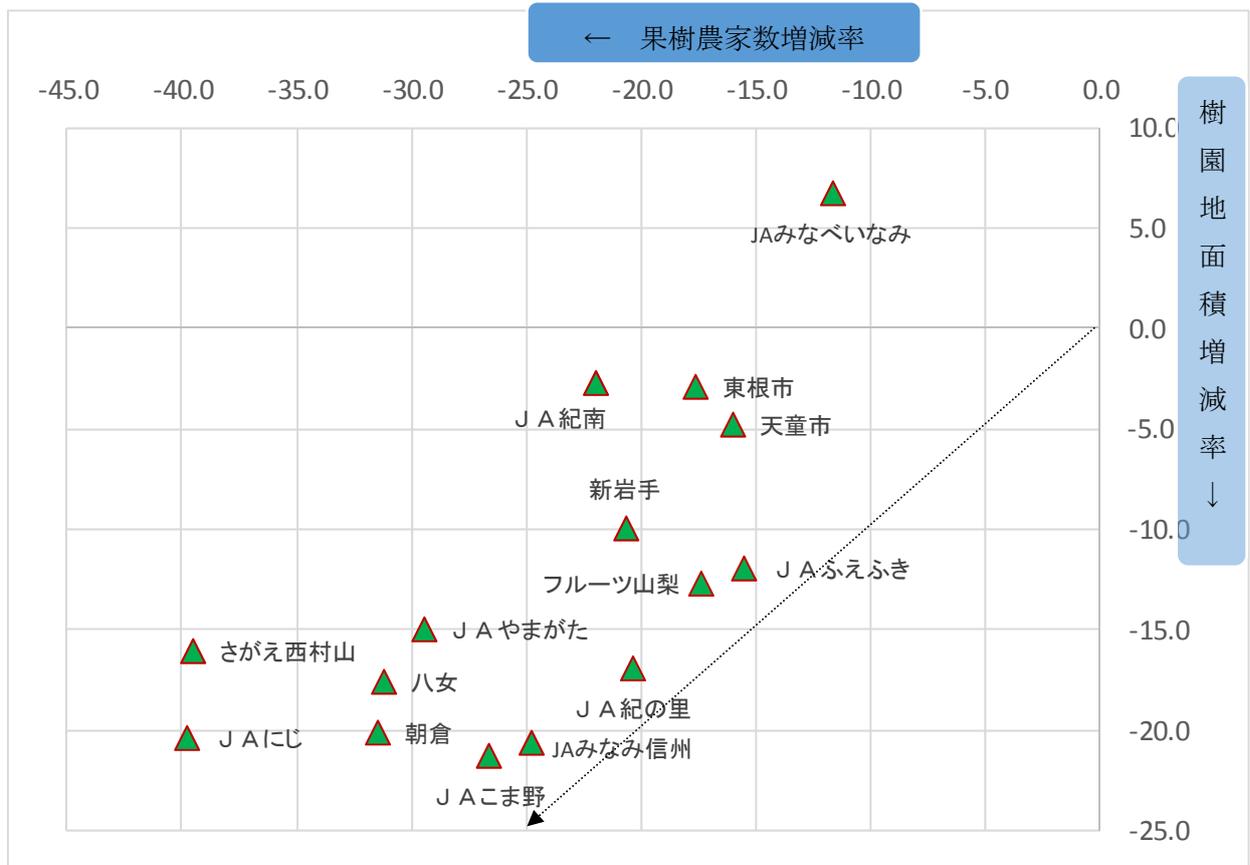


(3) 落葉果樹産地

落葉果樹産地について、樹園地のある農家数増減率と樹園地面積増減率（2010年/2000年）を相関図でみると、JAみなべいなみが増加となっている他は全ての産地は減少となっている。減少率はりんご同様全ての産地が25%以内となっているが、農家数の減少幅が15%～40%までと幅広い点及び図における斜めの線からみて、りんご産地同様、左上（すなわち産地全体として規模拡大が進んでいる）となっている点の特徴である。

図Ⅲ-10 樹園地のある農家数増減率と樹園地面積増減率（2010年/2000年）相関図

— 落葉果樹産地 —



○ 規模拡大は進んでいるのか

1. 樹園地のある農家1戸当たり平均樹園地面積

1戸当たり平均樹園地面積をみると、2010年において最も大きいのは和歌山のJAみなべいなみ、次いでJA紀南で1.1~1.2ha程度となっている。

次いで1haを超えているのは、八女で1ha程度となっている。

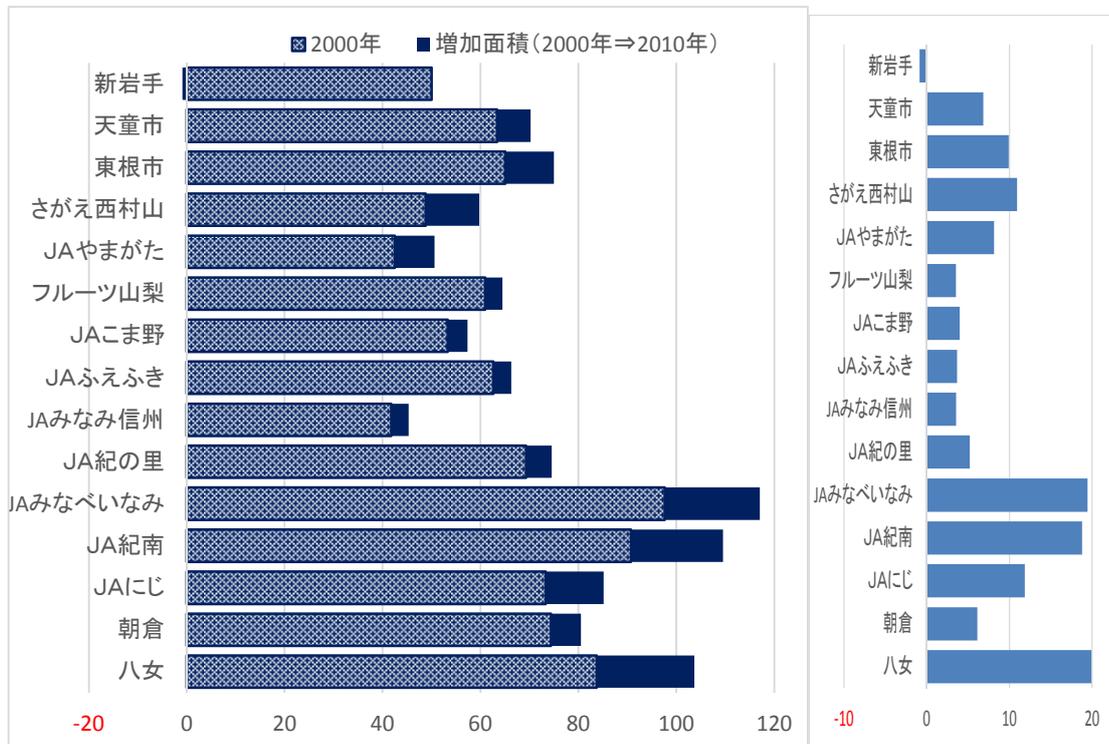
他の多くの産地は、1ha以下となっている。

2. 1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積(a)

1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積をみると、最も大きいのは八女(20a)、次いでJAみなべいなみ(19a)、JA紀南(19a)などとなっている。

図III-11 樹園地のある農家1戸当たり平均樹園地面積(a)

図III-12 1戸当たり平均樹園地面積の過去10年間の増減面積(a)



4 大規模層への樹園地の集積状況

今後の果樹産地の維持・発展を考える上で担い手層、大規模階層への果樹園地の集積は重要な課題であるが、主要産地、代表的な産地における果樹園地の大規模層への集積の実態について、2000年、2010年の農業センサスを用いて、以下のとおり推計した。

具体的には、主要な果樹産地で樹園地率の高い11産地について、2010年、2000年に「経営耕地面積3.0ha以上層」及び「経営耕地面積5.0ha以上層」にどの程度「経営耕地」が集積されたのか比較してみると以下の通りとなっている。

(統計の制約による留意事項)

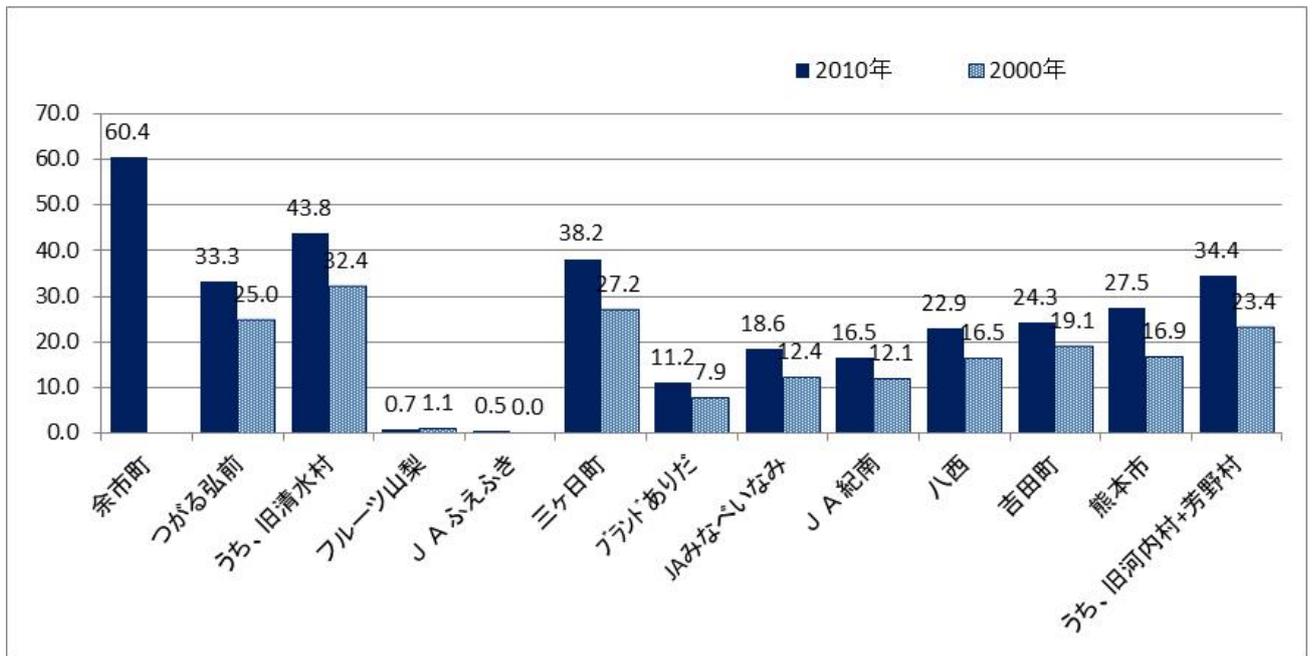
本来は「果樹園面積」で大規模層への集積分析をすることが望ましいが、農業センサスデータは果樹園地面積規模別の果樹園面積データを作成していない。このため、便宜、水田等も含んだいわゆる「経営耕地面積」データを用いて大規模層への集積状況を分析した。このため、利用に当たっては当該産地の「樹園地率」に留意して利用されることが望ましい。

1. 「樹園地面積3.0ha以上層」への集積で最も高いのは、余市町で60.4%、次いで三ヶ日町で38.2%、つがる弘前33.3%、熊本市27.5%などとなっている。これを10年前の2000年と比べると、どの産地も8~10ポイント程度集積率が高くなっている。
2. これを「樹園地面積5.0ha以上層」に限ってみると、余市町で28.1%、次いでつがる弘前12.1%、三ヶ日町で11.3%、熊本市10.1%などとなっている(注：余市町は2010年のみ)。
3. なお、代表的な産地で樹園地率があまり高くない「つがる弘前」及び「熊本市」については、樹園地率が9割程度と高い旧町村の「清水村」及び「川内村、芳野村」に限って分析してみると、「経営耕地面積3.0ha以上層」集積率は、2010年で清水村43.8%、川内村、芳野村で34.4%と高くなっている。
4. また、例えば三ヶ日町は、かんきつ類産地で最も大規模層への樹園地集積が進んでいる産地であるが、2000年では最も集積割合の高い階層は2.0~3.0ha(23.8%)であったのが、2010年では3.0~5.0ha(26.9%)の階層に移行するなど樹園地の受け手の階層が上がっている。

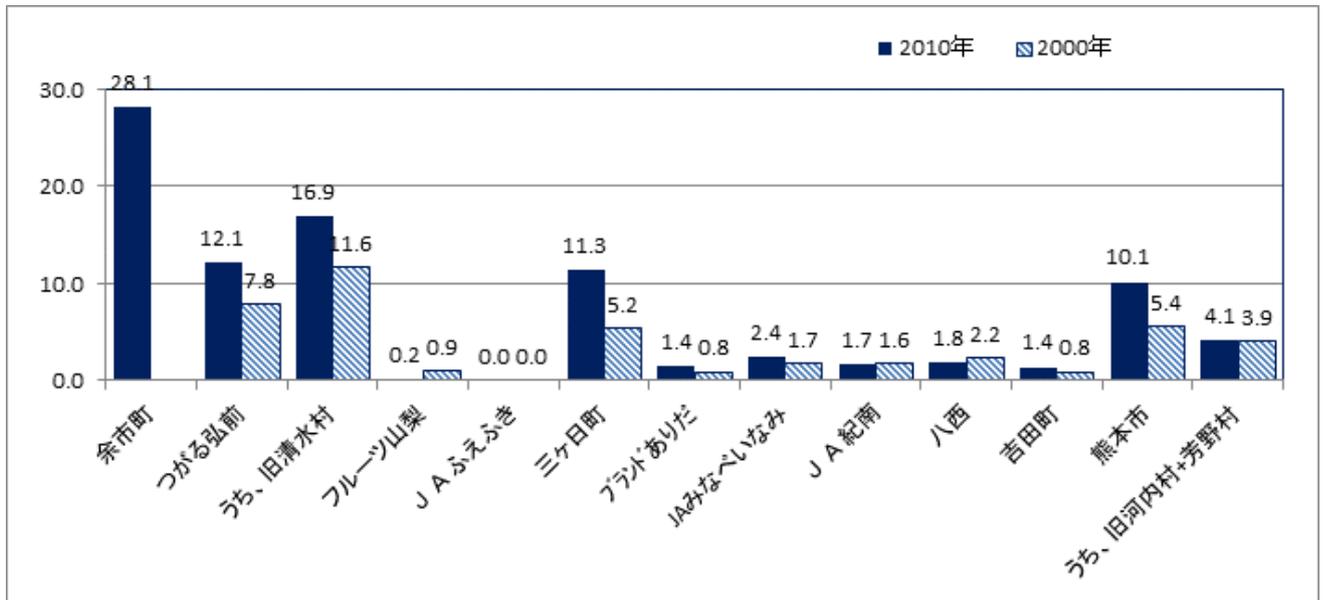
表Ⅲ-13 主要果樹産地における大規模階層への経営耕地の集積状況(2010年、2000年)

| 区分 | 販売農家数 | 経営耕地面積 | | | | | | | | | | | | | | 樹園地率 (2010年) |
|-----|------------|--------|--------|-----------|-------|--------|---------|-------|--------|--------------|-------|--------|---------|-------|--------|-----------------|
| | | 実数(ha) | | 集積割合(%) | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | 合計 | 2.0~3.0ha | | | 3.0ha以上 | | | うち、3.0~5.0ha | | | 5.0ha以上 | | | |
| | | 2010年 | 2010年 | 2010年 | 2000年 | 増加ポイント | 2010年 | 2000年 | 増加ポイント | 2010年 | 2000年 | 増加ポイント | 2010年 | 2000年 | 増加ポイント | |
| 北海道 | 余市町 | 404 | 992 | 18.1 | ... | ... | 60.4 | ... | ... | 32.3 | ... | ... | 28.1 | ... | ... | 75.8 |
| 青森 | つがる弘前 | 8,123 | 13,372 | 24.3 | 25.2 | -0.9 | 33.3 | 25.0 | 8.3 | 21.2 | 17.2 | 3.9 | 12.1 | 7.8 | 4.3 | 64.4 |
| | うち、旧清水村 | 421 | 790 | 22.9 | 22.4 | 0.5 | 43.8 | 32.4 | 11.4 | 26.9 | 20.7 | 6.2 | 16.9 | 11.6 | 5.3 | 87.9 |
| 山梨 | フルーツ山梨 | 4,423 | 2,944 | 2.1 | 1.0 | 1.0 | 0.7 | 1.1 | -0.4 | 0.6 | 0.2 | 0.4 | 0.2 | 0.9 | -0.7 | 95.8 |
| 山梨 | JAふえふき | 4,440 | 3,269 | 2.7 | 1.3 | 1.4 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 85.2 |
| 静岡 | 三ヶ日町 | 1,203 | 1,955 | 22.8 | 23.8 | -1.0 | 38.2 | 27.2 | 11.0 | 26.9 | 22.0 | 4.9 | 11.3 | 5.2 | 6.1 | 91.7 |
| 和歌山 | ブランドありだ | 3,921 | 4,450 | 25.0 | 20.8 | 4.2 | 11.2 | 7.9 | 3.3 | 9.8 | 7.0 | 2.7 | 1.4 | 0.8 | 0.6 | 88.7 |
| 和歌山 | JAみなべいなみ | 2,204 | 2,952 | 27.6 | 24.8 | 2.7 | 18.6 | 12.4 | 6.2 | 16.1 | 10.7 | 5.5 | 2.4 | 1.7 | 0.7 | 77.7 |
| 和歌山 | JA紀南 | 3,401 | 3,754 | 23.6 | 19.0 | 4.6 | 16.5 | 12.1 | 4.4 | 14.7 | 10.5 | 4.3 | 1.7 | 1.6 | 0.1 | 75.8 |
| 愛媛 | 八西 | 2,923 | 3,988 | 27.7 | 27.0 | 0.8 | 22.9 | 16.5 | 6.4 | 21.1 | 14.3 | 6.8 | 1.8 | 2.2 | -0.4 | 97.5 |
| 愛媛 | 吉田町 | 954 | 1,735 | 40.8 | 43.2 | -2.4 | 24.3 | 19.1 | 5.2 | 22.9 | 18.3 | 4.7 | 1.4 | 0.8 | 0.6 | 96.5 |
| 熊本 | 熊本市 | 4,389 | 6,977 | 24.6 | 23.3 | 1.3 | 27.5 | 16.9 | 10.6 | 17.4 | 11.5 | 5.9 | 10.1 | 5.4 | 4.7 | 21.7 |
| | うち旧河内村+芳野村 | 710 | 1,341 | 35.8 | 35.0 | 0.8 | 34.4 | 23.4 | 11.0 | 21.8 | 19.5 | 2.3 | 4.1 | 3.9 | 0.2 | 96.5 |

図Ⅲ-14 主要果樹産地における大規模階層(3.0ha以上層)への経営耕地の集積状況
(2010年、2000年)



図Ⅲ-15 主要果樹産地における大規模階層(5.0ha以上層)への経営耕地の集積状況
(2010年、2000年)



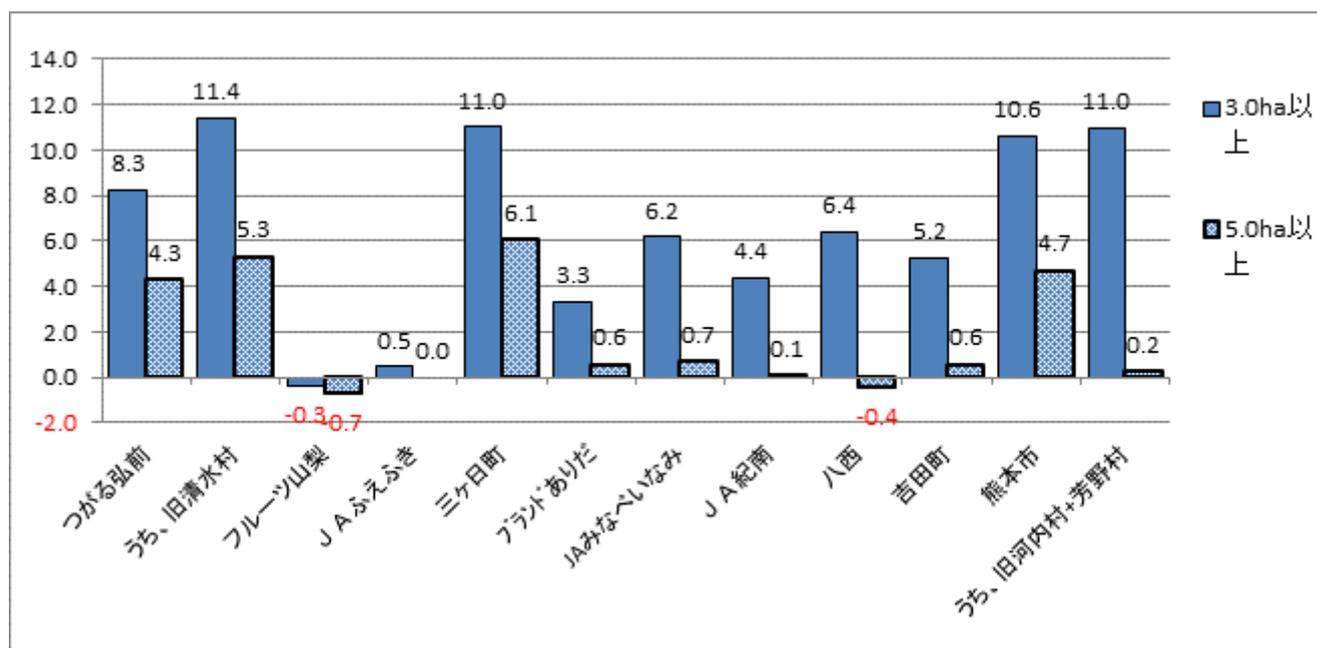
なお、大規模階層(「3.0ha 以上層」、「5.0ha 以上層」)への経営耕地の集積割合の2000年から2010年の割合増加ポイント(=2010年集積割合-2000年集積割合)について、主要産地別に比較してみると、

例えば、「つがる弘前」においては、「3.0ha 以上層」は8.3ポイント、「5.0ha 以上層」4.3ポイント、それぞれ増加している。同様に「三ヶ日町(「3.0ha 以上層」は11.0ポイント、「5.0ha 以上層」6.1ポイント、それぞれ増加)」「熊本市(「3.0ha 以上層」は10.6ポイント、「5.0ha 以上層」4.7ポイント、それぞれ増加)」でも集積割合は増加している。

一方、「ブランドありだ」、「JA みなべいなみ」、「JA 紀南」、「八西」、「吉田町」においては、集積割合は、「3.0ha 以上層」は一定程度増加しているのに対して、「5.0ha 以上層」はわずかな増加ないし減少となっている点が特徴である。

これらの産地は、「つがる弘前」、「三ヶ日町」、「熊本市」同様優良産地であることから、産地内で樹園地は売り手市場で樹園地を増やすことが難しいことが主因ではないかと思われる(別途調査の「大規模果樹経営実態調査(樹園地5ha以上の経営を対象)」における母集団確認作業において優良産地の周辺部等で出作等も含め大規模層が形成されている産地が確認された。)

図Ⅲ-15 主要果樹産地における大規模階層(3.0ha 以上層、5.0ha 以上層)への経営耕地の集積割合の増加ポイント(2000年⇒2010年)



IV 果樹産地の発展要因解析（産地の将来性分析）

1 分析の方法

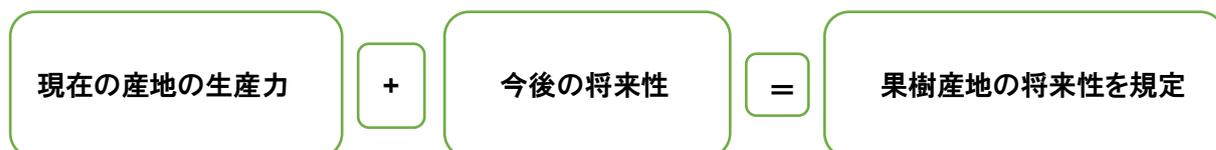
本調査で対象となった産地協議会（59）について、産地において将来用いることのできる資源がいかに確保されているかという観点から次の 6 指標を用いて産地の発展要因解析（将来性の分析）を行った。

分析の方法は、今後、産地の発展要因、将来性を規定すると思われる 6 指標を選定し、単位を揃える観点から一旦数値の基準化を行った上で、「6 指標の得点の平均値」で産地の順位付けを行った。

【産地の発展要因、将来性を規定すると思われる 6 指標】

- 1 後継者（同居）の居る農家率（販売農家、2010 年）
（考え方：後継ぎは確保されているかどうか）
- 2 改植事業の実績面積割合（＝改植事業（果樹経営支援対策事業における優良品目・品種への転換）の実績面積（19～25 年度の 7 年間累積面積） / 樹園地面積（2010 年））
（考え方：産地として優良品目・品種への転換を積極的に進めているか）
- 3 耕作放棄地面積割合（販売農家 2010 年）
注：割合が多い程得点を低くする意味合いから逆数を用いた。
（考え方：耕作放棄地が少なく、経営耕地が健全に維持されているか）
- 4 果樹栽培農家 1 戸当たり果樹栽培面積（販売農家 2010 年）
（考え方：一戸当たり規模（樹園地面積）の拡大は進んでいるか）
- 5 1 戸当たり農業就業人口（販売農家 2010 年）
（考え方：現在の農業労働力は確保されているか）
- 6 農業就業人口の 65 歳未満割合（販売農家 2010 年）
（考え方：産地の将来を担う農業労働力は確保されているのか）

（参考図：指標選定の考え方）



2 分析結果

(1) 全産地協議会

本調査で対象となった産地協議会（59）について、産地の将来性を規定すると思われる 6 指標の得点平均値で見ると、上位 10 産地は、青森 3、北海道 2、熊本 2、静岡 1、和歌山 1、愛媛 1 となっており、りんご産地 5、かんきつ類産地 4、落葉果樹産地 1 となっている。

最も得点平均値の高かった「三ヶ日町柑橘産地協議会」はやや順位の低かった「農業就業人口の 65 歳未満割合」以外の 6 指標でバランス良く上位になったことなどによる。

以下、10 位以内にランクされた産地は、「耕作放棄地面積割合」が比較的 low、「果樹栽培農家 1 戸当たり果樹栽培面積（販売農家）」、「1 戸当たり農業就業人口」、「農業就業人口の 65 歳未満割合」などが高いことによる。

一方、下位にランクされた産地には、山梨、長野の他、西日本のかんきつ地帯の産地が比較的多い。

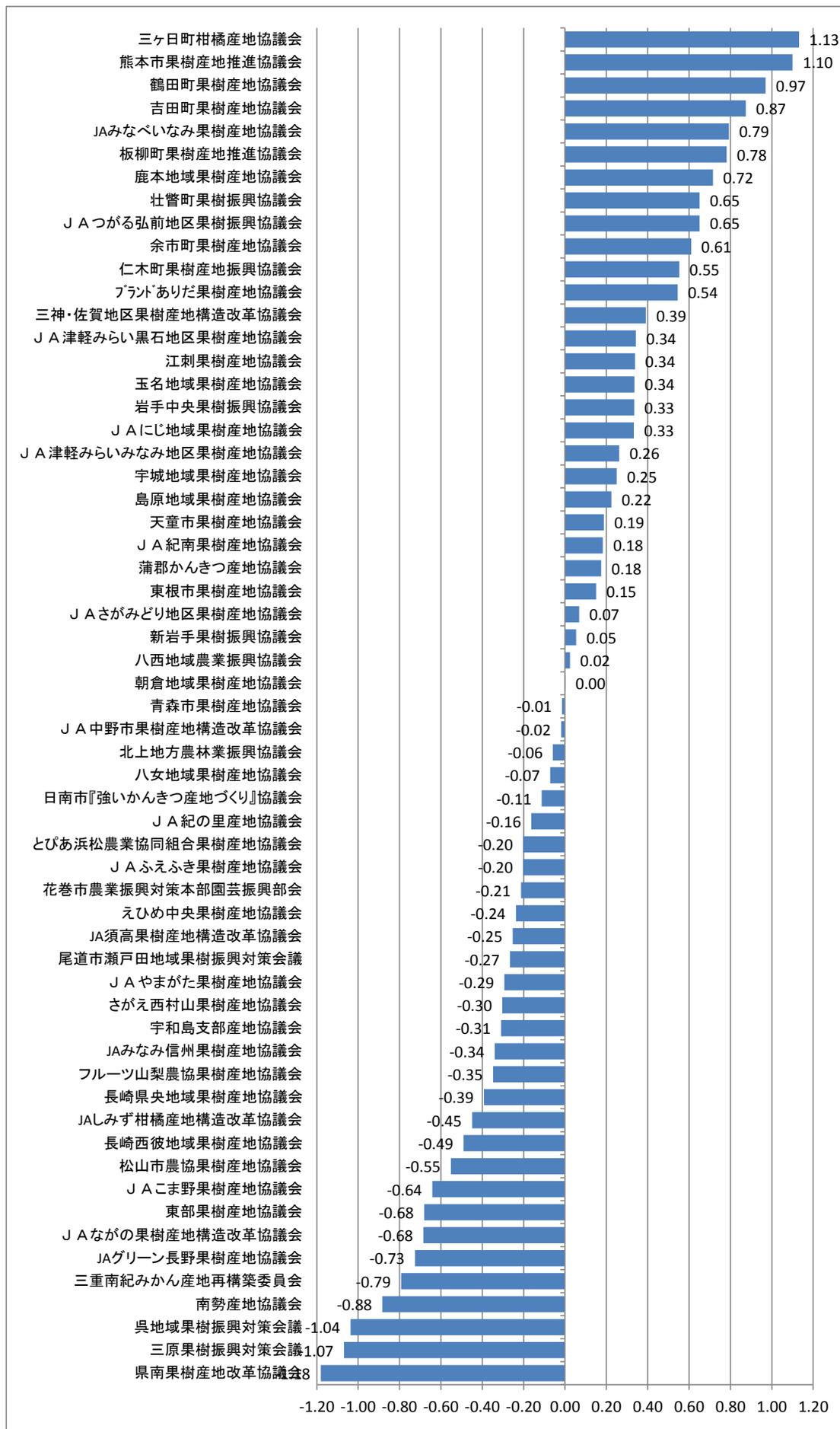
表1 産地の将来性（全産地（59産地）の順位：実数、得点平均値順）

| 順位 | 都道府県名 | 品目 | 産地協議会名 | 産地の基本指標 | | | 1.産地の将来性指標(実数) | | | | | | 基準化による得点平均値 |
|------|-------|----|--------------------------|-----------|-------|--------------------|----------------|--------------|----------------------|--------------------------|---------------|-----------------|-------------|
| | | | | 樹園地のある農家数 | 樹園地面積 | 樹園地率(樹園地面積/経営耕地面積) | 1後継者(同居)の居る農家率 | 2改植事業の実績面積割合 | 3耕作放棄地面積割合(販売農家)(逆数) | 4果樹栽培農家1戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6農業就業人口の65歳未満割合 | |
| | | | | 戸 | ha | % | % | % | % | a | 人 | % | % |
| 1 | 静岡 | 1 | 三ヶ日町柑橘産地協議会 | 1,190 | 1,793 | 91.7 | 41.9 | 8.3 | 40.4 | 150.1 | 2.18 | 46.3 | 1.13 |
| 2 | 熊本 | 1 | 熊本市果樹産地推進協議会 | 967 | 1,514 | 21.7 | 32.7 | 6.3 | 43.7 | 159.8 | 2.16 | 51.9 | 1.10 |
| 3 | 青森 | 2 | 鶴田町果樹産地協議会 | 995 | 937 | 37.0 | 44.1 | 3.1 | 46.6 | 94.4 | 2.09 | 53.1 | 0.97 |
| 4 | 愛媛 | 1 | 吉田町果樹産地協議会 | 953 | 1,674 | 96.5 | 25.9 | 7.6 | 19.7 | 174.2 | 2.34 | 54.1 | 0.87 |
| 5 | 和歌山 | 3 | JAみなべいなみ果樹産地協議会 | 1,960 | 2,295 | 77.7 | 37.8 | 0.8 | 32.2 | 117.2 | 2.16 | 57.4 | 0.79 |
| 6 | 青森 | 2 | 板柳町果樹産地推進協議会 | 1,341 | 1,257 | 53.2 | 39.0 | 3.4 | 43.6 | 93.5 | 2.03 | 52.1 | 0.78 |
| 7 | 熊本 | 1 | 鹿本地区果樹産地協議会 | 1,449 | 796 | 12.9 | 26.8 | 36.5 | 18.9 | 52.9 | 1.88 | 42.8 | 0.72 |
| 8 | 北海道 | 2 | 壮瞥町果樹振興協議会 | 42 | 95 | 10.1 | 14.3 | 2.8 | 15.3 | 224.0 | 2.29 | 55.7 | 0.65 |
| 9 | 青森 | 2 | JAつがる弘前地区果樹振興協議会 | 6,715 | 8,614 | 64.4 | 42.5 | 3.0 | 18.6 | 129.4 | 2.11 | 52.3 | 0.65 |
| 10 | 北海道 | 2 | 余市町果樹産地協議会 | 325 | 752 | 75.8 | 20.8 | 4.2 | 5.1 | 219.8 | 2.25 | 56.0 | 0.61 |
| 11 | 北海道 | 2 | 仁木町果樹産地振興協議会 | 239 | 477 | 38.0 | 16.3 | 2.0 | 10.4 | 217.8 | 2.22 | 57.4 | 0.55 |
| 12 | 和歌山 | 1 | ブランドありだ果樹産地協議会 | 3,533 | 3,947 | 88.7 | 34.1 | 2.9 | 25.6 | 111.1 | 2.12 | 52.3 | 0.54 |
| 13 | 佐賀 | 1 | 三神・佐賀地区果樹産地構造改革協議会 | 233 | 79 | 2.3 | 39.3 | 11.8 | 39.0 | 35.1 | 1.74 | 44.6 | 0.39 |
| 14 | 青森 | 2 | JA津軽みらい黒石地区果樹産地協議会 | 988 | 1,025 | 38.8 | 41.9 | 7.3 | 13.5 | 104.6 | 1.78 | 51.2 | 0.34 |
| 15 | 岩手 | 2 | 江刺果樹産地協議会 | 444 | 263 | 1.7 | 50.3 | 12.7 | 32.5 | 70.7 | 1.59 | 33.6 | 0.34 |
| 16 | 熊本 | 1 | 玉名地域果樹産地協議会 | 1,828 | 2,081 | 29.0 | 30.9 | 12.3 | 12.9 | 123.9 | 1.90 | 45.4 | 0.34 |
| 17 | 岩手 | 2 | 岩手中央果樹振興協議会 | 1,290 | 799 | 8.8 | 48.7 | 6.0 | 31.4 | 64.9 | 1.75 | 41.3 | 0.33 |
| 18 | 福岡 | 3 | JAいこ地域果樹産地協議会 | 1,589 | 1,354 | 17.9 | 37.9 | 1.8 | 31.1 | 83.1 | 1.85 | 50.5 | 0.33 |
| 19 | 青森 | 2 | JA津軽みらいみなみ地区果樹産地協議会 | 1,787 | 1,477 | 30.8 | 45.1 | 4.2 | 16.7 | 83.8 | 1.86 | 47.5 | 0.26 |
| 20 | 熊本 | 1 | 宇城地域果樹産地協議会 | 1,361 | 1,503 | 27.6 | 28.9 | 6.3 | 11.7 | 109.8 | 2.05 | 50.5 | 0.25 |
| 21 | 長崎 | 1 | 島原地域果樹産地協議会 | 906 | 432 | 5.1 | 41.7 | 1.8 | 10.9 | 49.9 | 2.05 | 56.9 | 0.22 |
| 22 | 山形 | 3 | 天童市果樹産地協議会 | 1,981 | 1,391 | 46.1 | 48.4 | 1.0 | 29.8 | 69.0 | 1.75 | 42.0 | 0.19 |
| 23 | 和歌山 | 3 | JA紀南果樹産地協議会 | 2,599 | 2,847 | 75.8 | 28.2 | 2.1 | 29.3 | 113.7 | 1.84 | 46.5 | 0.18 |
| 24 | 愛知 | 1 | 蒲郡かんきつ産地協議会 | 1,255 | 687 | 24.3 | 48.9 | 1.3 | 15.9 | 54.6 | 2.00 | 45.4 | 0.18 |
| 25 | 山形 | 3 | 東根市果樹産地協議会 | 1,943 | 1,457 | 51.5 | 51.7 | 0.8 | 21.5 | 72.5 | 1.83 | 40.2 | 0.15 |
| 26 | 佐賀 | 1 | JAさがみどり地区果樹産地協議会 | 1,983 | 2,100 | 49.3 | 39.5 | 6.7 | 10.3 | 110.6 | 1.75 | 42.3 | 0.07 |
| 27 | 岩手 | 3 | 新岩手果樹振興協議会 | 317 | 156 | 0.9 | 46.7 | 4.4 | 21.2 | 56.7 | 1.70 | 42.7 | 0.05 |
| 28 | 愛媛 | 1 | 八西地域農業振興協議会 | 2,893 | 3,888 | 97.5 | 21.5 | 0.9 | 11.8 | 134.8 | 2.02 | 49.5 | 0.02 |
| 29 | 福岡 | 3 | 朝倉地域果樹産地協議会 | 1,049 | 844 | 14.4 | 34.0 | 2.4 | 31.4 | 81.7 | 1.68 | 42.0 | 0.00 |
| 30 | 青森 | 2 | 青森市果樹産地協議会 | 974 | 956 | 19.0 | 39.6 | 3.4 | 11.8 | 99.0 | 1.79 | 42.6 | -0.01 |
| 31 | 長野 | 2 | JA中野市果樹産地構造改革協議会 | 1,397 | 992 | 57.8 | 34.6 | 0.8 | 13.0 | 70.0 | 2.10 | 44.7 | -0.02 |
| 32 | 岩手 | 2 | 北上地方農林業振興協議会 | 210 | 85 | 1.0 | 50.2 | 5.9 | 34.6 | 43.2 | 1.48 | 31.0 | -0.06 |
| 33 | 福岡 | 3 | 八女地域果樹産地協議会 | 3,185 | 3,302 | 51.8 | 27.9 | 2.0 | 9.4 | 88.8 | 2.01 | 48.5 | -0.07 |
| 34 | 宮崎 | 1 | 日南市『目指せ!力強いかんきつ産地づくり』協議会 | 564 | 586 | 31.3 | 23.1 | 11.5 | 12.9 | 106.4 | 1.73 | 39.8 | -0.11 |
| 35 | 和歌山 | 3 | JA紀の里産地協議会 | 2,804 | 2,090 | 57.9 | 35.5 | 2.9 | 10.2 | 75.1 | 1.83 | 44.1 | -0.16 |
| 36 | 静岡 | 1 | とびあ浜松農業協同組合果樹産地協議会 | 2,626 | 1,661 | 29.0 | 41.6 | 1.7 | 10.7 | 66.3 | 1.93 | 35.9 | -0.20 |
| 37 | 山梨 | 3 | JAふえふき果樹産地協議会 | 4,202 | 2,786 | 85.2 | 30.6 | 1.1 | 23.2 | 64.0 | 1.88 | 39.0 | -0.20 |
| 38 | 岩手 | 2 | 花巻市農業振興対策本部園芸振興部会 | 742 | 446 | 4.4 | 49.2 | 2.2 | 23.6 | 61.4 | 1.49 | 34.2 | -0.21 |
| 39 | 愛媛 | 1 | えひめ中央果樹産地協議会 | 2,213 | 1,449 | 41.4 | 28.1 | 21.6 | 8.2 | 69.8 | 1.56 | 30.7 | -0.24 |
| 40 | 長野 | 2 | JA須高果樹産地構造改革協議会 | 2,411 | 1,681 | 71.6 | 40.2 | 0.9 | 15.6 | 67.7 | 1.77 | 37.2 | -0.25 |
| 41 | 広島 | 1 | 尾道市瀬戸地域果樹振興対策会議 | 613 | 725 | 99.9 | 22.0 | 3.7 | 9.7 | 117.1 | 1.90 | 38.9 | -0.27 |
| 42 | 山形 | 3 | JAやまがた果樹産地協議会 | 2,655 | 1,344 | 19.2 | 47.6 | 0.3 | 13.5 | 49.6 | 1.73 | 36.0 | -0.29 |
| 43 | 山形 | 3 | さがえ西村山果樹産地協議会 | 2,654 | 1,586 | 53.5 | 39.2 | 1.9 | 15.5 | 57.7 | 1.77 | 36.3 | -0.30 |
| 44 | 愛媛 | 1 | 宇和島支部産地協議会 | 787 | 667 | 39.5 | 33.3 | 2.8 | 10.8 | 96.6 | 1.70 | 38.3 | -0.31 |
| 45 | 長野 | 3 | JAみなみ信州果樹産地協議会 | 4,368 | 1,980 | 41.3 | 46.8 | 1.0 | 11.0 | 49.5 | 1.79 | 33.3 | -0.34 |
| 46 | 山梨 | 3 | フルーツ山梨農協果樹産地構造改革計画産地協議会 | 4,371 | 2,820 | 95.8 | 30.7 | 0.7 | 17.0 | 61.8 | 1.83 | 39.1 | -0.35 |
| 47 | 長崎 | 1 | 長崎県中央地域果樹産地協議会 | 843 | 703 | 25.9 | 38.1 | 5.1 | 11.0 | 52.5 | 1.56 | 39.8 | -0.39 |
| 48 | 静岡 | 1 | JALみず柑橘産地構造改革協議会 | 1,510 | 1,339 | 81.3 | 29.1 | 0.8 | 4.5 | 66.1 | 1.92 | 41.2 | -0.45 |
| 49 | 長崎 | 1 | 長崎西彼地域果樹産地協議会 | 3,172 | 2,338 | 32.9 | 31.6 | 4.4 | 6.3 | 77.2 | 1.62 | 38.3 | -0.49 |
| 50 | 愛媛 | 1 | 松山市農協果樹産地協議会 | 2,843 | 2,687 | 60.4 | 24.0 | 0.0 | 7.4 | 96.1 | 1.78 | 38.2 | -0.55 |
| 51 | 山梨 | 3 | JAこま野果樹産地協議会 | 2,443 | 1,401 | 75.3 | 34.1 | 0.4 | 15.9 | 56.4 | 1.60 | 31.2 | -0.64 |
| 52 | 大分 | 1 | 東部果樹産地協議会 | 957 | 601 | 13.4 | 27.4 | 9.9 | 6.7 | 66.4 | 1.52 | 29.2 | -0.68 |
| 53 | 長野 | 2 | JAながの果樹産地構造改革協議会 | 2,639 | 1,370 | 33.3 | 35.3 | 1.7 | 6.6 | 52.3 | 1.72 | 29.8 | -0.68 |
| 54 | 長野 | 2 | JAグリーン長野果樹産地協議会 | 2,637 | 953 | 41.4 | 37.4 | 0.3 | 9.1 | 36.1 | 1.74 | 28.7 | -0.73 |
| 55 | 三重 | 1 | 三重南紀みかん産地再構築委員会 | 883 | 726 | 57.5 | 14.3 | 9.5 | 10.0 | 83.5 | 1.38 | 34.8 | -0.79 |
| 56 | 三重 | 1 | 南勢産地協議会 | 148 | 97 | 45.0 | 27.7 | 5.2 | 4.1 | 73.9 | 1.39 | 30.7 | -0.88 |
| 57 | 広島 | 1 | 呉地域果樹振興対策会議 | 330 | 169 | 70.2 | 20.8 | 7.1 | 3.8 | 50.8 | 1.59 | 23.5 | -1.04 |
| 58 | 広島 | 1 | 三原果樹振興対策会議 | 352 | 146 | 5.1 | 38.5 | 1.4 | 9.2 | 45.8 | 1.31 | 21.2 | -1.07 |
| 59 | 大分 | 1 | 県南果樹産地改革協議会 | 770 | 242 | 9.4 | 25.7 | 1.6 | 8.3 | 37.9 | 1.31 | 29.0 | -1.18 |
| 平均 | | | | 1,703 | 1,432 | 43.06 | 34.99 | 4.69 | 17.70 | 88.18 | 1.83 | 41.84 | |
| 標準偏差 | | | | 1,281 | 1,320 | 28.72 | 9.56 | 5.78 | 11.05 | 43.37 | 0.24 | 8.82 | |

表2 産地の将来性（全産地（59産地）の順位：基準化による得点平均値順）

| 順位 | 都道府県名 | 品目 | 産地協議会名 | 産地の基本指標 | | | 2.産地の将来性指標(基準化) | | | | | | |
|------|-------|----|---------------------------|-----------|-------|--------------------|-----------------|--------------|----------------------|--------------------------|--------------|-----------------|-------------|
| | | | | 樹園地のある農家数 | 樹園地面積 | 樹園地率(樹園地面積/経営耕地面積) | 1後継者(同居)の居る農家率 | 2改植事業の実績面積割合 | 3耕作放棄地面積割合(販売農家)(逆数) | 4果樹栽培農家1戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 51戸当たり農業就業人口 | 6農業就業人口の65歳未満割合 | 基準化による得点平均値 |
| | | | | 戸 | ha | % | % | % | % | % | % | % | |
| 1 | 静岡 | 1 | 三ヶ日町柑橘産地協議会 | 1,190 | 1,793 | 91.7 | 0.72 | 0.62 | 2.06 | 1.43 | 1.45 | 0.51 | 1.13 |
| 2 | 熊本 | 1 | 熊本市果樹産地推進協議会 | 967 | 1,514 | 21.7 | -0.24 | 0.29 | 2.36 | 1.65 | 1.40 | 1.15 | 1.10 |
| 3 | 青森 | 2 | 鶴田町果樹産地協議会 | 995 | 937 | 37.0 | 0.95 | -0.27 | 2.63 | 0.14 | 1.08 | 1.28 | 0.97 |
| 4 | 愛媛 | 1 | 吉田町果樹産地協議会 | 953 | 1,674 | 96.5 | -0.95 | 0.50 | 0.18 | 1.98 | 2.14 | 1.39 | 0.87 |
| 5 | 和歌山 | 3 | JAみなべいなみ果樹産地協議会 | 1,960 | 2,295 | 77.7 | 0.29 | -0.67 | 1.32 | 0.67 | 1.37 | 1.78 | 0.79 |
| 6 | 青森 | 2 | 板柳町果樹産地推進協議会 | 1,341 | 1,257 | 53.2 | 0.42 | -0.23 | 2.35 | 0.12 | 0.85 | 1.17 | 0.78 |
| 7 | 熊本 | 1 | 鹿本地域果樹産地協議会 | 1,449 | 796 | 12.9 | -0.85 | 5.51 | 0.11 | -0.81 | 0.22 | 0.11 | 0.72 |
| 8 | 北海道 | 2 | 壮瞥町果樹振興協議会 | 42 | 95 | 10.1 | -2.16 | -0.32 | -0.22 | 3.13 | 1.90 | 1.57 | 0.65 |
| 9 | 青森 | 2 | JAつがる弘前地区果樹振興協議会 | 6,715 | 8,614 | 64.4 | 0.78 | -0.29 | 0.09 | 0.95 | 1.18 | 1.19 | 0.65 |
| 10 | 北海道 | 2 | 余市町果樹産地協議会 | 325 | 752 | 75.8 | -1.48 | -0.09 | -1.15 | 3.03 | 1.73 | 1.61 | 0.61 |
| 11 | 北海道 | 2 | 仁木町果樹産地振興協議会 | 239 | 477 | 38.0 | -1.94 | -0.46 | -0.66 | 2.99 | 1.62 | 1.78 | 0.55 |
| 12 | 和歌山 | 1 | ブランドありだ果樹産地協議会 | 3,533 | 3,947 | 88.7 | -0.09 | -0.30 | 0.72 | 0.53 | 1.22 | 1.19 | 0.54 |
| 13 | 佐賀 | 1 | 三神・佐賀地区果樹産地構造改革協議会 | 233 | 79 | 2.3 | 0.45 | 1.23 | 1.94 | -1.22 | -0.36 | 0.32 | 0.39 |
| 14 | 青森 | 2 | JA津軽みらい黒石地区果樹産地協議会 | 988 | 1,025 | 38.8 | 0.71 | 0.46 | -0.39 | 0.38 | -0.18 | 1.07 | 0.34 |
| 15 | 岩手 | 2 | 江刺果樹産地協議会 | 444 | 263 | 1.7 | 1.60 | 1.39 | 1.35 | -0.40 | -0.97 | -0.93 | 0.34 |
| 16 | 熊本 | 1 | 玉名地域果樹産地協議会 | 1,828 | 2,081 | 29.0 | -0.43 | 1.32 | -0.44 | 0.82 | 0.33 | 0.40 | 0.34 |
| 17 | 岩手 | 2 | 岩手中央果樹振興協議会 | 1,290 | 799 | 8.8 | 1.42 | 0.23 | 1.25 | -0.54 | -0.30 | -0.05 | 0.33 |
| 18 | 福岡 | 3 | JAにじ地域果樹産地協議会 | 1,589 | 1,354 | 17.9 | 0.30 | -0.49 | 1.22 | -0.12 | 0.09 | 0.99 | 0.33 |
| 19 | 青森 | 2 | JA津軽みらいみなみ地区果樹産地協議会 | 1,787 | 1,477 | 30.8 | 1.06 | -0.08 | -0.09 | -0.10 | 0.14 | 0.65 | 0.26 |
| 20 | 熊本 | 1 | 宇城地域果樹産地協議会 | 1,361 | 1,503 | 27.6 | -0.63 | 0.28 | -0.54 | 0.50 | 0.91 | 0.99 | 0.25 |
| 21 | 長崎 | 1 | 島原地域果樹産地協議会 | 906 | 432 | 5.1 | 0.69 | -0.49 | -0.61 | -0.88 | 0.93 | 1.71 | 0.22 |
| 22 | 山形 | 3 | 天童市果樹産地協議会 | 1,981 | 1,391 | 46.1 | 1.40 | -0.64 | 1.10 | -0.44 | -0.31 | 0.03 | 0.19 |
| 23 | 和歌山 | 3 | JA紀南果樹産地協議会 | 2,599 | 2,847 | 75.8 | -0.71 | -0.45 | 1.05 | 0.59 | 0.08 | 0.53 | 0.18 |
| 24 | 愛知 | 1 | 蒲郡かんきつ産地協議会 | 1,255 | 687 | 24.3 | 1.45 | -0.59 | -0.17 | -0.78 | 0.73 | 0.40 | 0.18 |
| 25 | 山形 | 3 | 東根市果樹産地協議会 | 1,943 | 1,457 | 51.5 | 1.74 | -0.67 | 0.35 | -0.36 | 0.02 | -0.18 | 0.15 |
| 26 | 佐賀 | 1 | JAさがみどり地区果樹産地協議会 | 1,983 | 2,100 | 49.3 | 0.47 | 0.34 | -0.67 | 0.52 | -0.31 | 0.06 | 0.07 |
| 27 | 岩手 | 3 | 新岩手果樹振興協議会 | 317 | 156 | 0.9 | 1.22 | -0.06 | 0.31 | -0.73 | -0.52 | 0.10 | 0.05 |
| 28 | 愛媛 | 1 | 八西地域農業振興協議会 | 2,893 | 3,888 | 97.5 | -1.40 | -0.66 | -0.54 | 1.07 | 0.80 | 0.87 | 0.02 |
| 29 | 福岡 | 3 | 朝倉地域果樹産地協議会 | 1,049 | 844 | 14.4 | -0.11 | -0.40 | 1.25 | -0.15 | -0.61 | 0.02 | 0.00 |
| 30 | 青森 | 2 | 青森市果樹産地協議会 | 974 | 956 | 19.0 | 0.48 | -0.23 | -0.54 | 0.25 | -0.14 | 0.09 | -0.01 |
| 31 | 長野 | 2 | JA中野市果樹産地構造改革協議会 | 1,397 | 992 | 57.8 | -0.04 | -0.67 | -0.43 | -0.42 | 1.12 | 0.33 | -0.02 |
| 32 | 岩手 | 2 | 北上地方農林業振興協議会 | 210 | 85 | 1.0 | 1.58 | 0.21 | 1.54 | -1.04 | -1.42 | -1.23 | -0.06 |
| 33 | 福岡 | 3 | 八女地域果樹産地協議会 | 3,185 | 3,302 | 51.8 | -0.74 | -0.47 | -0.75 | 0.01 | 0.75 | 0.76 | -0.07 |
| 34 | 宮崎 | 1 | 日南市『目指せ!!力強いかんきつ産地づくり』協議会 | 564 | 586 | 31.3 | -1.24 | 1.18 | -0.44 | 0.42 | -0.38 | -0.22 | -0.11 |
| 35 | 和歌山 | 3 | JA紀の里産地協議会 | 2,804 | 2,090 | 57.9 | 0.05 | -0.31 | -0.68 | -0.30 | 0.00 | 0.26 | -0.16 |
| 36 | 静岡 | 1 | とびあ浜松農業協同組合果樹産地協議会 | 2,626 | 1,661 | 29.0 | 0.69 | -0.52 | -0.63 | -0.51 | 0.42 | -0.67 | -0.20 |
| 37 | 山梨 | 3 | JAふえふき果樹産地協議会 | 4,202 | 2,786 | 85.2 | -0.46 | -0.62 | 0.50 | -0.56 | 0.24 | -0.32 | -0.20 |
| 38 | 岩手 | 2 | 花巻市農業振興対策本部園芸振興部会 | 742 | 446 | 4.4 | 1.48 | -0.42 | 0.54 | -0.62 | -1.39 | -0.87 | -0.21 |
| 39 | 愛媛 | 1 | えひめ中央果樹産地協議会 | 2,213 | 1,449 | 41.4 | -0.72 | 2.92 | -0.86 | -0.42 | -1.08 | -1.26 | -0.24 |
| 40 | 長野 | 2 | JA須高果樹産地構造改革協議会 | 2,411 | 1,681 | 71.6 | 0.54 | -0.66 | -0.19 | -0.47 | -0.21 | -0.53 | -0.25 |
| 41 | 広島 | 1 | 尾道市瀬戸田地域果樹振興対策会議 | 613 | 725 | 99.9 | -1.36 | -0.17 | -0.73 | 0.67 | 0.32 | -0.33 | -0.27 |
| 42 | 山形 | 3 | JAやまがた果樹産地協議会 | 2,655 | 1,344 | 19.2 | 1.31 | -0.76 | -0.39 | -0.89 | -0.38 | -0.66 | -0.29 |
| 43 | 山形 | 3 | さがえ西村山果樹産地協議会 | 2,654 | 1,586 | 53.5 | 0.44 | -0.48 | -0.20 | -0.70 | -0.24 | -0.63 | -0.30 |
| 44 | 愛媛 | 1 | 宇和島支産地協議会 | 787 | 667 | 39.5 | -0.18 | -0.32 | -0.63 | 0.19 | -0.53 | -0.40 | -0.31 |
| 45 | 長野 | 3 | JAみなみ信州果樹産地協議会 | 4,368 | 1,980 | 41.3 | 1.23 | -0.64 | -0.61 | -0.89 | -0.15 | -0.97 | -0.34 |
| 46 | 山梨 | 3 | フルーツ山梨農協果樹産地構造改革計画産地協議会 | 4,371 | 2,820 | 95.8 | -0.45 | -0.69 | -0.07 | -0.61 | 0.03 | -0.30 | -0.35 |
| 47 | 長崎 | 1 | 長崎県中央地域果樹産地協議会 | 843 | 703 | 25.9 | 0.32 | 0.08 | -0.61 | -0.82 | -1.09 | -0.22 | -0.39 |
| 48 | 静岡 | 1 | JALみず柑橘産地構造改革協議会 | 1,510 | 1,339 | 81.3 | -0.62 | -0.67 | -1.20 | -0.51 | 0.37 | -0.07 | -0.45 |
| 49 | 長崎 | 1 | 長崎西彼地域果樹産地協議会 | 3,172 | 2,338 | 32.9 | -0.36 | -0.05 | -1.04 | -0.25 | -0.85 | -0.39 | -0.49 |
| 50 | 愛媛 | 1 | 松山市農協果樹産地協議会 | 2,843 | 2,687 | 60.4 | -1.14 | -0.80 | -0.94 | 0.18 | -0.20 | -0.41 | -0.55 |
| 51 | 山梨 | 3 | JAこま野果樹産地協議会 | 2,443 | 1,401 | 75.3 | -0.09 | -0.75 | -0.17 | -0.73 | -0.91 | -1.20 | -0.64 |
| 52 | 大分 | 1 | 東部果樹産地協議会 | 957 | 601 | 13.4 | -0.79 | 0.90 | -1.00 | -0.50 | -1.26 | -1.43 | -0.68 |
| 53 | 長野 | 2 | JAながの果樹産地構造改革協議会 | 2,639 | 1,370 | 33.3 | 0.03 | -0.52 | -1.01 | -0.83 | -0.41 | -1.37 | -0.68 |
| 54 | 長野 | 2 | JAグリーン長野果樹産地協議会 | 2,637 | 953 | 41.4 | 0.25 | -0.77 | -0.78 | -1.20 | -0.36 | -1.49 | -0.73 |
| 55 | 三重 | 1 | 三重南紀みかん産地再構築委員会 | 883 | 726 | 57.5 | -2.16 | 0.83 | -0.70 | -0.11 | -1.82 | -0.79 | -0.79 |
| 56 | 三重 | 1 | 南勢産地協議会 | 148 | 97 | 45.0 | -0.76 | 0.08 | -1.24 | -0.33 | -1.80 | -1.26 | -0.88 |
| 57 | 広島 | 1 | 呉地域果樹振興対策会議 | 330 | 169 | 70.2 | -1.47 | 0.41 | -1.27 | -0.86 | -0.95 | -2.08 | -1.04 |
| 58 | 広島 | 1 | 三原果樹振興対策会議 | 352 | 146 | 5.1 | 0.36 | -0.56 | -0.78 | -0.98 | -2.12 | -2.34 | -1.07 |
| 59 | 大分 | 1 | 県南果樹産地改革協議会 | 770 | 242 | 9.4 | -0.96 | -0.54 | -0.86 | -1.16 | -2.12 | -1.45 | -1.18 |
| 平均 | | | | 1,703 | 1,432 | 43.06 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 標準偏差 | | | | 1,281 | 1,320 | 28.72 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |

図1 産地の将来性（全産地（59産地）の順位：基準化による得点平均値順）



(2) かんきつ産地協議会

かんきつ産地協議会(27)について、6指標の得点平均値をみると、上位10県は総じて九州が多く、熊本4、静岡、愛知、和歌山、愛媛、佐賀、長崎が各1となっている。

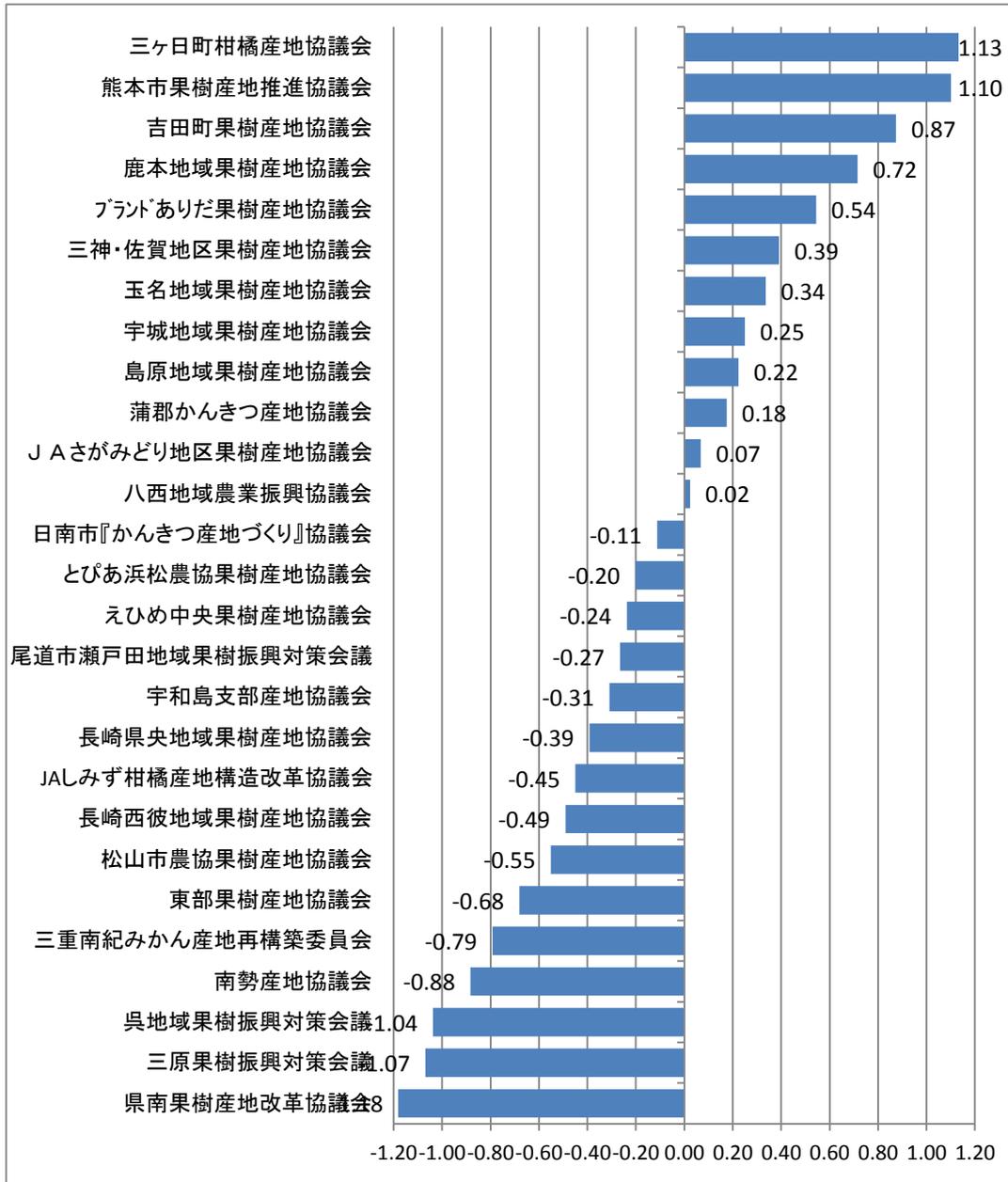
なお、一般に優良産地と言われている「ブランドありだ果樹産地協議会」は5番目であるが、これは「農業就業人口の65歳未満の割合」は52.3%と3番目に高かったが、「後継者の居る農家率」が34.1%と上位の中ではやや低い(11番目)こと、改植事業の実績面積割合(2.9%)が低いことなどによる。

また、下位にランクされた産地は、「果樹栽培農家1戸当たり果樹栽培面積(販売農家)」、「1戸当たり農業就業人口」が少なく、「農業就業人口の65歳未満割合」が低いなど農業就業者の高齢化が進行し、後継者の居る農家率も2,3割程度と低いことなどによる。

表3 産地の将来性(かんきつ類産地(27産地)の順位:実数、得点平均値順)

| 順位 | 都道府県名 | 品目コード | 産地協議会名 | 産地の基本指標 | | | 1.産地の将来性指標(実数) | | | | | | 基準化による得点平均値 |
|----|-------|-------|---------------------------|-----------|-------|--------------------|-----------------|---------------|-----------------------|---------------------------|---------------|------------------|-------------|
| | | | | 樹園地のある農家数 | 樹園地面積 | 樹園地率(樹園地面積/経営耕地面積) | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.改植事業の実績面積割合 | 3.耕作放棄地面積割合(販売農家)(逆数) | 4.果樹栽培農家1戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口の65歳未満割合 | |
| | | | | 戸 | ha | % | % | % | % | 人 | % | % | |
| 1 | 静岡 | 1 | 三ヶ日町柑橘産地協議会 | 1,190 | 1,793 | 91.7 | 41.9 | 8.3 | 40.4 | 150.1 | 2.18 | 46.3 | 1.13 |
| 2 | 熊本 | 1 | 熊本市果樹産地推進協議会 | 967 | 1,514 | 21.7 | 32.7 | 6.3 | 43.7 | 159.8 | 2.16 | 51.9 | 1.10 |
| 4 | 愛媛 | 1 | 吉田町果樹産地協議会 | 953 | 1,674 | 96.5 | 25.9 | 7.6 | 19.7 | 174.2 | 2.34 | 54.1 | 0.87 |
| 7 | 熊本 | 1 | 鹿本地域果樹産地協議会 | 1,449 | 796 | 12.9 | 26.8 | 36.5 | 18.9 | 52.9 | 1.88 | 42.8 | 0.72 |
| 12 | 和歌山 | 1 | ブランドありだ果樹産地協議会 | 3,533 | 3,947 | 88.7 | 34.1 | 2.9 | 25.6 | 111.1 | 2.12 | 52.3 | 0.54 |
| 13 | 佐賀 | 1 | 三神・佐賀地区果樹産地構造改革協議会 | 233 | 79 | 2.3 | 39.3 | 11.8 | 39.0 | 35.1 | 1.74 | 44.6 | 0.39 |
| 16 | 熊本 | 1 | 玉名地域果樹産地協議会 | 1,828 | 2,081 | 29.0 | 30.9 | 12.3 | 12.9 | 123.9 | 1.90 | 45.4 | 0.34 |
| 20 | 熊本 | 1 | 宇城地域果樹産地協議会 | 1,361 | 1,503 | 27.6 | 28.9 | 6.3 | 11.7 | 109.8 | 2.05 | 50.5 | 0.25 |
| 21 | 長崎 | 1 | 島原地域果樹産地協議会 | 906 | 432 | 5.1 | 41.7 | 1.8 | 10.9 | 49.9 | 2.05 | 56.9 | 0.22 |
| 24 | 愛知 | 1 | 蒲郡かんきつ産地協議会 | 1,255 | 687 | 24.3 | 48.9 | 1.3 | 15.9 | 54.6 | 2.00 | 45.4 | 0.18 |
| 26 | 佐賀 | 1 | JAさがみどり地区果樹産地協議会 | 1,983 | 2,100 | 49.3 | 39.5 | 6.7 | 10.3 | 110.6 | 1.75 | 42.3 | 0.07 |
| 28 | 愛媛 | 1 | 八西地域農業振興協議会 | 2,893 | 3,888 | 97.5 | 21.5 | 0.9 | 11.8 | 134.8 | 2.02 | 49.5 | 0.02 |
| 34 | 宮崎 | 1 | 日南市『目指せ!!力強いかんきつ産地づくり』協議会 | 564 | 586 | 31.3 | 23.1 | 11.5 | 12.9 | 106.4 | 1.73 | 39.8 | -0.11 |
| 36 | 静岡 | 1 | とびあ浜松農業協同組合果樹産地協議会 | 2,626 | 1,661 | 29.0 | 41.6 | 1.7 | 10.7 | 66.3 | 1.93 | 35.9 | -0.20 |
| 39 | 愛媛 | 1 | えひめ中央果樹産地協議会 | 2,213 | 1,449 | 41.4 | 28.1 | 21.6 | 8.2 | 69.8 | 1.56 | 30.7 | -0.24 |
| 41 | 広島 | 1 | 尾道市瀬戸田地域果樹振興対策会議 | 613 | 725 | 99.9 | 22.0 | 3.7 | 9.7 | 117.1 | 1.90 | 38.9 | -0.27 |
| 44 | 愛媛 | 1 | 宇和島支部産地協議会 | 787 | 667 | 39.5 | 33.3 | 2.8 | 10.8 | 96.6 | 1.70 | 38.3 | -0.31 |
| 47 | 長崎 | 1 | 長崎県央地域果樹産地協議会 | 843 | 703 | 25.9 | 38.1 | 5.1 | 11.0 | 52.5 | 1.56 | 39.8 | -0.39 |
| 48 | 静岡 | 1 | JALみず柑橘産地構造改革協議会 | 1,510 | 1,339 | 81.3 | 29.1 | 0.8 | 4.5 | 66.1 | 1.92 | 41.2 | -0.45 |
| 49 | 長崎 | 1 | 長崎西彼地域果樹産地協議会 | 3,172 | 2,338 | 32.9 | 31.6 | 4.4 | 6.3 | 77.2 | 1.62 | 38.3 | -0.49 |
| 50 | 愛媛 | 1 | 松山市農協果樹産地協議会 | 2,843 | 2,687 | 60.4 | 24.0 | 0.0 | 7.4 | 96.1 | 1.78 | 38.2 | -0.55 |
| 52 | 大分 | 1 | 東部果樹産地協議会 | 957 | 601 | 13.4 | 27.4 | 9.9 | 6.7 | 66.4 | 1.52 | 29.2 | -0.68 |
| 55 | 三重 | 1 | 三重南紀みかん産地再構築委員会 | 883 | 726 | 57.5 | 14.3 | 9.5 | 10.0 | 83.5 | 1.38 | 34.8 | -0.79 |
| 56 | 三重 | 1 | 南勢産地協議会 | 148 | 97 | 45.0 | 27.7 | 5.2 | 4.1 | 73.9 | 1.39 | 30.7 | -0.88 |
| 57 | 広島 | 1 | 呉地域果樹振興対策会議 | 330 | 169 | 70.2 | 20.8 | 7.1 | 3.8 | 50.8 | 1.59 | 23.5 | -1.04 |
| 58 | 広島 | 1 | 三原果樹振興対策会議 | 352 | 146 | 5.1 | 38.5 | 1.4 | 9.2 | 45.8 | 1.31 | 21.2 | -1.07 |
| 59 | 大分 | 1 | 県南果樹産地改革協議会 | 770 | 242 | 9.4 | 25.7 | 1.6 | 8.3 | 37.9 | 1.31 | 29.0 | -1.18 |

図2 産地の将来性（かんきつ類産地（27産地）の順位：基準化による得点平均値順）



(3) りんご産地協議会

りんご産地協議会（17）について、6 指標の総得点でみると、上位の産地は総じて北海道、青森が多く、項目では「1戸当たり農業就業人口」及び「農業就業人口の65歳未満の割合」が比較的高い。

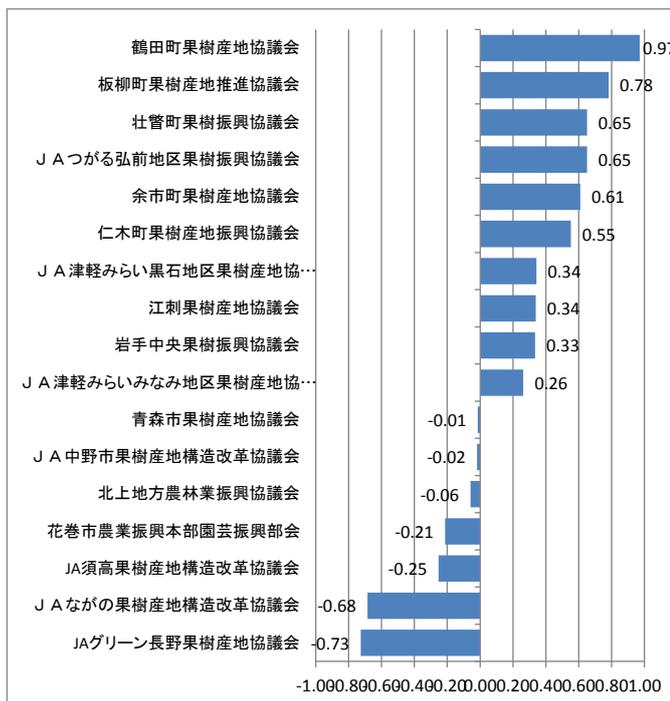
一方、下位にランクされた産地は、多くが岩手、長野の産地で、「後継者の居る農家率」は比較的高いものの、農業就業者の高齢化が進行していることなどによる。

なお、北海道の3協議会はいずれも「農業就業人口の65歳未満の割合」は最も多いにも係わらず、「果樹栽培農家1戸当たり果樹栽培面積」、「1戸当たり農業就業人口」が少なく、「後継者の居る農家率」が2割ないしそれ以下と低いのが特徴である。

表4 産地の将来性（りんご産地協議会（17産地）の順位：実数、得点平均値）

| 順位 | 都道府県名 | 品目コード | 産地協議会名 | 産地の基本指標 | | | 1.産地の将来性指標(実数) | | | | | | 基準化による得点平均値 |
|----|-------|-------|---------------------|-----------|-------|--------------------|----------------|--------------|----------------------|--------------------------|---------------|------------------|-------------|
| | | | | 樹園地のある農家数 | 樹園地面積 | 樹園地率(樹園地面積/経営耕地面積) | 1後継者(同居)の居る農家率 | 2改植事業の実績面積割合 | 3耕作放棄地面積割合(販売農家)(逆数) | 4果樹栽培農家1戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口の65歳未満割合 | |
| | | | | 戸 | ha | % | % | % | % | a | 人 | % | % |
| 3 | 青森 | 2 | 鶴田町果樹産地協議会 | 995 | 937 | 37.0 | 44.1 | 3.1 | 46.6 | 94.4 | 2.09 | 53.1 | 0.97 |
| 6 | 青森 | 2 | 板柳町果樹産地推進協議会 | 1,341 | 1,257 | 53.2 | 39.0 | 3.4 | 43.6 | 93.5 | 2.03 | 52.1 | 0.78 |
| 8 | 北海道 | 2 | 壮瞥町果樹振興協議会 | 42 | 95 | 10.1 | 14.3 | 2.8 | 15.3 | 224.0 | 2.29 | 55.7 | 0.65 |
| 9 | 青森 | 2 | JAつがる弘前地区果樹振興協議会 | 6,715 | 8,614 | 64.4 | 42.5 | 3.0 | 18.6 | 129.4 | 2.11 | 52.3 | 0.65 |
| 10 | 北海道 | 2 | 余市町果樹産地協議会 | 325 | 752 | 75.8 | 20.8 | 4.2 | 5.1 | 219.8 | 2.25 | 56.0 | 0.61 |
| 11 | 北海道 | 2 | 仁木町果樹産地振興協議会 | 239 | 477 | 38.0 | 16.3 | 2.0 | 10.4 | 217.8 | 2.22 | 57.4 | 0.55 |
| 14 | 青森 | 2 | JA津軽みらい黒石地区果樹産地協議会 | 988 | 1,025 | 38.8 | 41.9 | 7.3 | 13.5 | 104.6 | 1.78 | 51.2 | 0.34 |
| 15 | 岩手 | 2 | 江刺果樹産地協議会 | 444 | 263 | 1.7 | 50.3 | 12.7 | 32.5 | 70.7 | 1.59 | 33.6 | 0.34 |
| 17 | 岩手 | 2 | 岩手中央果樹振興協議会 | 1,290 | 799 | 8.8 | 48.7 | 6.0 | 31.4 | 64.9 | 1.75 | 41.3 | 0.33 |
| 19 | 青森 | 2 | JA津軽みらいみなみ地区果樹産地協議会 | 1,787 | 1,477 | 30.8 | 45.1 | 4.2 | 16.7 | 83.8 | 1.86 | 47.5 | 0.26 |
| 30 | 青森 | 2 | 青森市果樹産地協議会 | 974 | 956 | 19.0 | 39.6 | 3.4 | 11.8 | 99.0 | 1.79 | 42.6 | -0.01 |
| 31 | 長野 | 2 | JA中野市果樹産地構造改革協議会 | 1,397 | 992 | 57.8 | 34.6 | 0.8 | 13.0 | 70.0 | 2.10 | 44.7 | -0.02 |
| 32 | 岩手 | 2 | 北上地方農林業振興協議会 | 210 | 85 | 1.0 | 50.2 | 5.9 | 34.6 | 43.2 | 1.48 | 31.0 | -0.06 |
| 38 | 岩手 | 2 | 花巻市農業振興対策本部園芸振興部会 | 742 | 446 | 4.4 | 49.2 | 2.2 | 23.6 | 61.4 | 1.49 | 34.2 | -0.21 |
| 40 | 長野 | 2 | JA須高果樹産地構造改革協議会 | 2,411 | 1,681 | 71.6 | 40.2 | 0.9 | 15.6 | 67.7 | 1.77 | 37.2 | -0.25 |
| 53 | 長野 | 2 | JANAがの果樹産地構造改革協議会 | 2,639 | 1,370 | 33.3 | 35.3 | 1.7 | 6.6 | 52.3 | 1.72 | 29.8 | -0.68 |
| 54 | 長野 | 2 | JAグリーン長野果樹産地協議会 | 2,637 | 953 | 41.4 | 37.4 | 0.3 | 9.1 | 36.1 | 1.74 | 28.7 | -0.73 |

図3 産地の将来性（りんご産地（17産地）の順位：基準化による得点平均値）



(4) 落葉果樹産地協議会

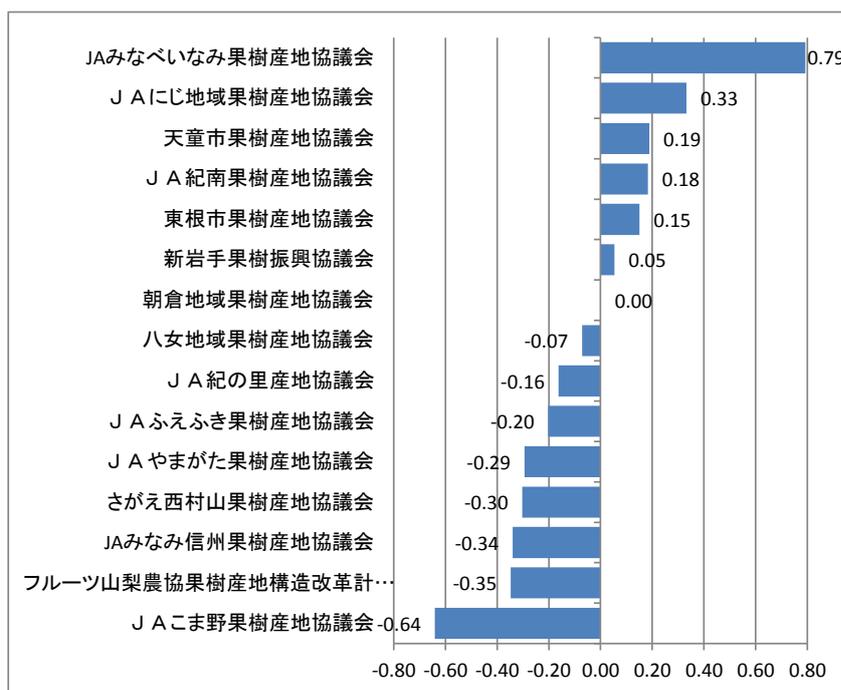
落葉果樹産地協議会（15）について、7 指標でみると、「JA みなべいなみ果樹産地協議会」が他産地より高いが、これは「果樹栽培農家 1 戸当たり果樹栽培面積」、「1 戸当たり農業就業人口」が最も多く、「農業就業人口の 65 歳未満の割合」で 6 割弱と最も高いことなどによる。

一方、下位にランクされた産地は、山形や山梨が多いが、これらの産地は他の産地に比べて「果樹栽培農家 1 戸当たり果樹栽培面積」が小さく、農業就業者の高齢化が進行していることなどによる。

表 5 産地の将来性（落葉果樹産地協議会（15 産地）の順位：実数、得点平均値）

| 順位 | 都道府県名 | 品目コード | 産地協議会名 | 産地の基本指標 | | | 1.産地の将来性指標(実数) | | | | | | 基準化による得点平均値 |
|----|-------|-------|-------------------------|-----------|-------|--------------------|-----------------|---------------|-----------------------|---------------------------|---------------|------------------|-------------|
| | | | | 樹園地のある農家数 | 樹園地面積 | 樹園地率(樹園地面積/経営耕地面積) | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.改植事業の実績面積割合 | 3.耕作放棄地面積割合(販売農家)(逆数) | 4.果樹栽培農家1戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口の65歳未満割合 | |
| | | | | 戸 | ha | % | % | % | % | a | 人 | % | % |
| 5 | 和歌山 | 3 | JAみなべいなみ果樹産地協議会 | 1,960 | 2,295 | 77.7 | 37.8 | 0.8 | 32.2 | 117.2 | 2.16 | 57.4 | 0.79 |
| 18 | 福岡 | 3 | JAにじ地域果樹産地協議会 | 1,589 | 1,354 | 17.9 | 37.9 | 1.8 | 31.1 | 83.1 | 1.85 | 50.5 | 0.33 |
| 22 | 山形 | 3 | 天童市果樹産地協議会 | 1,981 | 1,391 | 46.1 | 48.4 | 1.0 | 29.8 | 69.0 | 1.75 | 42.0 | 0.19 |
| 23 | 和歌山 | 3 | JA紀南果樹産地協議会 | 2,599 | 2,847 | 75.8 | 28.2 | 2.1 | 29.3 | 113.7 | 1.84 | 46.5 | 0.18 |
| 25 | 山形 | 3 | 東根市果樹産地協議会 | 1,943 | 1,457 | 51.5 | 51.7 | 0.8 | 21.5 | 72.5 | 1.83 | 40.2 | 0.15 |
| 27 | 岩手 | 3 | 新岩手果樹振興協議会 | 317 | 156 | 0.9 | 46.7 | 4.4 | 21.2 | 56.7 | 1.70 | 42.7 | 0.05 |
| 29 | 福岡 | 3 | 朝倉地域果樹産地協議会 | 1,049 | 844 | 14.4 | 34.0 | 2.4 | 31.4 | 81.7 | 1.68 | 42.0 | 0.00 |
| 33 | 福岡 | 3 | 八女地域果樹産地協議会 | 3,185 | 3,302 | 51.8 | 27.9 | 2.0 | 9.4 | 88.8 | 2.01 | 48.5 | -0.07 |
| 35 | 和歌山 | 3 | JA紀の里産地協議会 | 2,804 | 2,090 | 57.9 | 35.5 | 2.9 | 10.2 | 75.1 | 1.83 | 44.1 | -0.16 |
| 37 | 山梨 | 3 | JAふえふき果樹産地協議会 | 4,202 | 2,786 | 85.2 | 30.6 | 1.1 | 23.2 | 64.0 | 1.88 | 39.0 | -0.20 |
| 42 | 山形 | 3 | JAやまがた果樹産地協議会 | 2,655 | 1,344 | 19.2 | 47.6 | 0.3 | 13.5 | 49.6 | 1.73 | 36.0 | -0.29 |
| 43 | 山形 | 3 | さがえ西村山果樹産地協議会 | 2,654 | 1,586 | 53.5 | 39.2 | 1.9 | 15.5 | 57.7 | 1.77 | 36.3 | -0.30 |
| 45 | 長野 | 3 | JAみなみ信州果樹産地協議会 | 4,368 | 1,980 | 41.3 | 46.8 | 1.0 | 11.0 | 49.5 | 1.79 | 33.3 | -0.34 |
| 46 | 山梨 | 3 | フルーツ山梨農協果樹産地構造改革計画産地協議会 | 4,371 | 2,820 | 95.8 | 30.7 | 0.7 | 17.0 | 61.8 | 1.83 | 39.1 | -0.35 |
| 51 | 山梨 | 3 | JAこま野果樹産地協議会 | 2,443 | 1,401 | 75.3 | 34.1 | 0.4 | 15.9 | 56.4 | 1.60 | 31.2 | -0.64 |

図 4 産地の将来性（落葉果樹産地（15 産地）の順位：基準化による得点平均値）



(5) まとめ

果樹産地の発展要因解析(産地の将来性分析)では、産地として将来用いることのできる資源がいかに確保されているかという観点から、果樹生産力構造指標の中から指標を選択し、総合点数化して将来性として評価した。

その結果、樹種別、ABCD 類型別、都道府県別にみると以下の通りであった。

1) 樹種別

樹種別の総合点（基準化による得点平均値）では、りんご産地が最も高く、つづいて落葉果樹産地、かんきつ類産地の順となっている。

りんご産地が高いのは、規模、労働力で経営資源が確保されていることが評価されるからである。これに対してかんきつ類産地では労働が確保されていないことがマイナス評価に響いた。落葉果樹については、規模が小さいこと、改植などの動きが弱いことがマイナス点となった。

表 6 樹種別にみた産地の将来性指標の得点

| 樹種別 | 産地の将来性指標 | | | | | | 基準化による得点平均値 |
|-------|-----------------|---------------|-----------------------|---------------------------|---------------|------------------|-------------|
| | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.改植事業の実績面積割合 | 3.耕作放棄地面積割合(販売農家)(逆数) | 4.果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口の65歳未満割合 | |
| | % | % | % | % | % | % | % |
| かんきつ類 | -0.41 | 0.40 | -0.32 | -0.01 | -0.13 | -0.16 | -0.10 |
| りんご | 0.33 | -0.16 | 0.25 | 0.32 | 0.25 | 0.25 | 0.21 |
| 落葉果樹 | 0.36 | -0.54 | 0.28 | -0.35 | -0.04 | 0.01 | -0.04 |

2) ABCD 類型別

ABCD 類型別の総合点（基準化による得点平均値）では、A 類型の産地の得点が最も高く、つづいて第 2 位が B 類型、第 3 位が C 類型、D 類型産地の順となっている。

規模、労働力の指標もそれぞれ同様の順序、符号となっており、B 類型と C 類型の間に将来性の分岐があるようである。ただし、D 類型産地で改植事業の実績面積が高いことは注目される。

表 7 ABCD 類型別にみた産地の将来性指標の得点

| ABCD 類型別 | 産地の将来性指標 | | | | | | 基準化による得点平均値 |
|----------|-----------------|---------------|-----------------------|---------------------------|---------------|------------------|-------------|
| | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.改植事業の実績面積割合 | 3.耕作放棄地面積割合(販売農家)(逆数) | 4.果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口の65歳未満割合 | |
| | % | % | % | % | % | % | % |
| A | 0.50 | -0.02 | 1.69 | 1.05 | 1.41 | 1.14 | 0.96 |
| B | 0.08 | -0.16 | 0.39 | 0.26 | 0.46 | 0.43 | 0.24 |
| C | 0.25 | -0.25 | -0.11 | -0.03 | -0.11 | -0.08 | -0.06 |
| D | -0.46 | 0.52 | -0.65 | -0.48 | -0.72 | -0.65 | -0.41 |

3) 都道府県別

都道府県別の総合点（基準化による得点平均値）では、北海道及び熊本が最も高く、つづいて第 3 位が青森、第 4 位が和歌山の順となっている。

北海道の得点が高いのは、規模が大きいこと、労働力が多く、高齢化していないことなどによる。同じく1位の熊本は、改植事業の実施面積割合が大きいこと、規模が比較的大きいことなどによる。3位の青森は、後継者の確保率が高いことや労働力が確保され高齢化していないことなど人的資源に恵まれている点から高かった。

表8 都道府県別にみた産地の将来性指標の得点

| 都道府県別 | 産地の将来性指標 | | | | | | 基準化による得点平均値 |
|-------|-----------------|---------------|-----------------------|---------------------------|---------------|------------------|--------------|
| | 1.後継者(同居)の居る農家率 | 2.改植事業の実績面積割合 | 3.耕作放棄地面積割合(販売農家)(逆数) | 4.果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 5.1戸当たり農業就業人口 | 6.農業就業人口の65歳未満割合 | |
| | % | % | % | % | % | % | % |
| 北海道 | -1.86 | -0.29 | -0.68 | 3.05 | 1.75 | 1.65 | 0.60 |
| 青森 | 0.73 | -0.11 | 0.68 | 0.29 | 0.49 | 0.91 | 0.50 |
| 岩手 | 1.46 | 0.27 | 1.00 | -0.66 | -0.92 | -0.59 | 0.09 |
| 山形 | 1.22 | -0.64 | 0.21 | -0.60 | -0.23 | -0.36 | -0.06 |
| 山梨 | -0.33 | -0.69 | 0.09 | -0.63 | -0.21 | -0.61 | -0.40 |
| 長野 | 0.40 | -0.65 | -0.60 | -0.76 | -0.01 | -0.81 | -0.40 |
| 静岡 | 0.26 | -0.19 | 0.08 | 0.14 | 0.75 | -0.08 | 0.16 |
| 愛知 | 1.45 | -0.59 | -0.17 | -0.78 | 0.73 | 0.40 | 0.18 |
| 三重 | -1.46 | 0.46 | -0.97 | -0.22 | -1.81 | -1.02 | -0.84 |
| 和歌山 | -0.12 | -0.43 | 0.60 | 0.37 | 0.67 | 0.94 | 0.34 |
| 広島 | -0.82 | -0.11 | -0.92 | -0.39 | -0.92 | -1.58 | -0.79 |
| 愛媛 | -0.88 | 0.33 | -0.56 | 0.60 | 0.23 | 0.04 | -0.04 |
| 福岡 | -0.18 | -0.45 | 0.57 | -0.08 | 0.08 | 0.59 | 0.09 |
| 佐賀 | 0.46 | 0.79 | 0.63 | -0.35 | -0.33 | 0.19 | 0.23 |
| 長崎 | 0.22 | -0.16 | -0.75 | -0.65 | -0.34 | 0.37 | -0.22 |
| 大分 | -0.88 | 0.18 | -0.93 | -0.83 | -1.69 | -1.44 | -0.93 |
| 熊本 | -0.54 | 1.85 | 0.37 | 0.54 | 0.71 | 0.66 | 0.60 |
| 宮崎 | -1.24 | 1.18 | -0.44 | 0.42 | -0.38 | -0.22 | -0.11 |

V 発展要因解析のその他の分析手法

1 クラスタ分析

1 クラスタ分析について

クラスタ分析は、データ全体をグループ分けする方法である。

データを距離に基づいて、似たような傾向にあるものをグループ化することができる。

○ 目的：距離という概念を使って、類似のもののグループ化を行う。

○ どんなデータに効果的か：複数の個体をいくつかのグループに分けて分析を行う場合。

○ 用意するデータ：クロス集計された個体と変数のデータ

多くのデータの傾向をもとに客観的にグループ化していけば、データの傾向や特徴が把握しやすくなる。

《クラスタ分析を活用する上での注意点》

グループ分けされた結果を解釈して、他者でも納得できるような意味を与えることは、クラスタ分析の価値を大きく左右する重要なプロセスである。

また、グループ分けした結果、データの見通しは良くなるが、そこからアクションにつながる示唆が得られるかどうかは別問題である。あくまでもクラスタ分析は分類までであり、分類されたサンプルの中で成立している法則性や、相関関係・因果関係までは分らない。

分類された対象ごとに相関分析や回帰分析を行うことで、より精度の高い予測を実現したり、アクションに繋げるような使われ方が多い。

《用いた手法》

ウオード法：クラスタ内のデータの平方和を最小にするように考慮された方法である。

データ全体がバランスよく分類されやすいため、よく使われる手法である。

また、併合されるプロセスが「デンドログラム」と呼ばれるトーナメント図のようなグラフで示されることも階層的な手法の特徴である。

デンドログラムの並び順で近いところにいるサンプル同士は、データの傾向が似ており、似たもの同士であるとみなすことができる。意味のある分類になりそうかを判断し易くなる。

2 本分析におけるクラスター分析の活用

本分析では、Ⅲにおいて、樹園地面積増減率と農家数減少率との相関分析を行ったが、そこで減少率の程度により ABCD の 4 類型に分類し、様々な産地発展要因解析を行った。

本分析でのクラスター分析は、この ABCD の 4 類型がクラスター分析でどのように分類されるのか、確認する意味から行ったものである。

その結果、以下のようにおおよそ ABCD の 4 類型への分類と重なって樹形図が作成されることが確認できた。

なお、クラスター分析に用いた指標は、以下の 8 指標である。

1. 果樹栽培面積 3ha 以上（露地）の農家率
2. 改植事業の実績面積割合
3. 耕作放棄地面積割合（販売農家）
4. 果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積（販売農家）
5. 1 戸当たり農業就業人口
6. 農業就業人口の 65 歳未満割合
7. 農産物販売金額 1,000 万円以上農家率
8. 果樹販売における農協系統共販率

（1）全産地

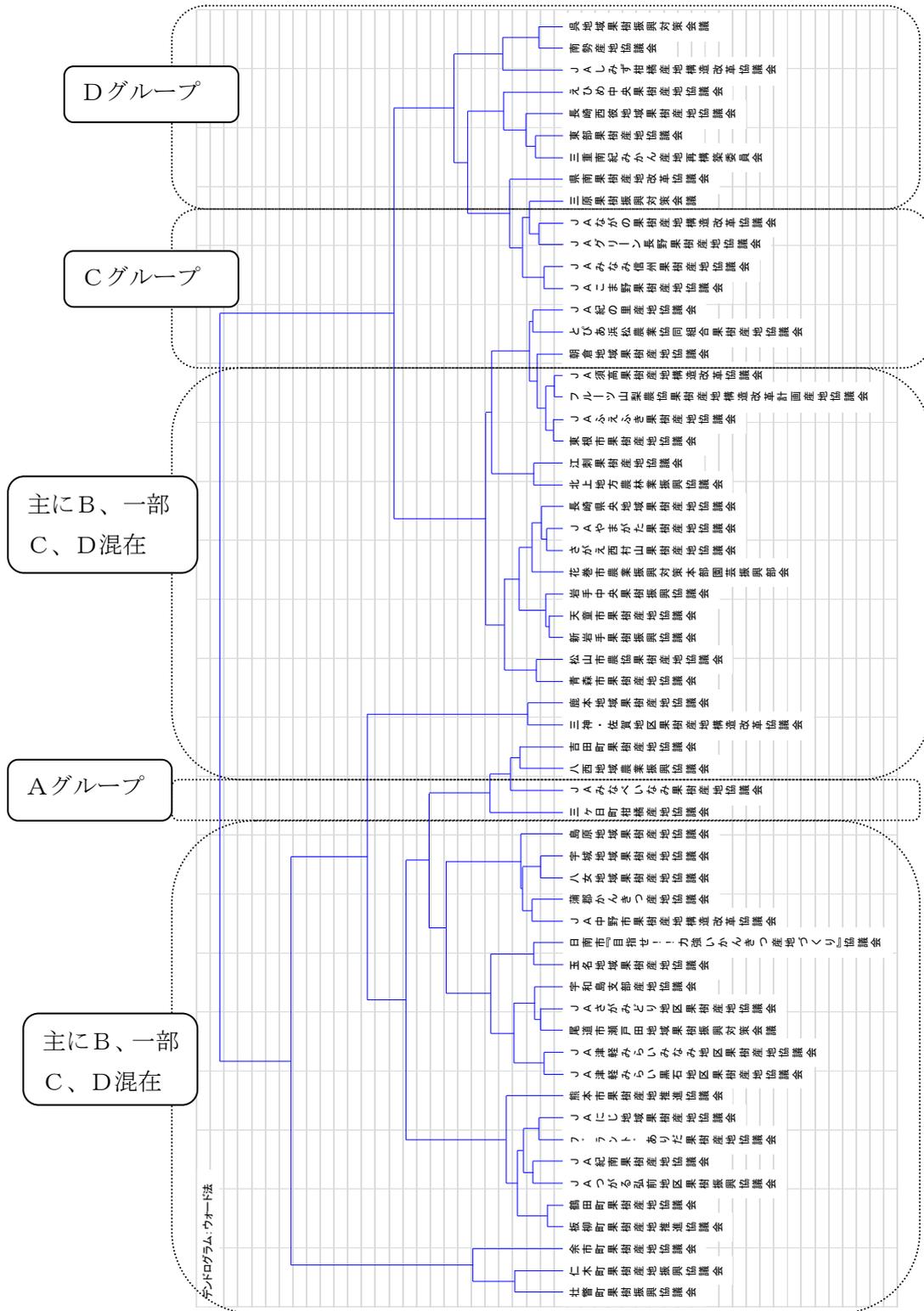
Aグループは、三ヶ日町、JA みなべいなみであるが、Bグループの八西、吉田町を加えた 4 産地で同一クラスターを形成している。

Bグループは、一部にCグループ、Dグループを混在しながらAグループの両脇にクラスターを形成している。

なお、混在しなかったCグループ、Dグループはそれぞれ一定のクラスターを形成している。

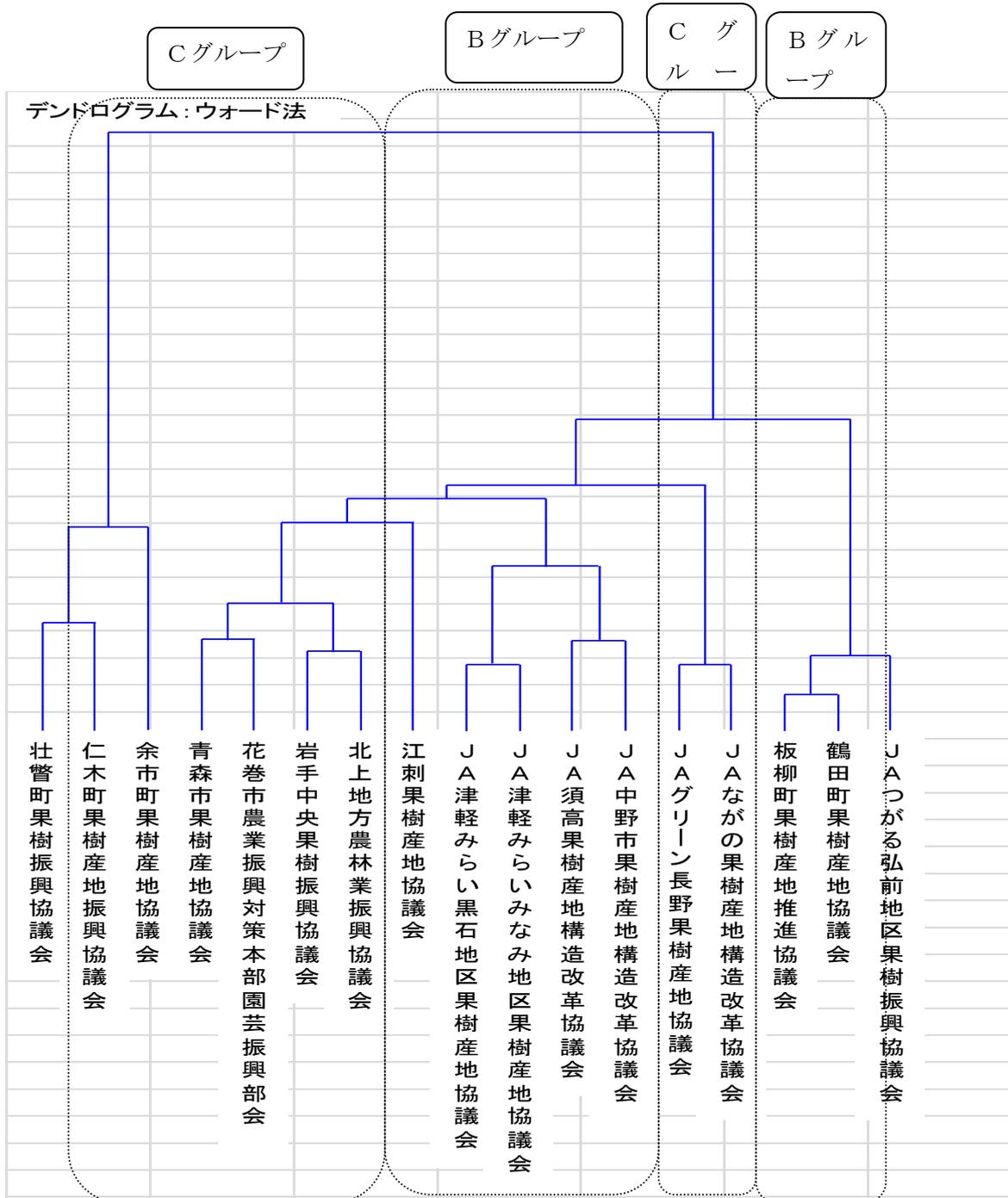
また、ある程度、青森県、岩手県、山形県など、同一県等地域が近いクラスターに分類されているのも特徴である。

図 V-1 全産地



(3) りんご産地

Bグループ（一部Cグループ混在）、Cグループのクラスターを形成している。

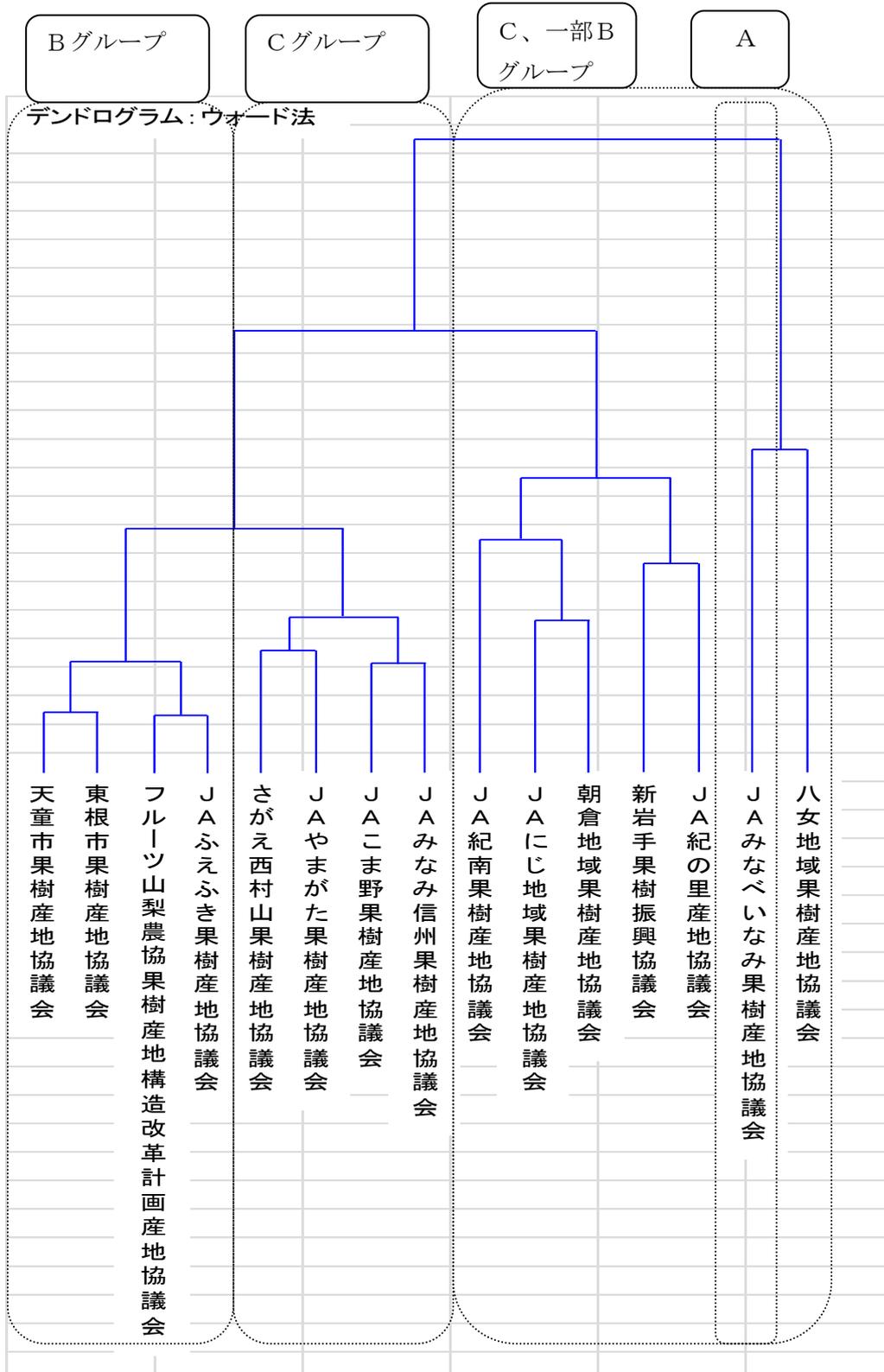


(4) 落葉果樹産地

左側より、Bグループ、Cグループのクラスターを形成。

Aグループ (JA みなべいなみ) は Cグループの八女と同一グループを形成している。

八女は、樹園地面積減少率が△17.6%と比較的大きいことからCグループとなっているが、産地の将来性指標 (前記IVで分析) では、Bグループに遜色ない結果となっている産地である。



2 主成分分析結果

(1) 主成分分析について

果樹の産地は、担い手の減少と高齢化、傾斜地等の不利な条件、基盤整備の遅れ、消費者ニーズに即した品種の導入の遅れ、販売価格の低迷など、各産地毎に多くの原因が考えられる。

各産地においては、これらの不利な条件を克服するための様々な努力が行われているところであるが、今後、果樹対策事業の適格な実施等のためには、各産地の置かれている条件、課題等を的確に把握し、それに見合った適切な対応策を検討していくことが不可欠である。

このため、各産地の置かれている条件、課題等を的確に把握するために、前記Ⅱで作成した「果樹生産力構造指標」のうち、産地の特徴を表す 8 指標を用いて主成分分析を行い、8 指標の変数を 2 程度の少数の変数に要約することによって、産地の特徴を全体的に捉え、対応策検討の材料とするため、以下のような主成分分析を行った。

(主成分分析で得られる主な指標)

・固有値

主成分分析を行うと、各主成分に対応した固有値が求まる。この固有値は主成分の分散に対応しており、その主成分がどの程度元のデータの情報を保持しているかを示すもの。

・寄与率

寄与率は、各主成分が持っている変動をどれくらい説明しているかを表す。寄与率は、各主成分の分散（固有値）をすべての主成分の分散の和（すべての固有値の和）で割ることで求められる。

寄与率＝主成分の分散（固有値）÷分散の合計（固有値の合計）

・累積寄与率

各主成分の寄与率の大きさを順に足し上げていったもので、そこまでの主成分で、データが持っていた情報量がどのくらいまで説明されているかを示すもの。

○ 主成分分析の手順

1. 必要に応じて変数の基準化を行う。
2. 主成分を求めてデータを要約する。
3. 寄与率と累積寄与率を求める。
4. 採用した主成分を散布図にする。
5. 軸の解釈を行う。
6. 分析結果を解釈する。

具体的には、

□ 変数の基準化

用いるデータの単位が揃っていない場合、データ間の比較が正確にできない。このためデータを基準化する必要がある。基準化とは、データから平均値を引いたものを標準偏差で割ったものである。

計算式 基準化＝（データ－平均値）÷標準偏差

□ 主成分を求めてデータを要約

主成分分析は、分散の最も大きい主成分を求める。求め方は、一般的に基準化した相関係数行列の固有値と固有ベクトルを求める場合が多い。

□ 寄与率と累積寄与率

「寄与率」とは主成分のバラツキ（分散）が全データのバラツキに占める割合をさす。言い換えると、その主成分でどの程度データの説明ができるかを寄与率という。「累積寄与率」は各主成分の寄与率を足したもの。

主成分分析ではバラツキの大きい主成分を用いてデータの特徴を把握する。すなわち、寄与率と累積寄与率を見れば、どの主成分まで採用すべきか判断をすることが可能となる。

なお、主成分の採用基準としては、それぞれの主成分の分散を大きい順に折れ線グラフで表現したスクリープロットを参考にすることもある。この場合、基準化しているので分散（＝固有値）が1以上のもの、または傾きが平坦になるひとつ前までの主成分を採用することもある。

□ 軸の解釈、分析結果の解釈

軸の解釈とは、第1、第2主成分がそれぞれ何を示しているのかを考えることである。主成分を選択したら、視覚的にデータを理解するために散布図を作成する。

2次元の散布図を作成し、評価軸（第1、第2主成分）が何を示しているのかわからず分析することはできない。このため軸の解釈が必要になる。ここでのポイントは、各主成分の係数に着目することである。第1、第2主成分の係数を棒グラフにして、各変数の値から軸が何を示しているのか類推する。

2つの軸が示しているものがわかれば、データ全体の分析結果の解釈をすることができる。

以上を踏まえ、全産地 59、かんきつ類産地 27、りんご産地 17、落葉果樹産地 15 について、以下のとおり主成分分析を行った。

なお、主成分分析に用いた指標は、以下の 8 指標である。

1. 果樹栽培面積 3ha 以上（露地）の農家率
2. 改植事業の実績面積割合
3. 耕作放棄地面積割合（販売農家）
4. 果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積（販売農家）
5. 1戸当たり農業就業人口
6. 農業就業人口の 65 歳未満割合
7. 農産物販売金額 1,000 万円以上農家率
8. 果樹販売における農協系統共販率

(2) 主成分分析結果 (全産地)

1) 固有値、寄与率、累積寄与率

| 区分 | 果樹栽培面積3ha以上(露地)の農家率 | 改植事業の実績面積割合 | 耕作放棄地面積割合(販売農家) | 果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 1戸当たり農業就業人口 | 農業就業人口の65歳未満割合 | 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 果樹販売における農協系統共販率 |
|-------|---------------------|-------------|-----------------|-------------------------|-------------|----------------|---------------------|-----------------|
| 固有値 | 3.838141 | 1.288903 | 1.151977 | 0.793412 | 0.459836 | 0.349553 | 0.097284 | 0.020894 |
| 寄与率 | 0.479768 | 0.161113 | 0.143997 | 0.099177 | 0.05748 | 0.043694 | 0.01216 | 0.002612 |
| 累積寄与率 | 0.479768 | 0.640881 | 0.784878 | 0.884055 | 0.941535 | 0.985229 | 0.997389 | 1.000001 |

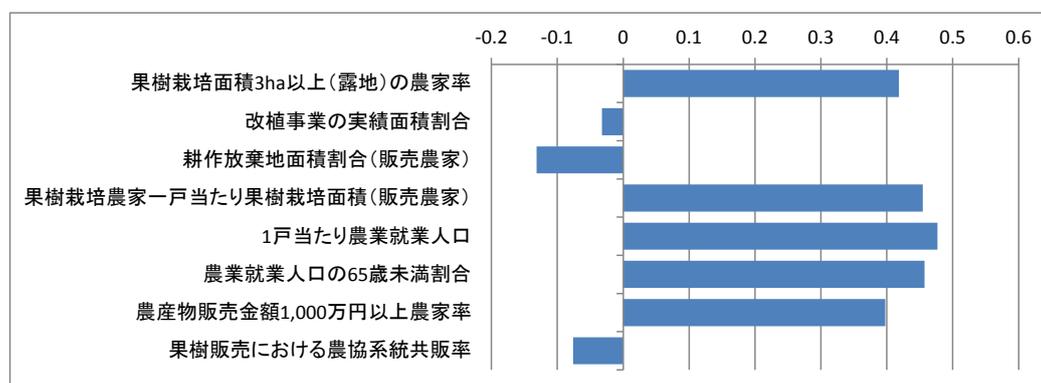
2) 固有ベクトル

| 固有ベクトル | 第1 | 第2 | 第3 | 第4 | 第5 | 第6 | 第7 | 第8 |
|-------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 果樹栽培面積3ha以上(露地)の農家率 | 0.41825 | -0.21079 | 0.30635 | -0.08629 | -0.41867 | 0.33228 | -0.62542 | -0.04998 |
| 改植事業の実績面積割合 | -0.03218 | 0.57831 | 0.38402 | -0.69525 | -0.03363 | -0.1776 | -0.00674 | 0.03106 |
| 耕作放棄地面積割合(販売農家) | -0.13127 | -0.49404 | 0.66402 | 0.07955 | 0.20202 | -0.50045 | -0.00723 | -0.0111 |
| 果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 0.45451 | -0.19547 | 0.14595 | -0.11584 | -0.37404 | 0.08766 | 0.75642 | -0.02693 |
| 1戸当たり農業就業人口 | 0.47683 | 0.13583 | -0.12205 | 0.15524 | 0.04909 | -0.39147 | -0.1081 | 0.74016 |
| 農業就業人口の65歳未満割合 | 0.45727 | 0.19705 | -0.1776 | 0.13858 | 0.05275 | -0.4904 | -0.10921 | -0.66792 |
| 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 0.39748 | 0.04044 | 0.19949 | -0.02489 | 0.77992 | 0.43135 | 0.06358 | -0.03967 |
| 果樹販売における農協系統共販率 | -0.07595 | 0.52909 | 0.4585 | 0.66747 | -0.17144 | 0.14176 | 0.09446 | -0.01241 |

① 第1主成分

固有ベクトルでみた第1主成分は、「果樹栽培面積3ha以上(露地)の農家率」、「果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積」、「1戸当たり農業就業人口」、「農業就業人口65歳未満割合」、「農産物販売金額1000万円以上農家率」など個別農家の規模、労働力保有などの経営体力に関わる値が正(0.39748~0.47683)で高いことから「担い手の体力(個別経営基盤力)」軸と名付けることができる。

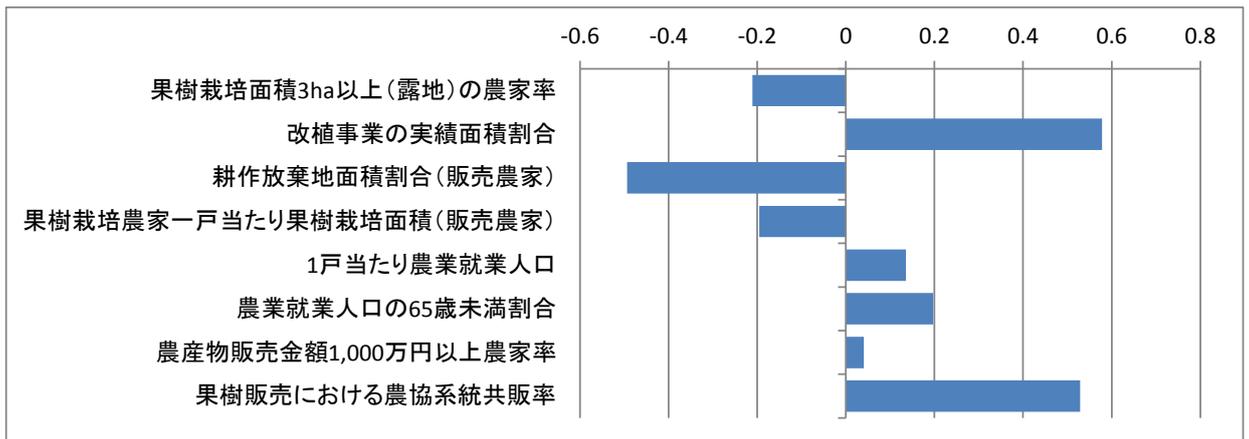
| 固有ベクトル | 第1 |
|-------------------------|----------|
| 果樹栽培面積3ha以上(露地)の農家率 | 0.41825 |
| 改植事業の実績面積割合 | -0.03218 |
| 耕作放棄地面積割合(販売農家) | -0.13127 |
| 果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | 0.45451 |
| 1戸当たり農業就業人口 | 0.47683 |
| 農業就業人口の65歳未満割合 | 0.45727 |
| 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 0.39748 |
| 果樹販売における農協系統共販率 | -0.07595 |



② 第2主成分

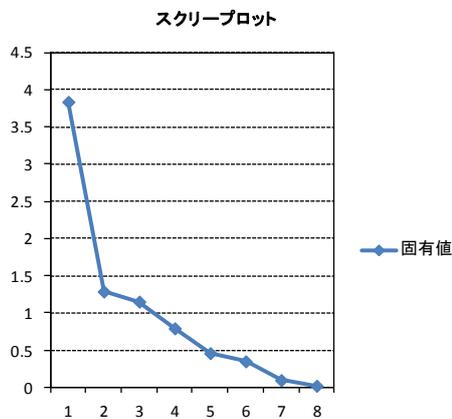
固有ベクトルでみた第2主成分は、「改植事業の実績面積割合」、「果樹販売における農協共販率」など産地の活動の活発さに関わる値が正で高く(それぞれ 0.52909,0.57831)、「耕作放棄地面積割合」の数値がマイナス(-0.49404)であったことから「産地活力(産地活動の元気度)」軸と名付けることができる。

| 固有ベクトル | 第2 |
|-------------------------|----------|
| 果樹栽培面積3ha以上(露地)の農家率 | -0.21079 |
| 改植事業の実績面積割合 | 0.57831 |
| 耕作放棄地面積割合(販売農家) | -0.49404 |
| 果樹栽培農家一戸当たり果樹栽培面積(販売農家) | -0.19547 |
| 1戸当たり農業就業人口 | 0.13583 |
| 農業就業人口の65歳未満割合 | 0.19705 |
| 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 0.04044 |
| 果樹販売における農協系統共販率 | 0.52909 |



③ スクリーンプロット

散布図に必要な第1主成分、第2主成分を採用した。



④ 主成分得点表

| 主成分得点 | 第1 | 第2 | 第3 | 第4 | 第5 | 第6 | 第7 | 第8 |
|---------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 杜管町果樹振興協議会 | 5.24096 | -1.88787 | -0.62007 | -1.83758 | 0.99172 | 0.40377 | 0.78841 | 0.12354 |
| 仁木町果樹産地振興協議会 | 5.67028 | -1.36527 | 0.93041 | -0.4944 | 0.80906 | 0.83558 | 0.23499 | -0.10398 |
| 余市町果樹産地協議会 | 5.78562 | -2.66478 | 2.79751 | -0.76641 | -0.62544 | 0.17277 | -1.14529 | -0.12131 |
| 青森市果樹産地協議会 | -0.21582 | -0.84325 | -0.87911 | -0.66678 | -0.27356 | -0.58158 | 0.24002 | -0.06585 |
| 板柳町果樹産地推進協議会 | 0.95494 | 0.11162 | -1.97903 | -0.4193 | -0.35286 | -0.96595 | -0.12358 | 0.09038 |
| 鶴田町果樹産地協議会 | 1.12358 | -0.22391 | -2.40225 | -0.82389 | -0.28587 | -1.22247 | -0.19867 | 0.17304 |
| JAつがる弘前地区果樹振興協議会 | 1.83253 | -0.53336 | -1.15552 | -0.46398 | -0.92339 | -0.85465 | -0.18384 | 0.12237 |
| JA津軽みらい黒石地区果樹産地協議会 | 0.5408 | 0.90505 | 0.06808 | 0.50523 | -0.83038 | -0.88822 | 0.15611 | -0.30886 |
| JA津軽みらいみなみ地区果樹産地協議会 | 0.13174 | 0.92458 | -0.1682 | 0.95847 | -0.52629 | -0.38093 | -0.01477 | -0.11284 |
| 新岩手果樹振興協議会 | -0.55749 | 0.20655 | -1.03942 | -0.25778 | 0.35278 | -0.00903 | -0.24173 | -0.16522 |
| 岩手中央果樹振興協議会 | -0.6869 | 0.41272 | -1.13688 | -0.46042 | -0.24123 | -0.00567 | -0.1614 | -0.04334 |
| 花巻市農業振興対策本部園芸振興部会 | -1.50428 | -0.79598 | -1.48719 | -0.93891 | -0.15405 | 0.50353 | -0.11278 | -0.12662 |
| 北上地方農林業振興協議会 | -2.04039 | 0.3984 | -0.76711 | -0.42424 | -0.27023 | 0.95893 | -0.20438 | -0.0174 |
| 江刺果樹産地協議会 | -1.55497 | 1.19773 | -0.12563 | -0.81262 | -0.63057 | 0.60905 | 0.22808 | 0.01169 |
| 天童市果樹産地協議会 | -0.37823 | -0.05661 | -1.33631 | 0.03038 | 0.07849 | 0.25364 | -0.10323 | -0.10804 |
| 東根市果樹産地協議会 | -0.42697 | -0.01208 | -0.87732 | 0.33881 | 0.03572 | 0.37512 | -0.02947 | 0.01281 |
| さがえ西村山果樹産地協議会 | -1.09118 | -0.423 | -0.78524 | -0.13777 | 0.04065 | 0.32693 | -0.26746 | 0.05992 |
| JAやまがた果樹産地協議会 | -1.21392 | -0.95164 | -1.09837 | -0.38287 | 0.38406 | 0.20589 | -0.37029 | 0.04027 |
| フルーツ山梨農協果樹産地構造改革計画産地協議会 | -0.93648 | 0.1514 | -0.65777 | 0.71601 | -0.12637 | 0.1656 | -0.04524 | 0.06293 |
| JAこま野果樹産地協議会 | -1.88753 | -0.19175 | -0.4158 | 0.5174 | -0.30699 | 0.81878 | 0.02986 | 0.03918 |
| JAふえふき果樹産地協議会 | -0.78309 | 0.21997 | -0.91378 | 0.48913 | -0.03079 | 0.31247 | -0.00584 | 0.1248 |
| JAみなみ信州果樹産地協議会 | -1.59043 | -0.50416 | -0.29806 | 0.277 | 0.21903 | 0.3401 | -0.17983 | 0.15298 |
| JAグリーン長野果樹産地協議会 | -2.4863 | -0.47336 | 0.1879 | 0.77663 | -0.17861 | 0.41155 | -0.25949 | 0.23522 |
| JA須高果樹産地構造改革協議会 | -1.02561 | 0.02101 | -0.4548 | 0.61252 | -0.07581 | 0.39936 | 0.09625 | 0.03107 |
| JAながの果樹産地構造改革協議会 | -2.20126 | -1.14483 | 0.52328 | 0.19369 | 0.08698 | -0.08432 | -0.07901 | 0.18471 |
| JA中野市果樹産地構造改革協議会 | 0.51375 | 0.27141 | -0.26141 | 0.88408 | 1.32791 | 0.13367 | 0.04283 | 0.20278 |
| JALみず柑産地構造改革協議会 | -0.89416 | -1.52391 | 1.15272 | 0.6825 | 0.73743 | -1.51124 | -0.10654 | 0.0743 |
| とびあ浜松農業協同組合果樹産地協議会 | -0.79208 | -0.16904 | 0.12747 | 0.55307 | 0.58608 | 0.46435 | 0.06663 | 0.18745 |
| 三ヶ日町柑橘産地協議会 | 3.25521 | 0.73882 | 1.06713 | -0.10229 | -0.37867 | 1.83031 | -0.49464 | 0.08985 |
| 蒲郡かんきつ産地協議会 | 0.34058 | 1.24745 | 0.21073 | 1.76074 | 1.33833 | 0.50891 | -0.0732 | 0.05777 |
| 南勢産地協議会 | -2.29027 | -1.81671 | 2.00895 | -0.1325 | 0.34882 | -0.88194 | 0.33319 | -0.16138 |
| 三重南紀みかん産地再構築委員会 | -1.41459 | 0.09819 | 0.74951 | -0.45928 | -0.70829 | 0.23969 | 0.12817 | -0.29373 |
| JA紀の里産地協議会 | -0.36104 | 0.01418 | -0.05319 | 0.61332 | -0.21424 | -0.55634 | -0.11742 | -0.0777 |
| ブランドありだ果樹産地協議会 | 1.70876 | 0.084 | -1.24997 | -0.1034 | 0.05343 | -0.56081 | 0.01648 | 0.14488 |
| JAみなべいなみ果樹産地協議会 | 2.68199 | 1.33901 | -0.11882 | 1.85047 | -0.14779 | -0.02116 | -0.14499 | 0.02806 |
| JA紀南果樹産地協議会 | 0.93934 | -0.42692 | -1.21881 | -0.44906 | -0.50854 | 0.09444 | 0.00225 | -0.14818 |
| 呉地域果樹振興対策会議 | -3.07219 | -1.80468 | 2.58855 | -0.22697 | 0.54862 | -0.64662 | 0.06163 | 0.24914 |
| 尾道市瀬戸田地域果樹振興対策会議 | -0.04479 | -0.35958 | 0.6805 | 0.3921 | -1.07413 | 0.10549 | 0.20387 | 0.06414 |
| 三原果樹振興対策会議 | -3.13756 | -1.07065 | 0.21481 | -0.09934 | -0.24126 | 1.04658 | 0.02518 | 0.16619 |
| 松山市農協果樹産地協議会 | -0.72821 | -1.85071 | -0.37281 | -0.45588 | -0.25335 | -0.6393 | 0.15078 | -0.00156 |
| えひめ中央果樹産地協議会 | -2.13652 | 1.51546 | 2.05878 | -1.06058 | -0.60952 | -0.09904 | 0.26768 | 0.08225 |
| 八西地域農業振興協議会 | 1.68645 | 0.21717 | 0.78361 | 1.48716 | -1.2768 | 0.01575 | -0.0971 | -0.07566 |
| 宇和島支部産地協議会 | -0.89578 | 0.21086 | 0.53963 | 0.99496 | -0.99151 | 0.11047 | 0.38928 | -0.1045 |
| 吉田町果樹産地協議会 | 2.97128 | 0.92605 | 0.63739 | 0.66531 | -2.23829 | -0.46914 | 0.01614 | 0.36591 |
| JAにじ地域果樹産地協議会 | 0.93149 | 0.27752 | -1.34062 | 0.13012 | 0.62132 | -0.1358 | -0.04969 | -0.21308 |
| 朝倉地域果樹産地協議会 | -0.16757 | 0.52696 | -0.68033 | 0.44895 | 0.19018 | 0.6677 | 0.24859 | -0.22915 |
| 八女地域果樹産地協議会 | 1.13828 | 0.55116 | 0.77465 | 1.42062 | 1.2309 | 0.01772 | 0.15182 | -0.03645 |
| 三神・佐賀地区果樹産地構造改革協議会 | -0.72119 | 3.80845 | 0.92458 | -1.70112 | 0.22001 | -0.38784 | -0.48799 | -0.0539 |
| JAさがみどり地区果樹産地協議会 | 0.01512 | 0.343 | 0.71574 | 0.33386 | -0.39913 | -0.03928 | 0.47584 | -0.16919 |
| 長崎西彼地域果樹産地協議会 | -1.11824 | -0.38716 | 1.24591 | 0.65071 | 0.00789 | -0.41622 | 0.14268 | -0.19786 |
| 長崎県央地域果樹産地協議会 | -1.10586 | -0.2873 | -0.42895 | -0.42947 | 0.41808 | -0.21046 | -0.25899 | -0.24604 |
| 島原地域果樹産地協議会 | 1.35315 | 1.09846 | -0.07671 | 1.65181 | 1.71498 | -0.9127 | -0.47649 | -0.05503 |
| 熊本市果樹産地推進協議会 | 2.56785 | 0.46544 | -0.80553 | -0.47892 | 0.16123 | 0.00138 | 0.92858 | 0.16678 |
| 玉名地域果樹産地協議会 | 1.11869 | 0.30407 | 0.33694 | -1.20133 | 0.14982 | -0.09962 | 0.32916 | -0.0484 |
| 鹿本地域果樹産地協議会 | -0.25839 | 3.57464 | 1.49916 | -2.9747 | 0.90038 | -0.47007 | -0.23498 | 0.1553 |
| 宇城地域果樹産地協議会 | 1.50744 | 1.01227 | 0.68262 | 0.88122 | 0.61682 | -0.2053 | 0.34712 | 0.00645 |
| 東部果樹産地協議会 | -2.1827 | -0.29215 | 1.3701 | -0.45831 | -0.05898 | 0.03529 | 0.20651 | 0.03655 |
| 県南果樹産地改革協議会 | -2.35283 | -1.7398 | -0.51218 | -0.97591 | 0.5524 | 0.29074 | -0.38272 | -0.11989 |
| 日南市『目指せ!!力強いかんきつ産地づくり』協議会 | 0.24496 | 0.62683 | 0.84053 | -0.62026 | 0.2098 | 0.60019 | 0.34294 | -0.13756 |

⑤ 主成分得点図

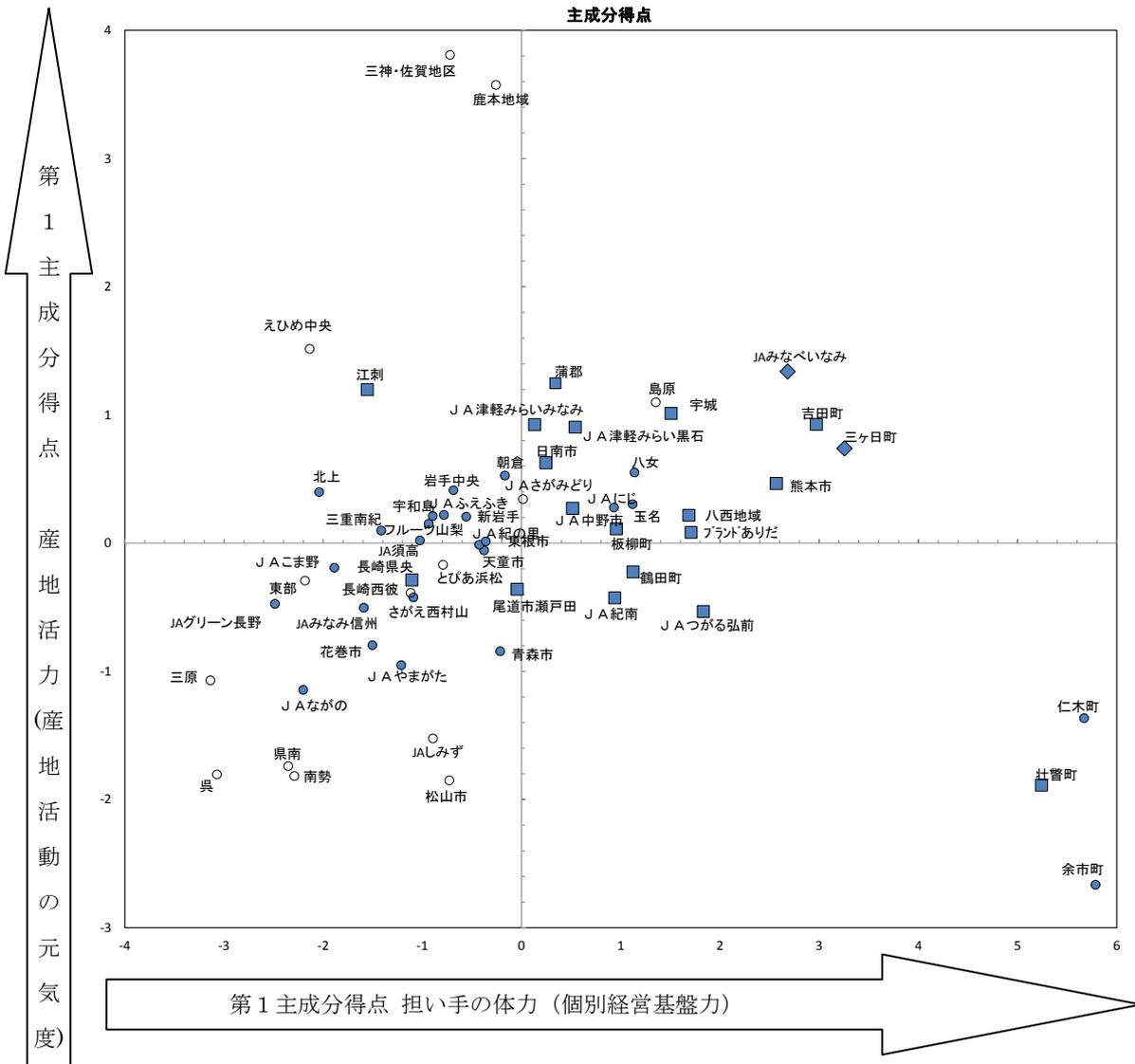
○ 全産地

全産地について、第1主成分得点、第2主成分得点で散布図を作成すると以下の通りとなった。

第1主成分は、「担い手の体力（個別経営基盤力）」軸、第2主成分は「産地活力(産地活動の元気度)」で示せることから、

- 1 「担い手の体力（個別経営基盤力）」が強く、「産地活力(産地活動の元気度)」が大きい産地は、JA みなべいなみ、吉田町、三ヶ日町、宇城、熊本市などA、Bグループが主体となっている。
- 2 「担い手の体力（個別経営基盤力）」は強いが、「産地活力(産地活動の元気度)」が小さい産地は、仁木町、壮瞥町、余市町など北海道の産地となっている。
- 3 「担い手の体力（個別経営基盤力）」は弱いが、「産地活力(産地活動の元気度)」が大きい産地は、三神・佐賀地区、鹿本地域、えひめ中央、江刺などとなっている。
- 4 「担い手の体力（個別経営基盤力）」が弱く、「産地活力(産地活動の元気度)」が小さい産地は、三原、呉、県南、南勢、JA ながのなどとなっている。

(※図の記号は、前記Ⅲのグループ分け結果 ◆:Aグループ、■:Bグループ、●:Cグループ、○:Dグループを表す。)



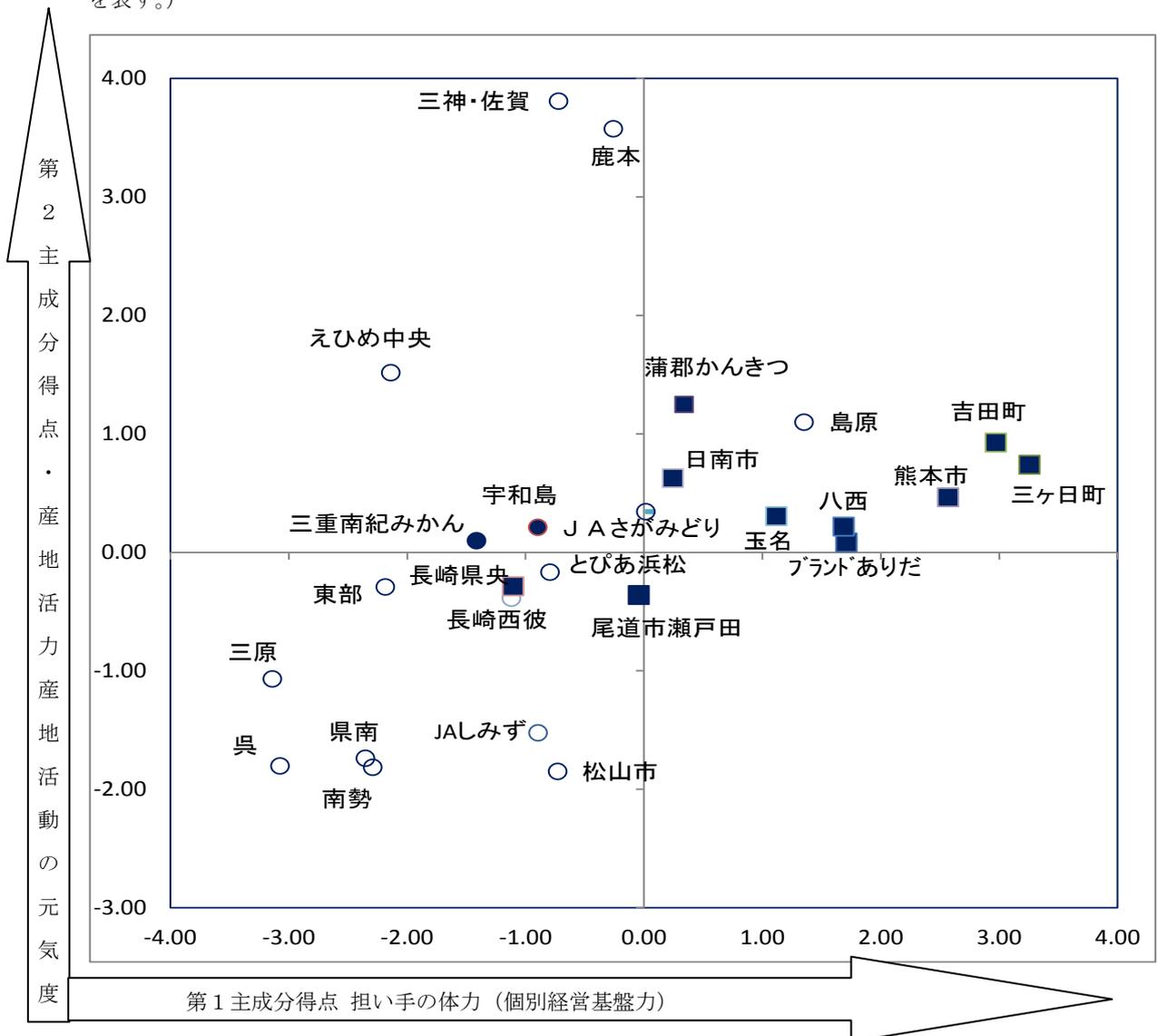
○ かんきつ類産地

同様に「かんきつ類産地」に限って、第1主成分得点、第2主成分得点で散布図を作成すると以下の通りとなった。

第1主成分は、「担い手の体力（個別経営基盤力）」軸、第2主成分は「産地活力(産地活動の元気度)」で示せることから、

- 1 「担い手の体力（個別経営基盤力）」が強く、「産地活力(産地活動の元気度)」が大きい産地は、吉田町、三ヶ日町、八西地域、熊本市、ブランド有田などとなっている。
- 2 「担い手の体力（個別経営基盤力）」は強いが、「産地活力(産地活動の元気度)」が小さい産地は、かんきつ類産地では該当無しとなっている。
- 3 「担い手の体力（個別経営基盤力）」は弱いが、「産地活力(産地活動の元気度)」が大きい産地は、三神・佐賀、鹿本、えひめ中央などとなっている。
- 4 「担い手の体力（個別経営基盤力）」が弱く、「産地活力(産地活動の元気度)」が小さい産地は、三原、呉、南勢、松山市などとなっている。

(※図の記号は、前記Ⅲのグループ分け結果 ◆:Aグループ、■:Bグループ、●:Cグループ、○:Dグループを表す。)



○ りんご産地

同様に「りんご類産地」に限って、第1主成分得点、第2主成分得点で散布図を作成すると以下の通りとなった。

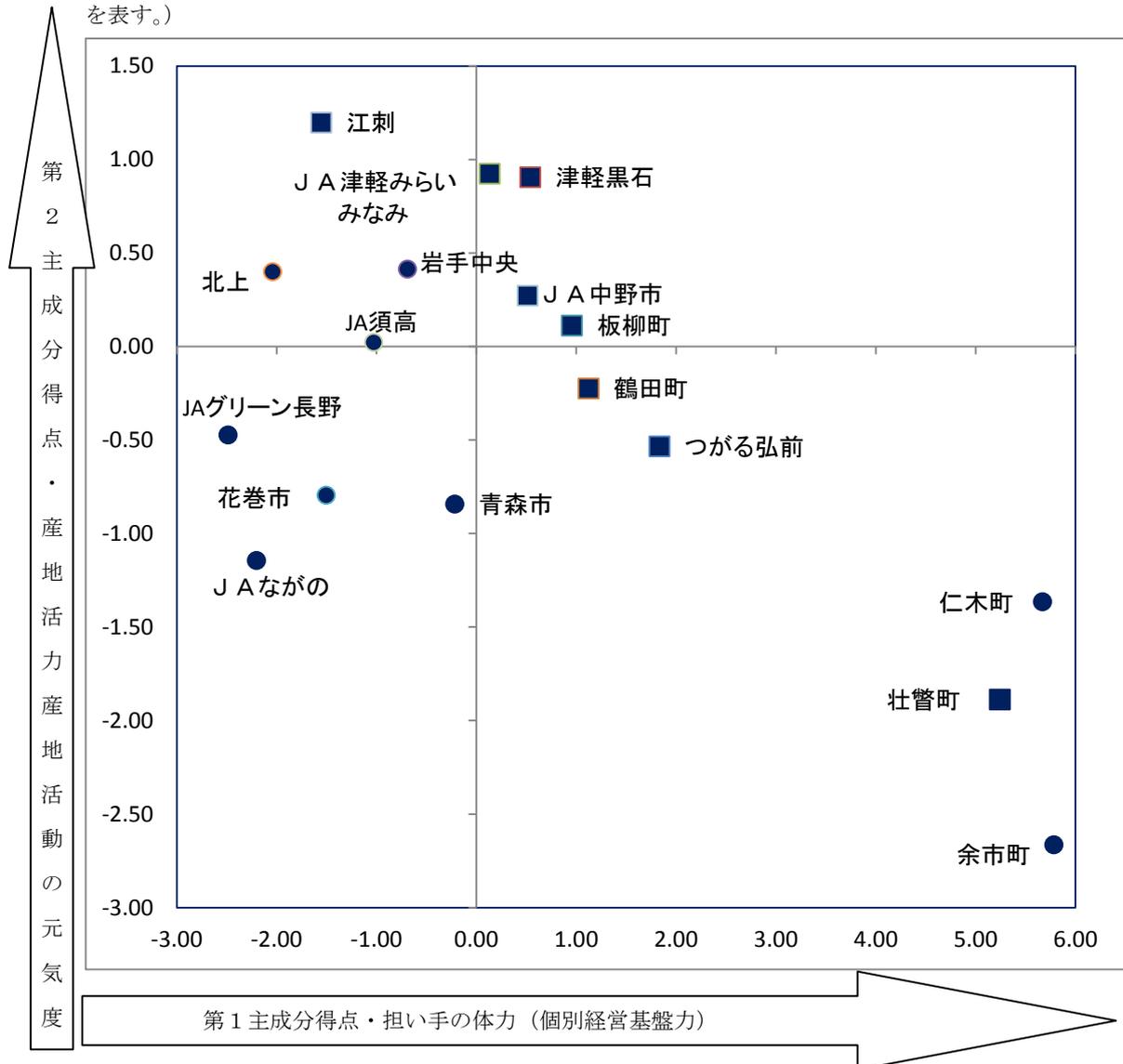
第1主成分は、「担い手の体力（個別経営基盤力）」軸、第2主成分は「産地活力(産地活動の元気度)」で示せることから、

- 1 「担い手の体力（個別経営基盤力）」が強く、「産地活力(産地活動の元気度)」が大きい産地は、津軽黒石、JA 津軽みらい、JA 中野市、板柳町などとなっている。
- 2 「担い手の体力（個別経営基盤力）」は強いが、「産地活力(産地活動の元気度)」が小さい産地は、仁木町、壮瞥町、余市町などとなっている。などとなっている。
- 3 「担い手の体力（個別経営基盤力）」は弱いが、「産地活力(産地活動の元気度)」が大きい産地は、江刺（注）、北上、岩手中央などとなっている。

注：江刺は協業経営が多いことから、このような販売農家のみでの分析の場合、留意が必要。

- 4 「担い手の体力（個別経営基盤力）」が弱く、「産地活力(産地活動の元気度)」が小さい産地は、JA グリーン長野、花巻市、JA ながのなどとなっている。

(※図の記号は、前記Ⅲのグループ分け結果 ◆:Aグループ、■:Bグループ、●:Cグループ、○:Dグループを表す。)



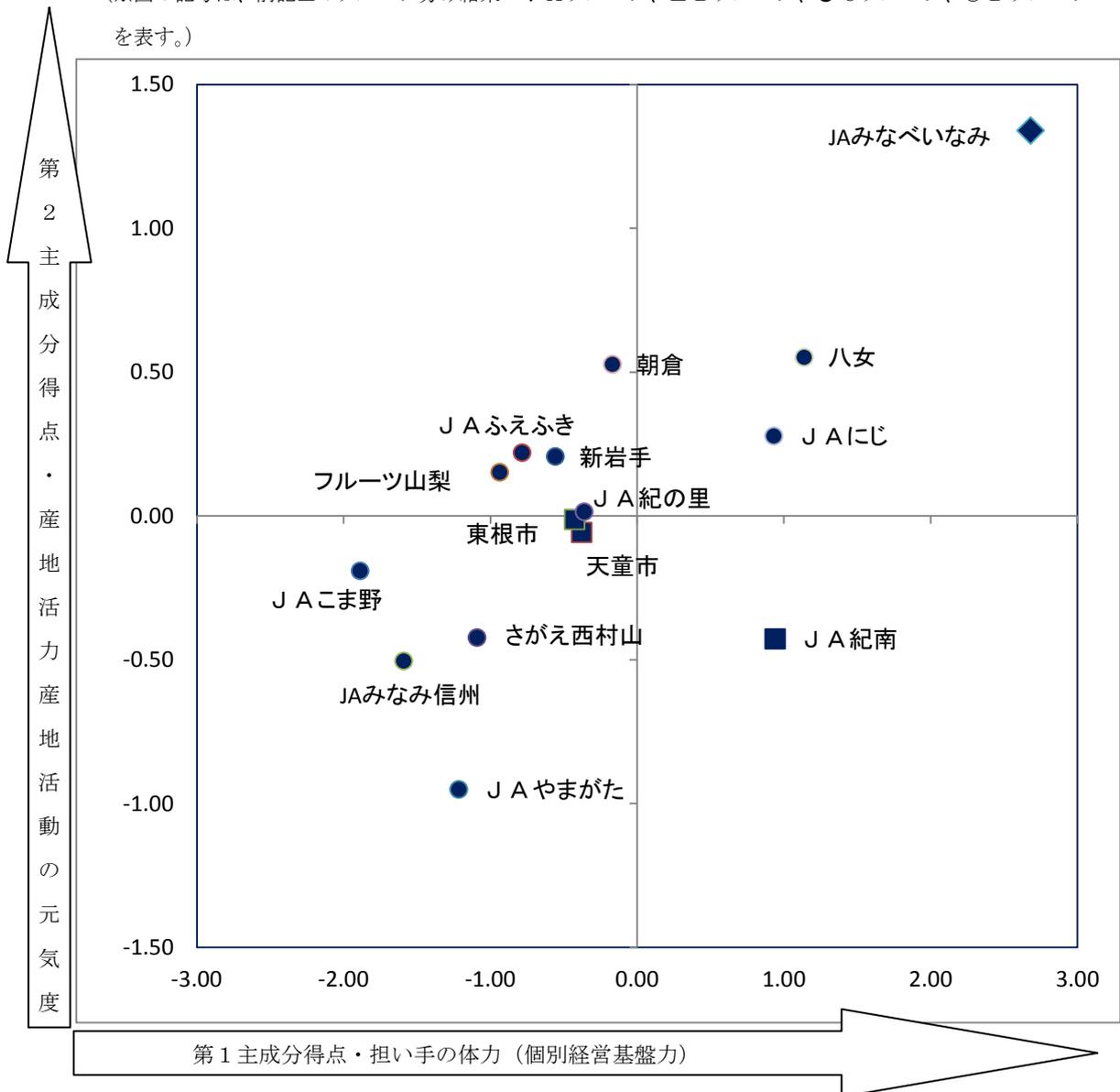
○ 落葉果樹産地

同様に「落葉果樹産地」に限って、第1主成分得点、第2主成分得点で散布図を作成すると以下の通りとなった。

第1主成分は、「担い手の体力（個別経営基盤力）」軸、第2主成分は「産地活力(産地活動の元気度)」で示せることから、

- 1 「担い手の体力（個別経営基盤力）」が強く、「産地活力(産地活動の元気度)」が大きい産地は、JAみなべいなみ、八女、JAにじなどとなっている。
- 2 「担い手の体力（個別経営基盤力）」は強いが、「産地活力(産地活動の元気度)」が小さい産地は、JA紀南などとなっている。
- 3 「担い手の体力（個別経営基盤力）」は弱いが、「産地活力(産地活動の元気度)」が大きい産地は、JAふえふき、フルーツ山梨、新岩手などとなっている。
- 4 「担い手の体力（個別経営基盤力）」が弱く、「産地活力(産地活動の元気度)」が小さい産地は、JAこま野、JAみなみ信州、JAやまがた、さがえ西村山などとなっている。

(※図の記号は、前記Ⅲのグループ分け結果 ◆:Aグループ、■:Bグループ、●:Cグループ、○:Dグループを表す。)



VI まとめ 一果樹産地の発展要因解析と今後の課題一

農研機構 長谷川啓哉

果実は嗜好性が高いことから、農作物の中でも果樹は市場性の高い作目である。明治・大正期に産地が勃興してのち、わが国の経済発展にともない、消費者の果実需要も拡大し、果樹産地も進展してきた。その進展は、1960年代のいわゆる選択的拡大期に絶頂期を迎える。しかしながら、そののち果樹農業総体として減少期に入る。1980年代に国民所得の増大にともなって、リンゴをはじめとする落葉果樹産地中心に減少程度は一時と止まったものの、1990年代になると減少の一途を辿ってきているのは周知の通りである。

政策的な要因を除くと、果樹産地における生産面積の増減の要因は2つある。市場競争的要因と農業構造的要因である。市場競争的要因とは、需要の伸縮にともない、競争力の弱い産地の脱落が生じるなどの需給調整的な要因である。農業構造的要因とは、経営規模の拡大・縮小、農業労働力の増加・減少など、地域の経営資源の賦存状況から生じる要因である。近年の縮小には、後者の農業構造的要因がより反映していると考えられる。

本調査は、産地の盛衰を樹園地面積増減率および樹園地のある農家数増減率で捉え、産地協議会を単位として、さまざまな産地指標から発展要因に接近しようとした点に分析の特徴がある。以下内容をみていく。

「Ⅲ 樹園地面積増減率と樹園地のある農家数減少率との相関分析」では、本報告書の分析の起点である樹園地面積増減率と樹園地のある農家数減少率により各産地をプロットしている。そこでまず明らかになったのは、2つの増減率にプロットされた産地の格差である。樹園地や農家数を大きく減らしている産地がある一方で、ごく少数であるが樹園地面積が増加している産地がある。このような格差の実態を示しながら、その要因は何かと問題提起している。

樹園地面積増減率と樹園地のある農家数減少率のプロットから、産地を4つに類型化し、主要産地指標を比較すると、「樹園地面積」、「樹園地率」、「耕作放棄地面積割合の逆数」、「果樹栽培農家1戸あたり果樹栽培面積」、「1戸あたり農家人口」、「農業就業人口の65歳未満割合」は、減少率の低いAからDになるに従って数値が減少している。これは樹園地面積減少率で階層を6区分した分析では、ほとんど有意差が見られなかったことと対照的であり、A B C Dの4類型の有効性を示している。つまり、果樹に特化している大規模産地で、かつ担い手の規模が大きく、労働力を確保している産地で維持されているといえる。

樹種別では、カンキツがA～D類型に渡っているのに対し、リンゴではB、C類型、落葉果樹ではA、B、C類型にまとまっており、カンキツで格差が大きい。カンキツでは構造改革を進めているブランド産地がA、B類型に入るのに対し、D類型に都市化が進んでいる産地、非ブランド産地が並んでいる。リンゴでは、青森県の産地の多くがB類型に、北海道、岩手県、長野県の産地の多くがC類型に入っている。落葉果樹では、A、B類型には和歌山県、山形県の産地が多い。さらに、樹種別にA、B類型に入る市町村の1戸あたりの規模をみると規模拡大の状況をみていくと、カンキツのA、B類型の産地は1戸あたり平均樹園地面積の大きい産地が占めている。したがって、カンキツでは経営規模が産地の維持や産地間格差の発生の大きな要因となっているといえる。それに対しリンゴ、落

果樹では、A、B類型の産地が1戸あたり平均樹園地面積の上位を占めていない。それゆえ、経営規模のみで産地間格差の発生が生じているわけではないことが示唆される。

さらに、A、B類型の産地を中心に、樹園地率が高く、樹園地が維持されている産地を対象に、大規模層への樹園地集積状況をみると、2ha以上の大規模階層のうち、集積面積率の最も高い階層は2.0~3.0haであるという産地が多い。しかし、余市町、弘前市旧清水村、三ヶ日町のように3.0~5.0haに移行している産地が出現している。これらは5.0ha以上の比率も10%を超えてきている。その他の市町村においても、増減ポイントでは2.0~3.0haよりも3.0~5.0haの方が高いという産地が多く、樹園地の受け手の主力は3.0~5.0haになりつつあるといえる。

「IV 果樹産地の発展要因解析（産地の将来性分析）」では、将来用いることのできる資源がいかに確保されているかという観点から各産地指標を選択し、総合点数化して将来性として評価している。樹種別ではリンゴが最も高く、続いて落葉果樹、ミカンという結果となった。リンゴが高いのは規模、労働力で経営資源が確保されていることが評価されるからである。これに対しカンキツでは労働力が確保されていないことがマイナス評価に響いた。落葉果樹については、規模が小さいこと、改植などの動きが弱いことがマイナス点となった。

A、B、C、D類型の比較では、やはりA類型の得点が高く、第2位がB類型、第3位がC類型でマイナス、第4位がD類型という結果となっている。規模、労働力の指標もそれぞれ同様の順序、符号となっており、B類型とC類型の間に将来性の分岐点があるようである。ただし、D類型で改植事業の実績面積割合が高いことは注目される。

「V 発展要因解析のその他の手法」では、クラスター分析と主成分分析を実施している。

クラスター分析では、全産地の分析ではA、B、C、D類型の分類は不明確であるものの、樹種別に分類していくとカンキツ、リンゴなどでは区分できる傾向にあった。

主成分分析では、第2主成分までの累積寄与率は0.64である。第1主成分は「果樹栽培面積3ha以上（露地）の農家率」、「果樹栽培農家1戸あたり果樹栽培面積」、「1戸あたり農業就業人口」、「農業就業人口の65歳未満割合」、「農産物販売金額1000万円以上農家率」など、個別農家の規模、労働力保有など経営体力に関わる値が正で高いことから「担い手体力」軸と名付けられた。第2主成分は、「改植事業の実績面積割合」、「果樹販売における農協系統共販率」など産地の活動の活発さに関わる値が正で高く、「耕作放棄地面積割合」の数値がマイナスであったことから「産地活力」軸と名付けられた。この2つの軸の座標の上に産地をプロットすると、基本的に左下から右上に向かって、D、C、B、A類型という配置となった。つまり、担い手体力および産地活力の高い産地において産地が維持されていた。ただし、B類型は「担い手体力」方向で広がりを見せており、第1主成分の寄与率が高いこともあわせ、「担い手体力」要素がより産地維持に反映されることが示唆される。これについては、樹種別に検討するとより明確になる。カンキツでは「担い手体力」の得点が0.00を境に、A、B類型とC、D類型が分かれる。リンゴにおいても0.00が境となっている（江刺については協業経営のわい化団地が多く展開しており、これを含めれば0.00よりも右側に行くべき産地である）。ただし、北海道については留意が必要である。一方、落葉果樹については判然としない点が多い。これは、落葉果樹が果樹類の中でも労働集約

的な樹種であり、規模が小さいことが反映していると考えられる。とはいえ、カンキツ、リンゴの2大品目については、担い手要因が産地維持に大きく反映していると言える。

これまでの分析結果をまとめると、果樹産地の維持、発展要因について次のことが指摘できるだろう。

- 1) 現在の果樹産地は全産地的な縮小局面であり、一部の産地ではわずか10年程度で25%~60%も縮小するという産地消滅の可能性すら問われる状況となっている。一方、縮小を微減にとどめている産地もあり、縮小程度に大きな格差がある。
- 2) 産地の維持には、農業構造的な要因としての担い手要因と市場競争的な要因としての産地要因があることが指摘される。このうち、現在の樹園地面積の減少に大きく反映しているのは担い手要因である。
- 3) 担い手要因として、大規模経営の形成が進み、平均面積が拡大している産地において維持されている。樹園地の受け手の主力も果樹生産面積3~5haという大規模経営になりつつある。つまり、大規模経営が産地を支えている。
- 4) 担い手要因としてもう一点、家族労働力や基幹労働力が確保されている経営の多い産地で樹園地が維持されている。一方、労働力を確保できない産地の脱落に拍車がかかっている。つまり、地域労働力の賦存状況が果樹産地の適地条件になっている。
- 5) 産地要因としては、産地規模が大きく、果樹への集中度の高い産地で樹園地が維持されていることが示唆される。つまり生産を果樹に特化し、専門性を高めている産地が維持してきているとみられる。
- 6) 産地要因としては、4)の他に産地のまとまり、改植への取り組み対応など「産地活力」も重要な要素である。樹園地面積の減少程度が甚だしい産地の一部で「産地活力」が高い産地があり、今後の帰趨が注目される。

以上をふまえて、産地維持・発展の課題を検討したい。

産地の維持には、担い手の要因が大きく影響する。とりわけ、担い手経営の大規模化を図ることが産地として重要な目標となるだろう。しかし、一言で大規模化を図るといってもそれは容易なことではない。ましてや上述の3~5haを産地の主たる担い手とするには、産地体制の大きな転換が要求される。なぜなら、労働集約的な果樹作では、大規模経営が成立するための課題は経営全般にわたるためである。課題としてあげられるのは、第1に、樹園地の確保である。種々の作目の中でも果樹作は樹園地流動化が難しい。樹園地流動化を進め、大規模経営に面的に樹園地を集積するシステムを産地は備える必要がある。第2に、労働力の確保である。これは単純労働力のみならず、剪定のような技能労働力も含まれる。そのため、単純労働力の調整のみならず、技能労働力を育成するシステムも求められる。第3に、省力的な技術体系の導入である。大規模経営は運搬機械や整地・改植のための機械を導入することが多く、その導入支援が求められる。また、単収ではなく、労働生産性を高める技術体系を産地で構築することが重要である。そのためには、改植をすすめて、効率的な樹園地を作り上げていくことが不可欠である。第4に、販売方式である。選果基準は労働集約的技術体系を前提とした品質重視の基準となることが多い。こうした選果基準で省力化を図ることは難しく、大規模経営の成立は厳しい。少なくとも外観基準を

緩和させる選果基準及び販売体制が必要となる。また、山選果の手間を減ずるような選果場対応も重要である。

一方、これだけ減少程度の大きい状況では、小中規模の減少を緩和させることも産地体制の維持にとっては重要である。それには、剪定、防除、改植などにおいて中小規模経営を支援する地域農業支援システムの構築が重要となる。ただし、これらも相互扶助的な共同組織を中心として構築することは難しくなっている。これらの作業について、サービス商品として確立させた上で、一部の産地で行われている企業への委託などを取り入れる必要もあるだろう。

産地要因としては、産地規模および地域農業における果樹への特化が産地の維持に影響している。これらは、産地のそもそもの与件であり、変更することは難しい変数である。ただし、果樹農業への特化が意味することはあると考える。果樹農業に特化すれば、果樹に対応した専門性の強い主体が生じる。つまり、経営、農協、地域農業システム、さらには移出商、加工業者、産地市場などの周辺産業に至るまで、果樹作のプロが育つということである。周辺産業の育成となると難しいが、経営者や、農協の営農及び販売担当者を果樹作のプロとして育成していくことが求められているのではないだろうか。たとえば、現在の産地は小売業者との直接的取引が多くなっており、営業活動が求められるようになっている。こうした人材の育成は産地の維持・発展上重要であると考ええる。

また、産地が取り組みうる方策としては、経営支援対策事業等を取り入れ、改植をすすめることにより、効率的な樹園地を形成するとともに、直販・加工などいわゆる 6 次産業化等も含めて、より市場の訴求力の高い品種を植栽し、販売戦略を再編することが重要である。産地活力が直ちに産地の発展を促すことではないことは分析が示している。しかし、例えば長野県では、県をあげて経営支援対策事業を用いて新しい化栽培の導入をすすめて以降、樹園地面積の減少が緩和されている。とかく産地の盛衰は産地の農業構造に縛られる点大きいですが、このように産地の対策が産地の構造を変革していく可能性もあると指摘したい。

付表 果樹産地生産力構造指標 5-1

| 都道府県名 | | | 北海道 | 北海道 | 北海道 | 青森 | 青森 | 青森 | 青森 | 青森 | 青森 | 岩手 | 岩手 | 岩手 | |
|----------------|----|---------------------|------------|--------------|------------|------------|--------------|------------|------------------|--------------------|---------------------|------------|-------------|-------------------|-------|
| 協議会番号 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |
| 産地協議会名 | | 単位 | 壮瞥町果樹振興協議会 | 仁木町果樹産地振興協議会 | 余市町果樹産地協議会 | 青森市果樹産地協議会 | 板柳町果樹産地推進協議会 | 鶴田町果樹産地協議会 | JAつがる弘前地区果樹振興協議会 | JA津軽みらい黒石地区果樹産地協議会 | JA津軽みらいみなみ地区果樹産地協議会 | 新岩手果樹振興協議会 | 岩手中央果樹振興協議会 | 花巻市農業振興対策本部園芸振興部会 | |
| I.産地の立地条件・農家概況 | 1 | 販売農家数 | 戸 | 147 | 361 | 404 | 2,613 | 1,527 | 1,201 | 8,123 | 1,524 | 3,119 | 6,384 | 5,346 | 5,363 |
| | 2 | 主業農家数 | 戸 | 98 | 243 | 250 | 734 | 766 | 652 | 3,954 | 599 | 964 | 1,728 | 1,249 | 979 |
| | 3 | 樹園地のある農家数 | 戸 | 42 | 239 | 325 | 974 | 1,341 | 995 | 6,715 | 988 | 1,787 | 317 | 1,290 | 742 |
| | 4 | 樹園地面積3ha以上の農家数 | 戸 | 14 | 49 | 90 | 25 | 18 | 13 | 446 | 35 | 53 | 6 | 23 | 13 |
| | 5 | 農産物販売金額1,000万円以上農家数 | 戸 | 44 | 121 | 102 | 78 | 48 | 30 | 307 | 42 | 136 | 461 | 181 | 127 |
| | 6 | 後継者(同居)の居る農家数 | 戸 | 21 | 59 | 84 | 1,034 | 596 | 530 | 3,451 | 638 | 1,408 | 2,980 | 2,601 | 2,637 |
| | 7 | 認定農業者のいる農家 | 戸 | 54 | 10 | 59 | 240 | 243 | 269 | 1,230 | 237 | 456 | 1,017 | 522 | 829 |
| | 8 | 樹園地面積 | ha | 95 | 477 | 752 | 956 | 1,257 | 937 | 8,614 | 1,025 | 1,477 | 156 | 799 | 446 |
| II.担い手等の状況 | 9 | 主業農家率 | % | 66.7 | 67.3 | 61.9 | 28.1 | 50.2 | 54.3 | 48.7 | 39.3 | 30.9 | 27.1 | 23.4 | 18.3 |
| | 10 | 樹園地面積3ha以上の農家率 | % | 9.5 | 13.6 | 22.3 | 1.0 | 1.2 | 1.1 | 5.5 | 2.3 | 1.7 | 0.1 | 0.4 | 0.2 |
| | 11 | 後継者(同居)の居る農家率 | % | 14.3 | 16.3 | 20.8 | 39.6 | 39.0 | 44.1 | 42.5 | 41.9 | 45.1 | 46.7 | 48.7 | 49.2 |
| | 12 | 認定農業者のいる農家率 | % | 36.7 | 2.8 | 14.6 | 9.2 | 15.9 | 22.4 | 15.1 | 15.6 | 14.6 | 15.9 | 9.8 | 15.5 |
| III.樹園地の生産条件等 | 13 | 樹園地の灌水設備等の整備状況 | 5段階 | 5 | 4 | 5 | 1 | 3 | 1 | 1 | 4 | 3 | 4 | 5 | 5 |
| | 14 | 1戸当たり樹園地栽培面積 | a | 227 | 200 | 231 | 98 | 94 | 94 | 128 | 104 | 83 | 49 | 62 | 60 |
| | 15 | 改植事業の実績面積(19~25年度) | ha | 2.71 | 9.64 | 31.37 | 32.30 | 42.30 | 29.43 | 259.80 | 75.30 | 62.30 | 6.80 | 48.00 | 10.00 |
| | 16 | 改植事業の実績面積割合 | % | 2.8 | 2.0 | 4.2 | 3.4 | 3.4 | 3.1 | 3.0 | 7.3 | 4.2 | 4.4 | 6.0 | 2.2 |
| | 17 | 耕作放棄地面積割合 | % | 6.5 | 9.6 | 19.7 | 8.5 | 2.3 | 2.1 | 5.4 | 7.4 | 6.0 | 4.7 | 3.2 | 4.2 |
| IV.労働力等 | 18 | 農業就業者数 | 人 | 336 | 801 | 907 | 4,679 | 3,103 | 2,508 | 17,163 | 2,713 | 5,800 | 10,837 | 9,363 | 7,981 |
| | 19 | 65歳未満の農業就業者数 | 人 | 187 | 460 | 508 | 1,994 | 1,616 | 1,331 | 8,972 | 1,390 | 2,755 | 4,625 | 3,870 | 2,728 |
| | 20 | 1戸当たり農業就業者数 | 人 | 2.29 | 2.22 | 2.25 | 1.79 | 2.03 | 2.09 | 2.11 | 1.78 | 1.86 | 1.70 | 1.75 | 1.49 |
| | 21 | 農業就業者の65歳未満割合 | % | 55.7 | 57.4 | 56.0 | 42.6 | 52.1 | 53.1 | 52.3 | 51.2 | 47.5 | 42.7 | 41.3 | 34.2 |
| | 22 | 産地における労働力調整の仕組 | 3段階 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| V.販売関係 | 23 | 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 万円 | 29.9 | 33.5 | 25.2 | 3.0 | 3.1 | 2.5 | 3.8 | 2.8 | 4.4 | 7.2 | 3.4 | 2.4 |
| | 24 | 果樹関係販売額(JA取扱高等) | 百万円 | 13 | 4,350 | 941 | 1,766 | 1,940 | 2,164 | 12,651 | 4,299 | 13,975 | 19 | 893 | 674 |
| | 25 | 果樹販売における農協系統共販率 | % | 0 | 40 | 40 | 35 | 35 | 20 | 36 | 80 | 85 | 50 | 51 | 30 |
| | 26 | 産地のブランド力(販売価格の高低) | 3段階 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |

付表 果樹産地生産力構造指標 5-2

| 都道府県名 | | | 岩手 | 岩手 | 山形 | 山形 | 山形 | 山形 | 山梨 | 山梨 | 山梨 | 長野 | 長野 | 長野 | |
|----------------|----|---------------------|----------------------|---------------|----------------|----------------|-----------------------|-----------------------|---|----------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------|
| 協議会番号 | | | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | |
| 産地協議会名 | | 単位 | 北上地方農 林業振興協 議会 | 江刺果樹産 地協議会 | 天童市果樹 産地協議会 | 東根市果樹 産地協議会 | さがえ西村山 果樹産地協 議会 | JAやまがた 果樹産地協 議会 | フルーツ山梨 農協果樹産 地構造改革 計画産地協 議会 | JAこま野果 樹産地協議 会 | JAふえふき 果樹産地協 議会 | JAみなみ信 州果樹産地 協議会 | JAグリーン長 野果樹産地 協議会 | JA須高果樹 産地構造改 革協議会 | |
| I.産地の立地条件・農家概況 | 1 | 販売農家数 | 戸 | 4,072 | 9,448 | 2,144 | 2,165 | 3,312 | 5,224 | 4,423 | 2,677 | 4,440 | 6,289 | 3,558 | 2,691 |
| | 2 | 主業農家数 | 戸 | 601 | 1,582 | 659 | 648 | 821 | 1,256 | 1,557 | 521 | 1,584 | 1,325 | 540 | 726 |
| | 3 | 樹園地のある農家数 | 戸 | 210 | 444 | 1,981 | 1,943 | 2,654 | 2,655 | 4,371 | 2,443 | 4,202 | 4,368 | 2,637 | 2,411 |
| | 4 | 樹園地面積3ha以上の農家数 | 戸 | 2 | 15 | 13 | 21 | 33 | 24 | 6 | 5 | 1 | 10 | 0 | 7 |
| | 5 | 農産物販売金額1,000万円以上農家数 | 戸 | 115 | 237 | 139 | 154 | 166 | 294 | 190 | 77 | 242 | 330 | 40 | 146 |
| | 6 | 後継者(同居)の居る農家数 | 戸 | 2,043 | 4,755 | 1,038 | 1,120 | 1,299 | 2,487 | 1,358 | 913 | 1,359 | 2,942 | 1,331 | 1,081 |
| | 7 | 認定農業者のいる農家 | 戸 | 597 | 819 | 309 | 280 | 495 | 623 | 390 | 284 | 683 | 654 | 97 | 375 |
| | 8 | 樹園地面積 | ha | 85 | 263 | 1,391 | 1,457 | 1,586 | 1,344 | 2,820 | 1,401 | 2,786 | 1,980 | 953 | 1,681 |
| II.担い手等の状況 | 9 | 主業農家率 | % | 14.8 | 16.7 | 30.7 | 29.9 | 24.8 | 24.0 | 35.2 | 19.5 | 35.7 | 21.1 | 15.2 | 27.0 |
| | 10 | 樹園地面積3ha以上の農家率 | % | 0.0 | 0.2 | 0.6 | 1.0 | 1.0 | 0.5 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.3 |
| | 11 | 後継者(同居)の居る農家率 | % | 50.2 | 50.3 | 48.4 | 51.7 | 39.2 | 47.6 | 30.7 | 34.1 | 30.6 | 46.8 | 37.4 | 40.2 |
| | 12 | 認定農業者のいる農家率 | % | 14.7 | 8.7 | 14.4 | 12.9 | 14.9 | 11.9 | 8.8 | 10.6 | 15.4 | 10.4 | 2.7 | 13.9 |
| III.樹園地の生産条件等 | 13 | 樹園地の灌水設備等の整備状況 | 5段階 | 3 | 5 | 2 | 4 | 5 | 4 | 3 | 2 | 3 | 4 | 4 | 3 |
| | 14 | 1戸当たり樹園地栽培面積 | a | 40 | 59 | 70 | 75 | 60 | 51 | 65 | 57 | 66 | 45 | 36 | 70 |
| | 15 | 改植事業の実績面積(19~25年度) | ha | 5.00 | 33.50 | 14.00 | 12.00 | 30.00 | 4.00 | 19.00 | 5.00 | 31.00 | 19.40 | 2.40 | 14.90 |
| | 16 | 改植事業の実績面積割合 | % | 5.9 | 12.7 | 1.0 | 0.8 | 1.9 | 0.3 | 0.7 | 0.4 | 1.1 | 1.0 | 0.3 | 0.9 |
| | 17 | 耕作放棄地面積割合 | % | 2.9 | 3.1 | 3.4 | 4.7 | 6.5 | 7.4 | 5.9 | 6.3 | 4.3 | 9.1 | 10.9 | 6.4 |
| IV.労働力等 | 18 | 農業就業者数 | 人 | 6,029 | 15,005 | 3,750 | 3,964 | 5,849 | 9,053 | 8,108 | 4,296 | 8,361 | 11,244 | 6,178 | 4,773 |
| | 19 | 65歳未満の農業就業者数 | 人 | 1,870 | 5,048 | 1,576 | 1,595 | 2,122 | 3,255 | 3,173 | 1,342 | 3,261 | 3,740 | 1,770 | 1,774 |
| | 20 | 1戸当たり農業就業者数 | 人 | 1.48 | 1.59 | 1.75 | 1.83 | 1.77 | 1.73 | 1.83 | 1.60 | 1.88 | 1.79 | 1.74 | 1.77 |
| | 21 | 農業就業者の65歳未満割合 | % | 31.0 | 33.6 | 42.0 | 40.2 | 36.3 | 36.0 | 39.1 | 31.2 | 39.0 | 33.3 | 28.7 | 37.2 |
| | 22 | 産地における労働力調整の仕組 | 3段階 | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 |
| V.販売関係 | 23 | 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 万円 | 2.8 | 2.5 | 6.5 | 7.1 | 5.0 | 5.6 | 4.3 | 2.9 | 5.5 | 5.2 | 1.1 | 5.4 |
| | 24 | 果樹関係販売額(JA取扱高等) | 百万円 | 67 | 682 | 2,000 | 3,325 | 3,186 | 2,819 | 13,900 | 4,500 | 10,400 | 5,388 | 3,116 | 5,603 |
| | 25 | 果樹販売における農協系統共販率 | % | 60 | 70 | 50 | 60 | 50 | 36 | 70 | 70 | 65 | 60 | 75 | 70 |
| | 26 | 産地のブランド力(販売価格の高低) | 3段階 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |

付表 果樹産地生産力構造指標 5-4

| 都道府県名 | | | 広島 | 広島 | 広島 | 愛媛 | 愛媛 | 愛媛 | 愛媛 | 愛媛 | 福岡 | 福岡 | 福岡 | 佐賀 | |
|----------------|----|---------------------|-------------|------------------|------------|--------------|--------------|-------------|------------|------------|----------------|-------------|-------------|--------------------|-------|
| 協議会番号 | | | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | |
| 産地協議会名 | | 単位 | 呉地域果樹振興対策会議 | 尾道市瀬戸田地域果樹振興対策会議 | 三原果樹振興対策会議 | 松山市農協果樹産地協議会 | えひめ中央果樹産地協議会 | 八西地域農業振興協議会 | 宇和島支部産地協議会 | 吉田町果樹産地協議会 | JAIにじ地域果樹産地協議会 | 朝倉地域果樹産地協議会 | 八女地域果樹産地協議会 | 三神・佐賀地区果樹産地構造改革協議会 | |
| I.産地の立地条件・農家概況 | 1 | 販売農家数 | 戸 | 379 | 614 | 2,760 | 4,436 | 3,707 | 2,923 | 1,615 | 954 | 5,434 | 3,630 | 4,919 | 2,247 |
| | 2 | 主業農家数 | 戸 | 59 | 213 | 248 | 1,254 | 630 | 1,360 | 391 | 596 | 1,978 | 993 | 2,107 | 658 |
| | 3 | 樹園地のある農家数 | 戸 | 330 | 613 | 352 | 2,843 | 2,213 | 2,893 | 787 | 953 | 1,589 | 1,049 | 3,185 | 233 |
| | 4 | 樹園地面積3ha以上の農家数 | 戸 | 0 | 29 | 0 | 71 | 22 | 231 | 30 | 97 | 51 | 23 | 91 | 0 |
| | 5 | 農産物販売金額1,000万円以上農家数 | 戸 | 14 | 20 | 29 | 78 | 75 | 202 | 20 | 35 | 671 | 375 | 982 | 199 |
| | 6 | 後継者(同居)の居る農家数 | 戸 | 79 | 135 | 1,062 | 1,065 | 1,042 | 629 | 538 | 247 | 2,061 | 1,233 | 1,374 | 883 |
| | 7 | 認定農業者のいる農家 | 戸 | 48 | 55 | 36 | 629 | 404 | 712 | 213 | 157 | 949 | 535 | 1,270 | 607 |
| | 8 | 樹園地面積 | ha | 169 | 725 | 146 | 2,687 | 1,449 | 3,888 | 667 | 1,674 | 1,354 | 844 | 3,302 | 79 |
| II.担い手等の状況 | 9 | 主業農家率 | % | 15.6 | 34.7 | 9.0 | 28.3 | 17.0 | 46.5 | 24.2 | 62.5 | 36.4 | 27.4 | 42.8 | 29.3 |
| | 10 | 樹園地面積3ha以上の農家率 | % | 0.0 | 4.7 | 0.0 | 1.6 | 0.6 | 7.9 | 1.9 | 10.2 | 0.9 | 0.6 | 1.8 | 0.0 |
| | 11 | 後継者(同居)の居る農家率 | % | 20.8 | 22.0 | 38.5 | 24.0 | 28.1 | 21.5 | 33.3 | 25.9 | 37.9 | 34.0 | 27.9 | 39.3 |
| | 12 | 認定農業者のいる農家率 | % | 12.7 | 9.0 | 1.3 | 14.2 | 10.9 | 24.4 | 13.2 | 16.5 | 17.5 | 14.7 | 25.8 | 27.0 |
| III.樹園地の生産条件等 | 13 | 樹園地の灌水設備等の整備状況 | 5段階 | 4 | 5 | 5 | 5 | 4 | 2 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 5 |
| | 14 | 1戸当たり樹園地栽培面積 | a | 51 | 118 | 41 | 95 | 65 | 134 | 85 | 176 | 85 | 81 | 104 | 34 |
| | 15 | 改植事業の実績面積(19~25年度) | ha | 11.90 | 26.70 | 2.10 | 1.00 | 312.70 | 34.49 | 19.00 | 127.00 | 25.00 | 20.10 | 66.00 | 24.00 |
| | 16 | 改植事業の実績面積割合 | % | 7.1 | 3.7 | 1.4 | 0.0 | 21.6 | 0.9 | 2.8 | 7.6 | 1.8 | 2.4 | 2.0 | 30.3 |
| | 17 | 耕作放棄地面積割合 | % | 26.5 | 10.4 | 10.9 | 13.5 | 12.2 | 8.5 | 9.3 | 5.1 | 3.2 | 3.2 | 10.6 | 2.6 |
| IV.労働力等 | 18 | 農業就業者数 | 人 | 604 | 1,169 | 3,613 | 7,884 | 5,790 | 5,900 | 2,741 | 2,236 | 10,041 | 6,089 | 9,876 | 3,904 |
| | 19 | 65歳未満の農業就業者数 | 人 | 142 | 455 | 767 | 3,014 | 1,780 | 2,920 | 1,049 | 1,209 | 5,073 | 2,558 | 4,788 | 1,741 |
| | 20 | 1戸当たり農業就業者数 | 人 | 1.59 | 1.90 | 1.31 | 1.78 | 1.56 | 2.02 | 1.70 | 2.34 | 1.85 | 1.68 | 2.01 | 1.74 |
| | 21 | 農業就業者の65歳未満割合 | % | 23.5 | 38.9 | 21.2 | 38.2 | 30.7 | 49.5 | 38.3 | 54.1 | 50.5 | 42.0 | 48.5 | 44.6 |
| | 22 | 産地における労働力調整の仕組 | 3段階 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 1 | 3 | 3 | 1 |
| V.販売関係 | 23 | 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 万円 | 3.7 | 3.3 | 1.1 | 1.8 | 2.0 | 6.9 | 1.2 | 3.7 | 12.3 | 10.3 | 20.0 | 8.9 |
| | 24 | 果樹関係販売額(JA取扱高等) | 百万円 | 456 | 2,098 | 2,098 | 420 | 9,769 | 15,110 | 786 | 5,600 | 2,100 | 1,684 | 7,311 | 30 |
| | 25 | 果樹販売における農協系統共販率 | % | 65 | 75 | 601 | 32 | 90 | 95 | 90 | 90 | 50 | 70 | 90 | 88 |
| | 26 | 産地のブランド力(販売価格の高低) | 3段階 | 2 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 |

付表 果樹産地生産力構造指標 5-5

| 都道府県名 | | | 佐賀 | 長崎 | 長崎 | 長崎 | 熊本 | 熊本 | 熊本 | 熊本 | 大分 | 大分 | 宮崎 | |
|----------------|----|---------------------|--------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------|---------------------|---------------------------------------|-------|
| 協議会番号 | | | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | |
| 産地協議会名 | | 単位 | JAさがみどり 地区果樹産 地協議会 | 長崎西彼地 域果樹産地 協議会 | 長崎県央地 域果樹産地 協議会 | 島原地域果 樹産地協議 会 | 熊本市果樹 産地推進協 議会 | 玉名地域果 樹産地協議 会 | 鹿本地域果 樹産地協議 会 | 宇城地域果 樹産地協議 会 | 東部果樹産 地協議会 | 県南果樹産 地改革協議 会 | 日南市『目指 せ!!力強いか んきつ産地づ くり』協議会 | |
| I.産地の立地条件・農家概況 | 1 | 販売農家数 | 戸 | 3,574 | 6,251 | 2,425 | 6,328 | 4,389 | 4,836 | 4,149 | 3,263 | 3,940 | 3,045 | 1,350 |
| | 2 | 主業農家数 | 戸 | 1,037 | 1,779 | 576 | 3,389 | 1,903 | 1,767 | 1,446 | 1,489 | 647 | 435 | 394 |
| | 3 | 樹園地のある農家数 | 戸 | 1,983 | 3,172 | 843 | 906 | 967 | 1,828 | 1,449 | 1,361 | 957 | 770 | 564 |
| | 4 | 樹園地面積3ha以上の農家数 | 戸 | 83 | 77 | 2 | 9 | 124 | 175 | 8 | 78 | 16 | 1 | 42 |
| | 5 | 農産物販売金額1,000万円以上農家数 | 戸 | 262 | 344 | 149 | 1,202 | 713 | 636 | 620 | 554 | 150 | 131 | 188 |
| | 6 | 後継者(同居)の居る農家数 | 戸 | 1,412 | 1,973 | 923 | 2,637 | 1,437 | 1,495 | 1,114 | 944 | 1,080 | 784 | 312 |
| | 7 | 認定農業者のいる農家 | 戸 | 375 | 1,428 | 495 | 2,132 | 1,169 | 1,255 | 928 | 1,041 | 656 | 405 | 287 |
| | 8 | 樹園地面積 | ha | 2,100 | 2,338 | 703 | 432 | 1,514 | 2,081 | 796 | 1,503 | 601 | 242 | 586 |
| II.担い手等の状況 | 9 | 主業農家率 | % | 29.0 | 28.5 | 23.8 | 53.6 | 43.4 | 36.5 | 34.9 | 45.6 | 16.4 | 14.3 | 29.2 |
| | 10 | 樹園地面積3ha以上の農家率 | % | 2.3 | 1.2 | 0.1 | 0.1 | 2.8 | 3.6 | 0.2 | 2.4 | 0.4 | 0.0 | 3.1 |
| | 11 | 後継者(同居)の居る農家率 | % | 39.5 | 31.6 | 38.1 | 41.7 | 32.7 | 30.9 | 26.8 | 28.9 | 27.4 | 25.7 | 23.1 |
| | 12 | 認定農業者のいる農家率 | % | 10.5 | 22.8 | 20.4 | 33.7 | 26.6 | 26.0 | 22.4 | 31.9 | 16.6 | 13.3 | 21.3 |
| III.樹園地の生産条件等 | 13 | 樹園地の灌水設備等の整備状況 | 5段階 | 4 | 4 | 4 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 14 | 1戸当たり樹園地栽培面積 | a | 106 | 74 | 83 | 48 | 157 | 114 | 55 | 110 | 63 | 31 | 104 |
| | 15 | 改植事業の実績面積(19~25年度) | ha | 140.00 | 102.20 | 36.10 | 7.91 | 96.00 | 257.00 | 291.00 | 95.00 | 59.47 | 3.80 | 67.50 |
| | 16 | 改植事業の実績面積割合 | % | 6.7 | 4.4 | 5.1 | 1.8 | 6.3 | 12.3 | 36.5 | 6.3 | 9.9 | 1.6 | 11.5 |
| | 17 | 耕作放棄地面積割合 | % | 9.7 | 15.9 | 9.1 | 9.1 | 2.3 | 7.8 | 5.3 | 8.5 | 15.0 | 12.1 | 7.8 |
| IV.労働力等 | 18 | 農業就業者数 | 人 | 6,256 | 10,118 | 3,783 | 12,973 | 9,499 | 9,209 | 7,793 | 6,674 | 5,983 | 3,991 | 2,340 |
| | 19 | 65歳未満の農業就業者数 | 人 | 2,647 | 3,879 | 1,507 | 7,379 | 4,928 | 4,177 | 3,335 | 3,370 | 1,749 | 1,158 | 932 |
| | 20 | 1戸当たり農業就業者数 | 人 | 1.75 | 1.62 | 1.56 | 2.05 | 2.16 | 1.90 | 1.88 | 2.05 | 1.52 | 1.31 | 1.73 |
| | 21 | 農業就業者の65歳未満割合 | % | 42.3 | 38.3 | 39.8 | 56.9 | 51.9 | 45.4 | 42.8 | 50.5 | 29.2 | 29.0 | 39.8 |
| | 22 | 産地における労働力調整の仕組 | 3段階 | 1 | 0.3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 |
| V.販売関係 | 23 | 農産物販売金額1,000万円以上農家率 | 万円 | 7.3 | 5.5 | 6.1 | 19.0 | 16.2 | 13.2 | 14.9 | 17.0 | 3.8 | 4.3 | 13.9 |
| | 24 | 果樹関係販売額(JA取扱高等) | 百万円 | 2,300 | 3,852 | 11,810 | 1,089 | 4,995 | 2,837 | 902 | 3,239 | 1,322 | 512 | 1,400 |
| | 25 | 果樹販売における農協系統共販率 | % | 80 | 80 | 48 | 85 | 50 | 50 | 70 | 88 | 70 | 26 | 70 |
| | 26 | 産地のブランド力(販売価格の高低) | 3段階 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |